2-675-621-03

ONKYO

CD/MD/HDDチューナーアンプ

BR-NX8

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　年　月　日
ご購入店名：
Tel.　(　)
メモ：

ONKYO
オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：カスタマーセンター
ナビダイヤル ☎ 0570(01)8111（全国どこからでも市内通話料金で通話いただけます）
または ☎ 072(831)8111（携帯電話、PHSから）

目次

はじめに

準備

再生

HDDジュークボックス

編集

はじめに

■ 本機の取扱説明書の種類と内容

① **かんたん接続･操作ガイド**

本機でできることやお使いいただくために必要な最低限の接続と基本的な操作方法を説明しています。
まずはこれをお読みになり、必要な接続を行ってください。

② **取扱説明書（本書）**

本機のすべての設定と操作方法、およびネットワーク接続のしかたを説明しています。
また、本機を安全にお使いいただくための注意事項なども記載しています。

③ **エニーミュージックサービス利用ガイド**

“エニーミュージック”のサービス利用方法について説明します。

■ 取扱説明書（本書）の使いかた

この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。リモコンと同じ名前の本体のボタンは、同じはたらきをします。

HDD：HDDジュークボックスで使える機能

CD：CDで使える機能

MD：MDで使える機能

MS：“メモリースティック デュオ”で使える機能

AAD：ATRAC ADで使える機能

USB：USBストレージで使える機能

必ずお読みください

ハードディスクについて

ハードディスクは衝撃、振動などに弱いため、下記を必ず守ってご使用ください。詳しくは、80ページをご覧ください。

- 衝撃を与えない。
- コンセントを差したまま本機を動かさない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- 録音、再生中は、本機を動かしたり、コンセントを抜かない。
- お客様ご自身で、ハードディスクの交換や増設をしない。故障の原因となります。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。

本機のハードディスクに記録されたデータは、通常の使用において壊れる可能性があります。お客様が保存したデータは、本機のバックアップ機能を使用して、外部に接続した別売りのUSBハードディスクに、またはWindowsのファイル共有で、定期的にバックアップをとってください。
ハードディスク内のデータが壊れたことによる一切の責任を弊社は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

録音についてのご注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前にためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
- 本機を使用中、万一不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本機をネットワーク接続して利用するサービスについて

サービス内容は予告なく変更されたり、終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

色記号について

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

安全にお使いいただくために

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにUSBケーブルを外し、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

● 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。
● 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

● 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの後部などに通風孔があけてあります。次の点に気を付けてご使用ください。
- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

● 本機の通風孔、ディスク挿入口、メモリースティック挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。USBケーブルを外し、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

● 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより火災・けがの原因となります。

■ 電源コードやケーブル類を傷つけたり、加工しない

● 電源コードやケーブル等が傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードやケーブル等の上に重いものをのせたり、本機の下敷にならないようにしてください。コードやケーブル等に傷がついて、火災・感電の原因となります。
コードやケーブル等の上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますので、ご注意ください。

● 電源コードやケーブル等を傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードやケーブル等が破損して火災・感電の原因となります。

■ NETWORK（ネットワーク）コネクターに指定以外のネットワークや電話回線を接続しない

● NETWORK（ネットワーク）コネクターに次のネットワークや回線を接続しないでください。

- 10BASE-T/100BASE-TX以外のネットワーク
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

これらを接続するとコネクターに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台やぐらついたり、傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 横置きでご使用になる場合、本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- 電源を入れる前にはアンプ（アンプ内蔵スピーカー）の音量（ボリューム）を最小にしてください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
- お子さまがディスク挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、プラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、USBケーブルを外し、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■電池について

● リモコンに電池を入れる場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

● お手入れの際は、安全のためUSBケーブルを外し、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

● 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。
● 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
● アンテナ工事には経験と技術が必要ですので、販売店にご相談ください。
● 屋外アンテナは送電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

● シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

● 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

準備

各部の名前とはたらき

リモコン

SLEEP、TIMERボタン
- SLEEPボタン
  スリープタイマーの設定/確認に使います（56ページ）。
- TIMERボタン
  タイマーを設定するときに使います（57、58ページ）。

S.BASS、LISTENING MODEボタン
- S.BASSボタン
  重低音を強調します（17ページ）。
- LISTENING MODEボタン
  あらかじめ登録されている音質に切り換えます（17ページ）。

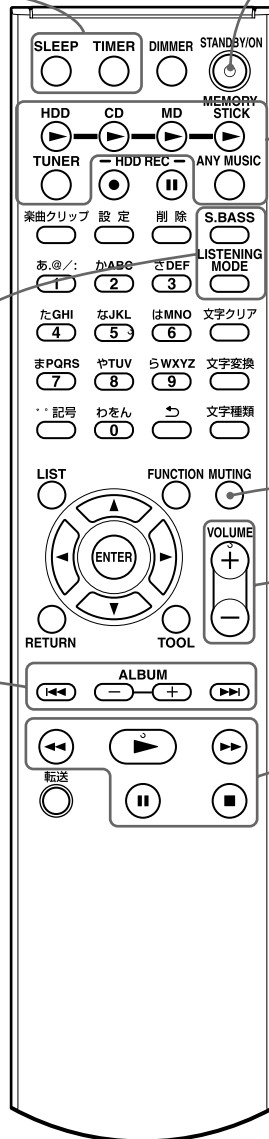
⏮、⏭ ALBUM＋、ALBUM－ボタン
- ⏮、⏭ボタン
  曲の頭出しやラジオ局のプリセット番号の選択に使います。
- ALBUM＋、ALBUM－ボタン
  アルバムまたはグループを選びます。

STANDBY/ON⏻ボタン
電源を入れます（14ページ）。

ダイレクトプレイボタン
ファンクションが切り換わります。
- HDD► ボタン（14、36ページ）
- CD► ボタン（14、21ページ）
- MD► ボタン（14、23ページ）
- MEMORY STICK► ボタン（14、24ページ）
- TUNERボタン（14、26ページ）
- ANY MUSICボタン（14、61ページ）

MUTINGボタン
音声を消します。

VOLUME＋*、VOLUME－ボタン
本機の音量を調節します。

ファンクション共通操作ボタン
各ファンクション共通で使うボタンです。
- ►（再生）ボタン*
- ◄◄（早戻し）、►►（早送り）ボタン
- ❚❚（一時停止）ボタン
- ■（停止）ボタン

HDD RECボタン
HDDジュークボックスへの録音に使います。
- HDD REC●（録音開始）ボタン（33ページ）
- HDD REC❚❚（録音一時停止）ボタン（33ページ）

設定ボタン
設定メニューを表示します（15ページ）。
時計やネットワーク設定など、システムの設定を行います。

楽曲クリップボタン
NOW ON AIR（62ページ）で表示された楽曲情報を保存します。

数字*/文字入力ボタン
再生時の曲番の指定や文字入力に使います。

LISTボタン
メイン画面とリスト画面を切り換えます（16ページ）。

RETURNボタン
操作中の画面をひとつ前の画面に戻します。

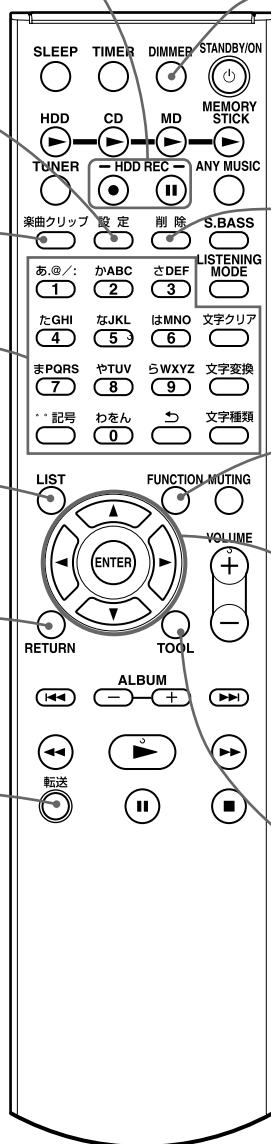
転送ボタン
"メモリースティック デュオ"/MD/ポータブル機器への転送に使います（40ページ）。

DIMMERボタン
画面の明るさを変えるときに使います。

削除ボタン
各ファンクションで削除を行うときに使います（48ページ）。

FUNCTIONボタン
ファンクションメニューを表示します（15ページ）。
メニューから使用する音源を選びます。

メニュー操作ボタン
メニューを選んで決定します（15ページ）。
- ▲、▼、◀、▶ボタン
  項目の選択や設定値を変更するときに使います。
- ENTERボタン
  操作を決定するときに使います。

TOOLボタン
ツールメニューを表示します（15ページ）。使用しているファンクションに合わせてメニューの内容が変わります。

*の付いたボタン（数字ボタンの「5」、VOLUME＋ボタン、共通►（再生）ボタン）には、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

本体

ダイレクトプレイボタン
ファンクションが切り換わります。
- HDD►/II ボタン（14、36ページ）
- CD►/II ボタン（14、21ページ）
- MD►/II ボタン（14、23ページ）
- TUNER ボタン（14、26ページ）

リモコン受光部

⏻STANDBY（スタンバイ）/ON（オン）ボタン、スタンバイ/オンインジケーター
- ⏻STANDBY/ON ボタン
  電源を入れる、または切ります（14ページ）。
- スタンバイ/オンインジケーター
  本体の電源状態を表します。

MDスロット
MDを挿入します（23ページ）。

CDスロット
CDを挿入します（21ページ）。

PHONES（ホーンズ）端子
ヘッドホンをつなぎます。

USB端子
USBストレージやATRAC ADなどポータブル機器をつなぎます。

表示画面

■（停止）ボタン
各種の操作の停止に共通に使えます。

MD TOCランプ
転送や編集の内容をMDに記録している状態を表します。
点灯：転送/編集などの、MDに記録する情報がある
点滅：情報をMDに記録中

TIMER（タイマー）ランプ
タイマーの状態を表します。

MD⏏ ボタン
MDを取り出します（23ページ）。

VOLUME（ボリューム）つまみ
音量を調整します。

CD⏏ ボタン
CDを取り出します（21ページ）。

MEMORY（メモリー） STICK（スティック）スロット
"メモリースティック デュオ"を挿入します（24ページ）。

MEMORY（メモリー） STICK（スティック）アクセスランプ
"メモリースティック デュオ"アクセス時に点灯します。ランプ点灯中は"メモリースティック デュオ"を抜かないでください。"メモリースティック デュオ"が破損することがあります。

HDD RECボタン
HDDジュークボックスに録音します。
ANY MUSICボタン、
ANY MUSICランプ
• ANY MUSICボタン
ANY MUSICのファンクションに切り換わります。
RETURNボタン
操作中の画面をひとつ前の画面に戻します。
メニュー操作ボタン
メニューを選んで決定します。
• ▲、▼、◀、▶ボタン
項目の選択や設定値を変更するときに使います。
• ENTERボタン
操作を決定するときに使います。
FUNCTIONボタン
ファンクションメニューを表示します。メニューから使用する音源を選びます。
TOOLボタン
ツールメニューを表示します。使用しているファンクションに合わせてメニューの内容が変わります。
STANDBY
MD TOC
TIMER
TUNER
STANDBY/ON
HDD REC
FUNCTION
VOLUME
ENTER
ANY MUSIC
RETURN
TOOL
PHONES
USB

共通操作

電源を入れる

1 初期設定をする。

本機の電源コードを、コンセントにつなぎます。

自動的に本機の電源が入り、本機の初期設定が始まります。初期設定が完了すると、自動的に電源が切れます。

2 電源を入れる。

本体のスタンバイ/オンインジケーターが赤点灯のときに本体またはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押します。

⚠注意

初期設定中に本機の電源を切らないでください。故障の原因になります。

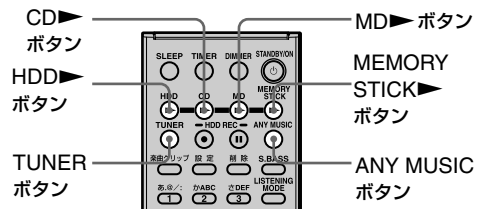
電源を切るには

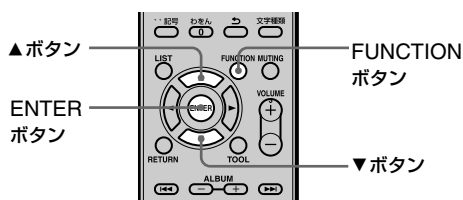
本体またはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押します。

ご注意

スタンバイ/オンインジケーターが赤点灯になってから2秒間は、STANDBY/ONボタンを押しても電源は入りません。

ファンクションを選ぶ

ファンクションを直接選ぶ

ファンクション	押すボタン
CD	CD►
MD	MD►
メモリースティック	MEMORY STICK►
チューナー	TUNER
HDDジュークボックス	HDD►
ANY MUSIC	ANY MUSIC

ファンクションをメニューで選ぶ

1 FUNCTIONボタンを押す。

ファンクションメニューが表示されます。

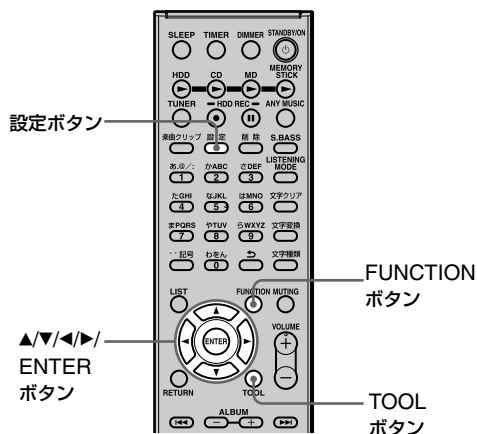
2 ▲/▼ボタンでファンクションを選び、ENTERボタンを押す。

選んだファンクションに切り換わります。

ファンクションメニューを消すには

ENTERボタンを押す前にFUNCTIONボタン、またはRETURNボタンを押します。

メニュー操作をする

本機には、ファンクション、ツール、設定の3種類のメニューがあり、録音や再生モードの選択、各種設定など、あらゆる操作ができるようになっています。

1 **メニューボタン（FUNCTIONまたはTOOL、設定）を押す。**

メニューが表示されます。

2 **▲/▼/◀/▶ボタンを押して項目を選ぶ。**

3 **ENTERボタンを押す。**

4 **手順2、3をくり返す。**

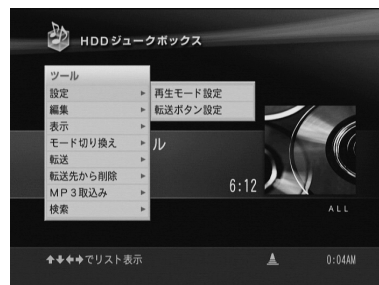
手順の途中でやめるには

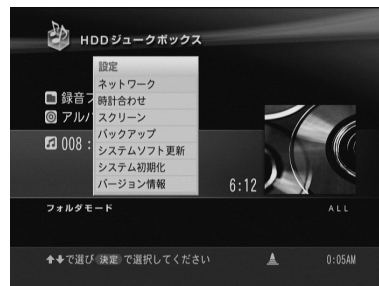
RETURNボタンを押します。

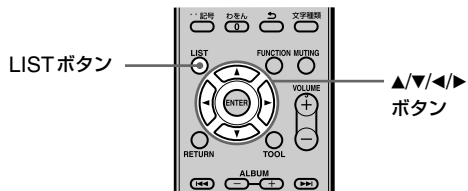
ファンクションメニュー

FUNCTIONボタンを押すと、表示されます。
ファンクションを選ぶときに使います。

ツールメニュー

TOOLボタンを押すと、表示されます。
選んでいるファンクションや画面によって表示される項目が異なります。

設定メニュー

設定ボタンを押すと、表示されます。
システム設定を行うときに使います。
いつでも同じ項目が選べます。

画面を切り換える

画面には、メイン画面とリスト画面の２種類あります。

メイン画面

通常表示されている画面です。

リスト画面

曲を選ぶ画面です。

画面を切り換えるには

メイン画面→リスト画面	メイン画面で▲/▼/◀/▶ボタンまたはLISTボタンを押す。
リスト画面→メイン画面	LISTボタンを押す。または60秒間なにも操作しないと、メイン画面に戻る。

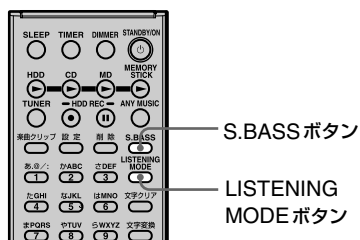
曲のアイコンについて

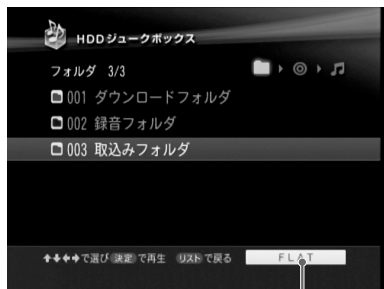
曲を表すアイコンはフォーマットなどによって、表示が異なります。

アイコン	アイコンの意味
	ATRAC音声の曲
	ANY MUSICからダウンロードした曲（ATRAC3音声）
M	MP3音声の曲
P	PCM音声の曲

ANY MUSIC/チューナー/アナログ インの各ファンクションにはリスト画面がありません。

音質を調節する –リスニングモード/S.BASS

本機では、あらかじめ設定されている6種類のリスニングモードから好きな音質を選んで楽しめます。

音質を選ぶ–リスニングモード

LISTENING MODEボタンをくり返し押します。
ボタンを押すたびにリスニングモードが以下の順番で切り換わります。

選ばれているリスニングモード

◆FLAT→ROCK→POPS→JAZZ→CLASSIC→DANCE→FLAT→.....
（◆：お買い上げ時の設定）

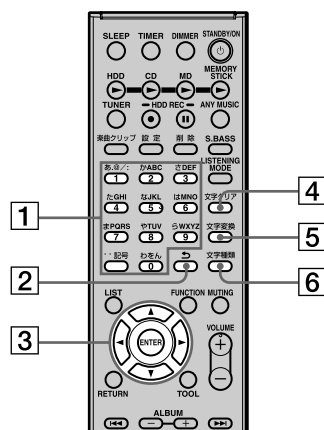
低音を強調する–S.BASS

本機のS.BASS（スーパーバス）機能を使って、重低音を強調した再生が楽しめます。
S.BASSボタンを押します。
ボタンを押すたびに、S.BASSの「ON」（低音強調）と「OFF」が切り換わります。
お買い上げ時の設定は、「ON」です。

ONのときに表示される

文字を入力する

曲やラジオ局に名前をつけたり、ネットワークの設定をするときなどに使用します。

リモコン

1 **数字/文字入力ボタン**
入力したい文字が割り当てられているボタン（あ（行）、か（行）、ABC、DEFなど）をくり返し押すと、希望の文字を表示します。
漢字の場合は、文字変換ボタンを押してから、希望の漢字候補を選びます。

2 **⮌ボタン**
ENTERボタンを押す前なら、1つ前に入力した文字に戻します。

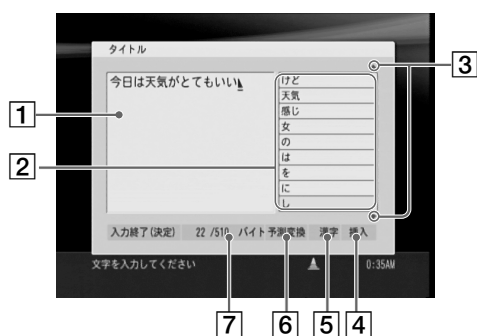
3 **▲/▼/◀/▶/ENTERボタン**
- ▲/▼/◀/▶ボタン
  カーソルを移動したり、文節の区切りを変更します。
- ENTERボタン
  入力した文字や設定を決定します。

4 **文字クリアボタン**
文字を削除します。

5 **文字変換ボタン**
入力した文字を漢字などに変換します。

6 **文字種類ボタン**
入力する文字の種類を選びます。
ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
［漢字］→［全カナ］→［全英］→［全数］→［半カナ］→［半英］→［半数］→［漢字］→.....

次のページにつづく

文字入力画面

1 **文字入力エリア**
入力した文字が表示されます。

2 **候補表示エリア**
予測候補が一覧表示されます。

3 **スクロールアイコン**
候補表示エリアに予測候補を表示しきれないときに表示されます。

4 **入力モード（上書き/挿入）の表示エリア**

5 **入力文字種類の表示エリア**
文字種類ボタンを押すたびに、表示が以下のように切り換わります。

表示	入力できる文字の種類 *
漢字	漢字/ひらがな
全カナ	全角カタカナ
全英	全角英字
全数	全角数字
半カナ	半角カタカナ
半英	半角英字
半数	半角数字

* 入力できる文字の種類は、画面によって異なります。

6 **変換状態の表示エリア**

予測変換	予測変換機能がONの状態
予測変換（淡色表示）	予測変換機能がONの状態で文字変換ボタンを押したとき
（表示なし）	予測変換機能がOFFの状態

7 **入力バイト数の表示エリア**
［入力済みバイト数/入力可能最大バイト数］が表示されます。使用中の入力画面により、入力できる最大文字数は異なります。

文字入力数とバイト数について

半角英字/数字	1文字：1バイト
全角文字/半角カタカナ	1文字：2バイト

文字入力のしかた

本機に付属のリモコンで、携帯電話と同じ感覚で文字を入力できます。予測変換機能*により、手早く入力できます。

1 **文字種類ボタンをくり返し押して、入力する文字の種類を選ぶ。**

2 **数字/文字入力ボタンをくり返し押して、文字を選ぶ。**
漢字を入力しないときは、手順4に進んでください。

3 **一覧表示された単語から選ぶ。**
入力したい単語が表示されない場合は、文字変換ボタンを押してから選びます。

4 **ENTERボタンを押す。**

* **予測変換機能とは？**
本機に付属のリモコンでは予測変換機能が使えます。予測変換機能とは、入力した文字から予測される単語を一覧表示したり、後に続く単語の候補を表示したりする機能です。よく使う単語を学習しますので、使うほど便利になります。

ヒント
予測変換と通常変換は、入力文字種類が［漢字］のときのみ有効です。

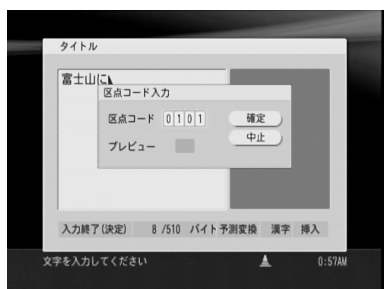
その他の操作をするには

こんなときは	操作
前の状態に戻す	RETURNボタンを押す。
カーソルを移動する	▲/▼/◀/▶ボタンを押す。
大文字または小文字を入力する（「や」「ゃ」、「A」「a」など）	入力したい文字（ひらがな/カタカナ/英字）が割り当てられているボタンをくり返し押す。
濁点文字または半濁点文字を入力する（「が」、「ぱ」など）	濁点または半濁点をつけたい文字を入力したあとに記号ボタンをくり返し押す。
記号（$など）を入力する	ツールメニューで［記号文字入力］–［全角］または［半角］を選んでから、希望の記号を選ぶ。
文節の区切りを変更する	未確定の状態で◀/▶ボタンを押す。
変換方法を切り換える（予測変換切換）	文字入力画面で、ツールメニューで［予測変換］–［ON］または［OFF］を選ぶ。

こんなときは	操作
入力モード（上書き/挿入）を切り換える	ツールメニューで［挿入モード］または［上書きモード］を選ぶ。

区点コードを使って入力するには

入力する文字の読みかたが分からない場合や本機で漢字変換できない場合は、「区点コード表」を使って入力します。

1 ツールメニューで［区点コード入力］を選び、ENTERボタンを押す。

2 ENTERボタンを押す。

3 ▲/▼ボタンで区点コードの4桁目を入力し、▶ボタンを押す。

4 手順3をくり返し、3桁目、2桁目、1桁目を入力する。

5 ENTERボタンを押す。

6 ［確定］を選び、ENTERボタンを押す。

選んだ文章を他の場所にも使うには
–コピー/切り取り/貼り付け

1 **ツールメニューで［編集］–［コピー］または［切り取り］を選び、ENTERボタンを押す。**

2 **◀/▶ボタンでコピーまたはカットしたい部分の始点の文字を選び、ENTERボタンを押す。**

3 **◀/▶ボタンでコピーまたはカットしたい部分の終点の文字を選び、ENTERボタンを押す。**

［切り取り］を選んだときは、選んだ部分が削除されます。

4 **貼り付けたい位置にカーソルを置く。**

5 **ツールメニューで［編集］–［貼り付け］を選び、ENTERボタンを押す。**

コピーまたはカットした部分がカーソル位置に挿入されます。
上書きモードに設定されている場合でも、上書きされず挿入されます。

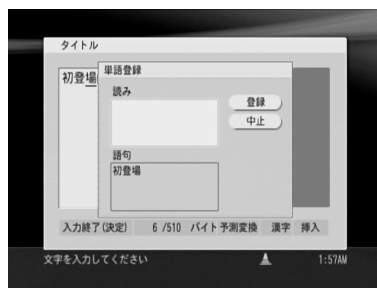
よく使う語句を辞書に登録するには

あらかじめよく使う単語を辞書に登録しておけば、早く候補表示エリアに表示され便利です。登録できる単語数は最大300件です。登録が300件を超えると古いものから順に削除されます。

1 **ツールメニューで［辞書編集］–［登録］を選び、ENTERボタンを押す。**

文章が入力されていないと［登録］を選べません。

2 **◀/▶ボタンで登録したい部分の始点の文字を選び、ENTERボタンを押す。**

3 **◀/▶ボタンで登録したい部分の終点の文字を選び、ENTERボタンを押す。**

4 **ENTERボタンを押す。**

5 **［読み］の欄にひらがなで読みを入力し、ENTERボタンを押す。**

6 **▶ボタンで［登録］を選び、ENTERボタンを押す。**

指定した範囲の文章がスペースのみの場合は登録できません。

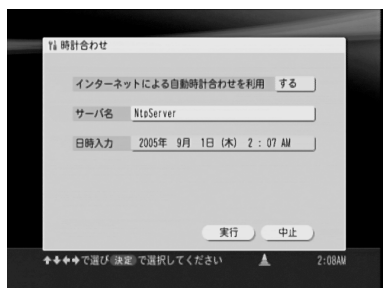
その他の操作をするには

こんなときは	操作
辞書に登録した語句を削除する	ツールメニューで［辞書編集］–［削除］を選び、削除したい語句を選んでから、［削除］を選ぶ。
学習情報をリセットする	ツールメニューで［学習情報リセット］を選ぶ。 予測変換と通常変換の学習情報（よく使う語句などの情報）をすべて削除します。

時計を合わせる

本機の機能を正しく使うには、時計を正しく合わせておく必要があります。時計を合わせる方法は、手動で合わせる方法とインターネットに接続して自動で合わせる方法の2種類あります。

手動で合わせる

1 **設定メニューで［時計合わせ］を選び、ENTERボタンを押す。**

2 **［インターネットによる自動時計合わせを利用］を選び、ENTERボタンを押す。**

3 **［しない］を選び、ENTERボタンを押す。**

4 **［日時入力］を選び、ENTERボタンを押す。**

5 **◀/▶ボタンで年/月/日を選び、▲/▼ボタンで日にちを合わせる。**

年、月、日の順に合わせます。

6 **◀/▶ボタンで時/分を選び、▲/▼ボタンで時刻を合わせ、ENTERボタンを押す。**

7 **［実行］を選び、手順6で合わせた時刻になったらENTERボタンを押す。**

時計が設定されます。

ご注意

電源を入れたあとに時計合わせ画面が表示された場合、何も操作しないで一定時間たつと自動的に画面が消えます。時刻を正しく合わせていないときは、設定メニューで正しく設定し直してください。

インターネットに接続して合わせる–NTP

インターネットのNTP*サーバに接続すると、時刻を正確に合わせられます。
あらかじめネットワークの設定/確認を行ってください（69ページ）。

* NTPはNetwork Time Protocolの略です。

1 **設定メニューで［時計合わせ］を選び、ENTERボタンを押す。**

時計合わせ画面が表示されます。

2 **［インターネットによる自動時計合わせを利用］を選び、ENTERボタンを押す。**

3 **［する］を選び、ENTERボタンを押す。**

4 **［サーバ名］を選び、ENTERボタンを押す。**

文字入力画面が表示されます。
「NtpServer」と表示されている場合は、あらかじめ設定されているサーバに接続します。サーバ名を変更しない場合は、手順6に進んでください。

5 **サーバ名を入力し、ENTERボタンを押す。**

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（17ページ）をご覧ください。

6 **［実行］を選び、ENTERボタンを押す。**

時計が自動的に設定されます。

サーバ名をお買い上げ時の設定に戻すには

手順5でサーバ名が消えるまで文字クリアボタンを押し続けます。

設定を途中でやめるには

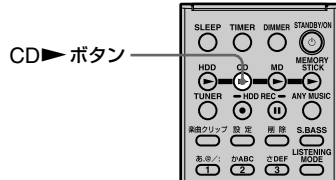
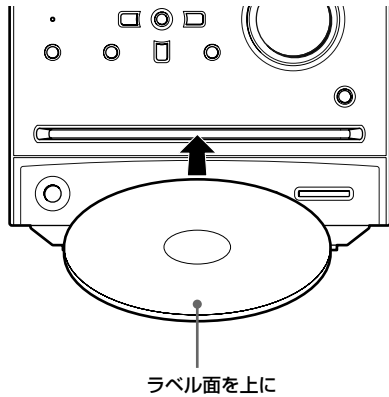
RETURNボタンを押します。

ご注意

- 「インターネット設定」が正しく設定されていないと、NTPサーバへ接続できない場合があります。
- プロキシサーバを使っているときは、ご利用のプロキシサーバがNTPサーバへの通信を中継しない場合がありますので、プロバイダなどにご確認ください。

再生

CDを聞く

音楽CDとMP3音声ファイルが記録されたCD-R/RWを聞くことができます。再生可能なCDについて詳しくは、81ページをご覧ください。

1 ディスクを入れる。

CD情報を自動的に検索して表示します。ネットワークに接続されている場合は、本機のデータベースに入っていない情報をインターネット経由で取得します（22ページ）。

2 CD► ボタンを押す。

再生が始まります。

音楽CDとMP3音声が記録されたCD-R/RWを本機が判別して、自動的にモードを切り換えます。両方のフォーマットで記録されたディスクの場合は、手動で切り換える必要があります（22ページ）。

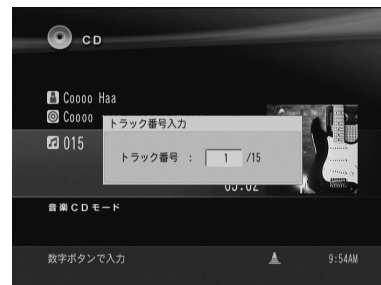
CD再生画面について

その他の操作をするには

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	❚❚ボタンを押す。もう一度押すか、► ボタンを押すと、停止した場所から再生が始まります。
曲中の聞きたいところを探す	再生中に◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。
前後の曲を選ぶ	再生中に❙◀◀/▶▶❙ボタンで曲を選ぶ。
曲を選んで再生する	▲/▼（MP3では▲/▼/◀/▶）ボタンで曲を選ぶ。
アルバムを選ぶ（MP3のみ）	ALBUM＋またはALBUM－ボタンでアルバムを選ぶ。
ディスクを取り出す	本体のCD⏏ボタンを押す。

数字ボタンを使って曲番を選ぶには

1 曲番の数字ボタン（1 ～ 9、0）を押す。

トラック番号入力画面に曲番を直接入力できます。

10以降の数字を入力するときは、数字ボタンを順に押します。

（例）曲番124：［1］→［2］→［4］

次のページにつづく

2 **ENTERボタンを押す。**

メイン画面に戻り、選んだ曲番の再生が始まります。

時間表示を切り換えるには

再生中にツールメニューで［表示］–［時間表示］–［経過時間］または［残り時間］を選びます。

◆経過時間	再生中または一時停止中の曲の再生経過時間を表示します。
残り時間	再生中または一時停止中の曲の残り時間を表示します。

（◆：お買い上げ時の設定）

音楽CD・MP3モードを手動で切り換えるには

音楽CDとMP3音声が混在しているディスクを再生するときは、どの音声を再生するか切り換えます。
ツールメニューで［モード切り換え］–［音楽CD］または［MP3］を選びます。

ご注意

MP3モードの場合、アルバム階層では数字ボタンを使って曲番を選ぶことはできません。

CD情報を取込む

本機にはあらかじめ、発売されている一部の音楽CDの情報が入っています。
本機にCD情報がなく、ネットワークの設定（73ページ）が行われていると、インターネット経由で検索します。
Gracenote CDDB（Gracenote CDDB® Music Recognition Service℠）は、インターネット上のサーバに存在する音楽CDに関するデータベースにアクセスし、音楽CDのアルバム名、アーティスト名、曲名などの情報を読み込めるサービスです。

ご注意

データCDの情報を読み込むことはできません。

CD情報を手動で取得するには

CDを入れると、自動的にCD情報が取得されますが、手動でCD情報を取得することもできます。

1 **ツールメニューで［CD情報］–［取得］を選ぶ。**

CD情報を検索後、CD情報検索結果画面が表示されます。

2 **検索結果を確認し、［取得］を選ぶ。**

CD情報が取得されます。

［取得］の代わりに ► ボタンを押すと、すぐにCDの再生が始まります。

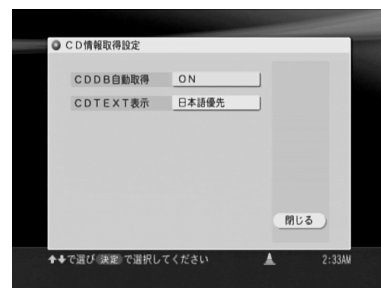
違う内容のCD情報を取得するには

CD情報検索結果画面でオンライン［再検索］を選びます。
CD情報の検索が始まり、CD情報があった場合、CD情報検索結果画面に取得結果が表示されます。違う内容のCD情報がなく、同じCD情報のみの場合も、取得結果として表示されます。

CD情報をクリアするには

ツールメニューで［CD情報］–［クリア］を選びます。

CD情報取得の設定を変更するには

1 **ツールメニューで［設定］–［CD情報取得設定］を選ぶ。**

2 **各項目を設定する。**

CDDB自動取得

◆ ON	CDを入れると自動的にCDDBからCD情報を取得します。
OFF	CDDBからCD情報を自動的に取得しません。

CD TEXT表示*

◆ 日本語優先	CD TEXTのテキスト情報を日本語優先で表示します。
英語優先	CD TEXTのテキスト情報を英語優先で表示します。

（◆：お買い上げ時の設定）

* CDDBからCD情報を取得しなかった場合、CD TEXTが表示されます。
CD TEXTはCD TEXT対応ディスクのみ記録されています。

3 ［閉じる］を選ぶ。

取得結果が複数表示されたときは
取込みたいCD情報をリストから選びます。

アルバム内のトラック情報を確認するには
表示されているアルバムを選びます。

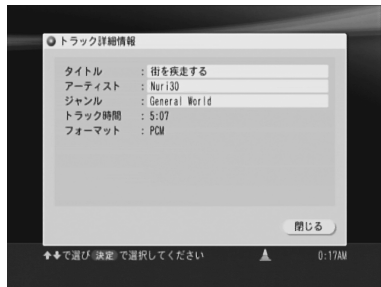
CDの情報を見る

1 情報を見たい曲を選ぶ。

2 ツールメニューで［表示］–［アルバム情報］または［トラック情報］を選ぶ。

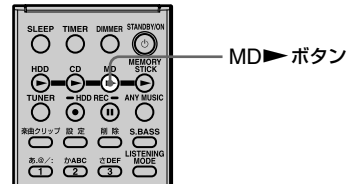
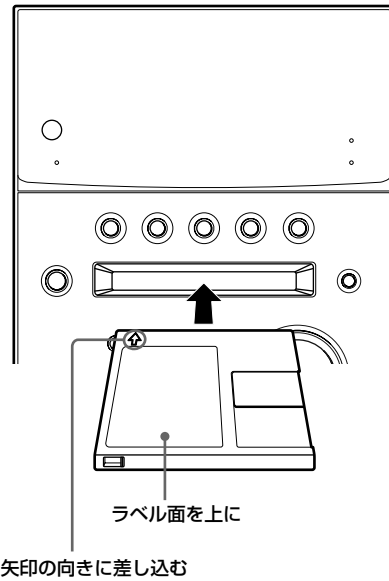
アルバム情報*1	ディスクの詳細情報（アルバム詳細情報画面）を表示します。
トラック情報*1	選んだ曲の詳細情報（トラック詳細情報画面）を表示します。
トラック（ID3）情報*2	選んだMP3音声の曲のID3タグ情報（トラック（ID3）詳細情報画面）を表示します。

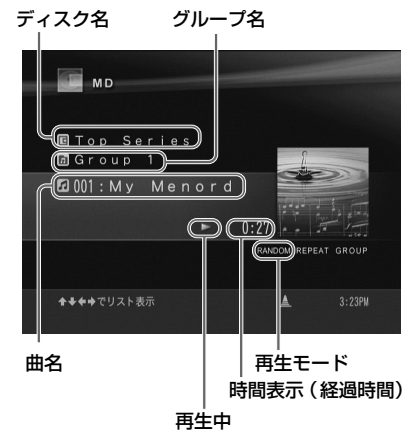
*1 音楽CDのときのみ表示されます。

*2 MP3音声の停止中のみ表示されます（ID3v2に対応）。

タイトルまたはアーティスト、ジャンル、アルバム名*3の全文を見るには、▲/▼ボタンで［タイトル］または［アーティスト］、［ジャンル］、［アルバム名］*3を選びます。

画面をスクロールするには、▲/▼ボタンを押します。

*3 トラック（ID3）詳細情報画面のときのみ表示されます。

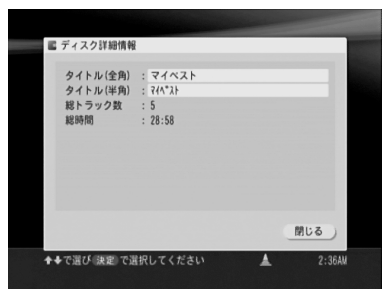
MDを聞く

1 MDを入れる。

2 MD► ボタンを押す。
再生が始まります。

MD再生画面について

その他の操作をするには

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止にする	❚❚ボタンを押す。もう一度押すか、► ボタンを押すと、停止した場所から再生が始まります。
曲中の聞きたいところを探す	再生中に◄◄/►► ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。
前後の曲を選ぶ	再生中に|◄◄/►►|ボタンで曲を選ぶ。
曲を選んで再生する	▲/▼ボタンで曲を選ぶ。または曲番の数字を1～9、0のボタンで押したあと、ENTERボタンを押す（21ページ）。
グループを選ぶ	ALBUM＋またはALBUM－ボタンでグループを選ぶ。
時間表示を切り換える	ツールメニューで［表示］–［時間表示］–［経過時間］または［残り時間］を選ぶ（22ページ）。
MDを取り出す	本体のMD⏏ボタンを押す。

ディスクや曲の情報を見る

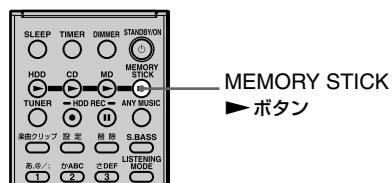
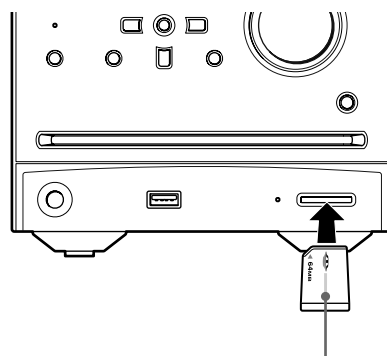
1 情報を見たいディスクまたは曲を選ぶ。

2 ツールメニューで［表示］–［ディスク情報］または［トラック情報］を選ぶ。

タイトルの全文を見るには、▲/▼ボタンで見たいタイトルを選びます。

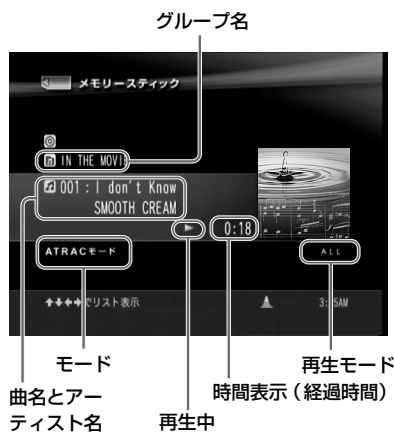
"メモリースティック デュオ" を聞く

"メモリースティック デュオ" に記録されているATRAC音声、MP3音声を聞くことができます。

種類	フォーマット
"メモリースティック デュオ"	MP3
マジックゲート対応 "メモリースティック デュオ"	ATRAC、MP3
"メモリースティック PRO デュオ"	MP3

"メモリースティック" について詳しくは、「"メモリースティック" について」（82ページ）をご覧ください。

1 "メモリースティック デュオ" を入れる。

2 MEMORY STICK► ボタンを押す。

再生が始まります。

メモリースティック再生画面について

再生が始まらないときは
–ATRAC・MP3モード切り換え

MEMORY STICK► ボタンを押しても再生できない場合は、ATRAC/MP3モードを切り換えてみてください。
ツールメニューで［モード切り換え］–［ATRAC］または［MP3］を選びます。

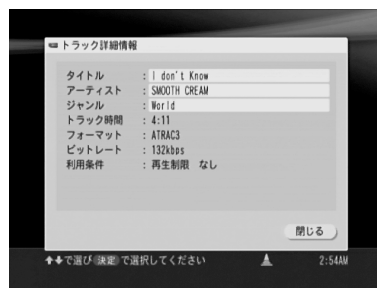
その他の操作をするには

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	❚❚ボタンを押す。もう一度押すか、► ボタンを押すと、停止した場所から再生が始まります。
曲中の聞きたいところを探す	再生中に◄◄/►► ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。
前後の曲を選ぶ	再生中に I◄◄/►►I ボタンで曲を選ぶ。
曲を選んで再生する	▲/▼/◄/► ボタンで曲を選ぶ。または曲番の数字を1～9,0のボタンで押したあと、ENTERボタンを押す（21ページ）。
アルバム（MP3）またはグループ（ATRAC）を選ぶ	ALBUM＋またはALBUM－ボタンでアルバムまたはグループを選ぶ。
時間表示を切り換える	ツールメニューで［表示］–［時間表示］–［経過時間］または［残り時間］を選ぶ（22ページ）。
"メモリースティック デュオ"を取り出す	"メモリースティック デュオ"を一度押し込み、まっすぐ引き抜く。

グループや曲の情報を見る

ATRACモードではグループや曲、MP3モードでは曲の情報を見ることができます。

1 情報を見たい曲を選ぶ。

2 ツールメニューで［表示］–［グループ情報］（ATRACのみ）または［トラック情報］（曲）を選ぶ。

タイトルまたはアーティスト、ジャンルの全文を見るには、［タイトル］または［アーティスト］、［ジャンル］を選びます。

ラジオを聞く

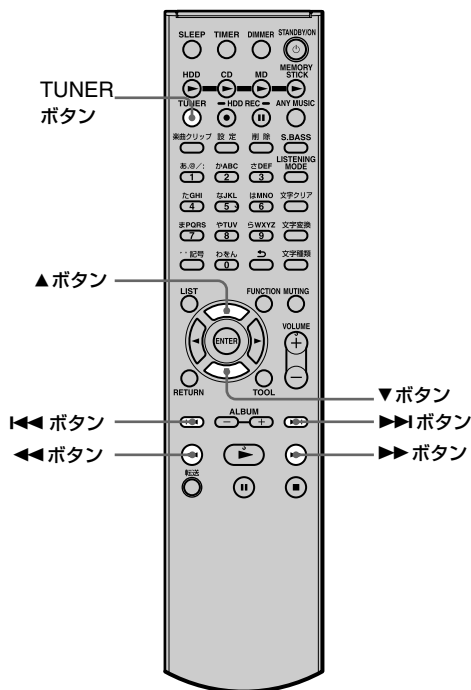
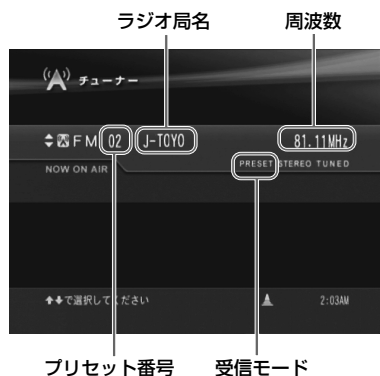
ラジオ局を選ぶ

1 TUNERボタンを押す。またはファンクションメニューで［チューナー］を選ぶ。

2 FMまたはAMを選ぶ。

TUNERボタンを押して、FM/AMを切り換えます。

3 ラジオ局を選ぶ。

マニュアルチューニング	◀◀/▶▶ボタンを繰り返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせます。
オートチューニング	◀◀/▶▶ボタンを長押しします。放送を受信すると停止します。
プリセットチューニング	ラジオ局を登録（26ページ）すると、▲/▼ボタンもしくは⏮/⏭ボタンでラジオ局を選ぶことができます。

ラジオ受信画面について

ヒント

- FMステレオ放送受信中に雑音が多いときは、ツールメニューで［設定］–［FMモード設定］–［常時モノラル］を選びます。モノラル受信になりますが、雑音が少なくなります。元に戻すときは、同様の操作で［自動ステレオ］を選びます。
- 受信状態が悪いときは、アンテナを窓の近くや外に置くなど、アンテナの向きや置き場所、張る位置を変えてみてください。
  それでも受信状態がよくならないときは、市販の屋外アンテナの使用をおすすめします。

ラジオ局を登録する

FM局を登録する（“エニーミュージック”に未登録の場合）

1 FMに切り換える。

2 ツールメニューで［プリセット登録］を選ぶ。

3 登録するプリセット番号を選ぶ。

4 ［ラジオ局名を］のプルダウンメニューから［新規に入力する］を選ぶ。

5 ［ラジオ局名］を選び、局名を入力し決定する。

6 ［周波数］を選び、▲/▼ボタンで周波数を合わせる。

［周波数設定を］のプルダウンメニューで［オートでチューニングする］を選んだ場合は放送を受信するまで周波数が進みます。

7 ［登録］を選ぶ。

“エニーミュージック”に登録済みの場合は

60ページの手順に従ってFM局を登録してください。

AM局を登録する

1 **AMに切り換える。**

2 **ツールメニューで［プリセット登録］を選ぶ。**

3 **登録するプリセット番号を選ぶ。**

4 **［ラジオ局名を］のプルダウンメニューからお住まいの地域を選ぶ。**

ラジオ局名を新規で入力したい場合は［新規に入力する］を選びます。

5 **［ラジオ局名］のプルダウンメニューから局名を選ぶ。**

6 **［周波数］を選び、▲/▼ボタンで周波数を合わせる。**

［周波数設定を］のプルダウンメニューで［オートでチューニングする］を選んだ場合は放送を受信するまで周波数が進みます。

7 **［登録］を選ぶ。**

他のラジオ局を登録するには

手順3から7をくり返します。

ヒント

FMステレオ放送をモノラル受信にして雑音を少なくするには、プリセット登録画面の［FMモード］を［常時モノラル］にします。元に戻すときは［自動ステレオ］にします。この設定はラジオ局の設定として記憶されます。

ラジオ局の詳細情報を見る

ツールメニューで［詳細情報］を選ぶ。

詳細情報の全文を見るには、▲/▼ボタンで項目を選びます。

オンエア情報を見る

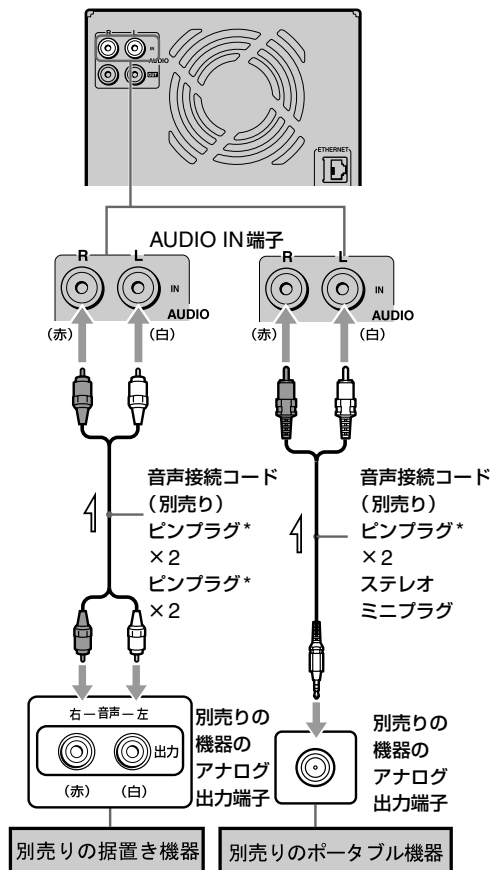
“エニーミュージック”に登録すると、FM放送のオンエア情報（放送中の番組情報や放送された曲の情報など）を見ることができます。
詳しくは、「オンエア情報を表示・保存する」（62ページ）をご覧ください。

再生

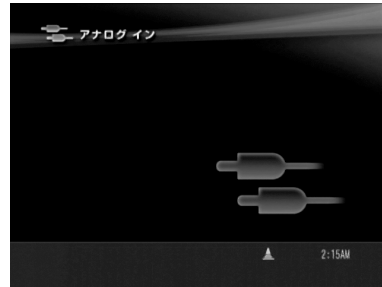
外部機器をつないで聞く

本体後面のAUDIO IN端子に音声接続コード（別売り）をつないでカセットデッキなどの音を聞いたり、録音することができます。

アナログ入力につなぐ

本機のAUDIO IN端子と別売りの機器のアナログ出力端子を音声接続コード（別売り）でつなぎます。
つなぐときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音の原因になります。

* 白（L）端子には白プラグを、赤（R）端子には赤プラグをつなぎます。

音声を聞く

1 ファンクションメニューで［アナログ イン］を選ぶ。

2 本機につないだ機器を再生する。

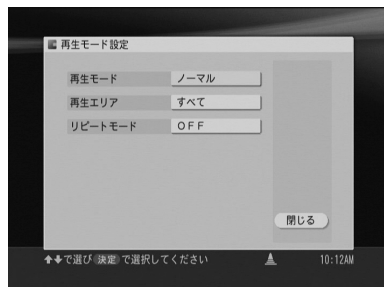
本機のスピーカーから音声が出力されます。
詳しくは、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。

入力レベルを調整するには

つないだ機器側の出力レベルが大きい、または小さい場合は、本機の入力レベルを調整することができます。
ツールメニューで［設定］－［入力感度切り換え］－［標準］または［低］を選びます。

リピート再生・ランダム再生 CD MD MS

曲順を変えて再生（ランダム）したり、1曲だけを繰り返し再生（リピート）したりできます。

1 **各ファンクションの停止中に、ツールメニューで［設定］－［再生モード設定］を選ぶ。**

2 **設定したい項目を選ぶ。**

3 **各項目を設定する。**

以下の「設定項目一覧」の表の各項目を、プルダウンメニューから選んで設定します。

4 **［閉じる］を選ぶ。**

各項目の設定内容が表示されます。

設定項目一覧

再生モード

	設定	内容
◆	ノーマル（表示なし）	記録されている通りの曲順で再生
	ランダム RANDOM	曲順を変えて再生

再生エリア *

	設定	内容
	グループ/アルバム GROUP ALBUM	現在選ばれているグループ（ATRAC）/アルバム（MP3）のすべての曲を再生
◆	すべて ALL	すべての曲を再生

リピートモード

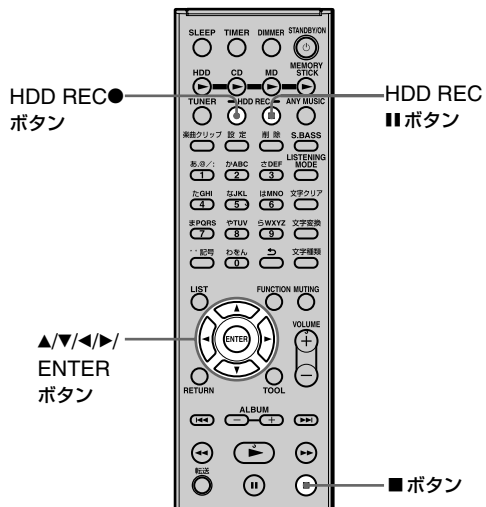
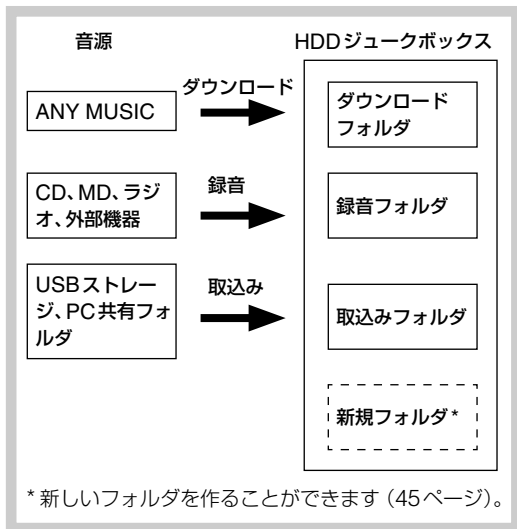
	設定	内容
◆	OFF（表示なし）	リピート再生しない
	ON REPEAT	再生エリア内のすべての曲をくり返し再生
	トラック REPEAT 1	1曲だけをくり返し再生

（◆：お買い上げ時の設定）
* 音楽CDの場合は、選ぶことができません。

再生

HDDジュークボックス

録音する・取込む

さまざまな音源からHDDジュークボックスに曲を録音したり、取込むことができます。

録音する・取込むことができるもの

本機のHDD（ハードディスク）には以下の音源から録音したり、取込むことができます。

	CD	MD	ラジオ	外部機器	USBストレージ	PC共有フォルダ	ANY MUSIC
操作するファンクション	CD	MD	チューナー	アナログイン	HDDジュークボックス	HDDジュークボックス	ANY MUSIC
操作	HDD REC ●ボタン	HDD REC ●ボタン	HDD REC ●ボタン	HDD REC ●ボタン	ツールメニュー（[MP3取込み]）	ツールメニュー（[MP3取込み]）	"エニーミュージック" からダウンロード
録音/取込みの単位	曲/アルバム	全曲のみ	—	—	アルバム	アルバム	曲/アルバム
録音/取込み時に選べるフォーマット	PCM/ATRAC/MP3	PCM/ATRAC/MP3	PCM/ATRAC/MP3	PCM/ATRAC/MP3	MP3	MP3	ATRAC3
録音/取込み時に選べるビットレート	フォーマットに対応するものを選択可能	フォーマットに対応するものを選択可能	フォーマットに対応するものを選択可能	フォーマットに対応するものを選択可能	取込み元と同じ	取込み元と同じ	132kbps
保存されるフォルダ	録音フォルダ*	録音フォルダ*	録音フォルダ*	録音フォルダ*	取込みフォルダ	取込みフォルダ	ダウンロードフォルダ

* 新規フォルダやあらかじめ作っておいたフォルダに保存することもできます（32ページ）。

フォーマットについて

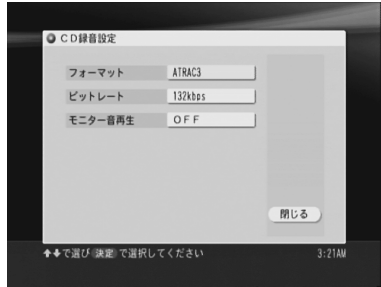
本機では、HDDジュークボックスに保存する音楽データのフォーマット（データ形式）を選べます。フォーマットによって、データ容量や転送できる機器やディスクなどが異なるので、目的に合ったものを選んでください。

	PCM	ATRAC		MP3
		ATRAC3	ATRAC3plus	
音楽データの内容	圧縮しない（CDと同等の音質）	PCMデータを約1/10に圧縮	PCMデータを約1/20に圧縮	PCMデータを約1/10に圧縮
可能な編集作業*1	情報編集 削除 移動 分割 結合 フォーマット変換	情報編集 削除 移動 分割 結合	情報編集 削除 移動 分割 結合	情報編集 削除 移動
転送できる機器やディスクなど	–	ATRAC AD MD "メモリースティック デュオ" *3	ATRAC AD MD*2 "メモリースティック デュオ" *3	ATRAC AD USBストレージ MD*2

*1 "エニーミュージック" からダウンロードした曲は編集できません。
*2 ATRAC3plus形式、MP3形式の音楽データは、ATRAC3形式に自動変換して転送されます。
*3 128MBまでのマジックゲート対応 "メモリースティック デュオ" のみ

録音・取込みの設定をする

1 各ファンクションのツールメニューで［設定］–［録音設定］を選ぶ。

CDファンクションの場合

2 設定したい項目を選ぶ。

3 各項目を設定する。

プルダウンメニューから「設定項目一覧」の表にある各項目を選んで設定します。

4 ［閉じる］を選ぶ。

設定項目一覧

フォーマット / ビットレート
フォーマットはHDDに録音する曲のデータ形式です。ビットレートは、録音するときの情報量を表します。

フォーマット	ビットレート
◆ ATRAC3	66kbps 105kbps ◆ 132kbps
ATRAC3plus	48kbps 64kbps 256kbps
PCM	—
MP3	96kbps 128kbps 160kbps 192kbps 256kbps

（◆：お買い上げ時の設定）

モニター音再生
CDをHDDに録音する場合、再生しながら録音するかどうかを選びます。

◆ OFF	無音状態で録音する。最大約8倍速での録音が可能。
ON	再生しながら録音する。 録音速度は遅くなる。

スマートスペース *

◆ ON	3秒以上の無音部分を自動的に3秒にする。無音状態が30秒間続くと本機は録音一時停止状態になり、10分間続くと録音を停止する。無音部分のレベル検出は、レベルシンクレベルの値で行う。
OFF	スマートスペース機能を使わない。

レベルシンク *

◆ ON	録音中に1.5秒以上の無音部分があると、自動的に曲番を1つ追加して、次の曲として録音する。
OFF	レベルシンク機能を使わない。

レベルシンクレベル *
入力信号の検出レベルが調節できます。

設定範囲： －96dB～ 0dB ◆ －50.0dB	雑音が多く曲番がつきにくいときは設定レベルを上げると曲番がつきやすくなる。お買い上げ時は－50.0dBに設定。

* アナログ インでのみ設定できます。

録音先を変更するには

CDやMD、ラジオ、外部機器から録音するときに、ツールメニューの［設定］–［録音先設定］から以下の項目を設定することができます。

フォルダ	プルダウンメニューでフォルダの一覧が表示されます。 新しくフォルダを追加したい場合は新規フォルダを選びます。 お買い上げ時は「録音フォルダ」に設定されています。
アルバム	プルダウンメニューでアルバムの一覧が表示されます。 新しくアルバムを追加したい場合は新規アルバムを選びます。 お買い上げ時は「新規アルバム」に設定されています。

ご注意

- 録音設定は、録音中には設定できません。
- スマートスペース、レベルシンクは、音声の有音部分が4秒以上の場合だけ有効になります。
- 録音先設定は、録音中および録音一時停止中には設定できません。

ヒント

フォルダ、アルバムの設定はCD/MD/チューナー/アナログ インの各ファンクションで独立して設定できます。

CDを録音する

音楽CDを本機のHDDに最大約8倍速で録音します。全曲録音と曲単位の録音を選べます。

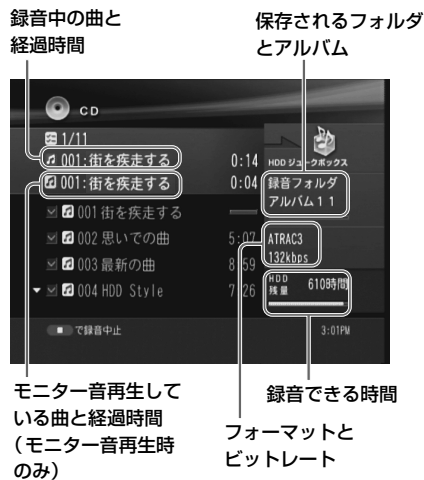
CDを全曲録音する

1 **ファンクションメニューで［CD］を選ぶ。**

2 **CDを入れる。**

自動的にCD情報が取得され（CDDB/CD TEXT）、画面に表示されます（22ページ）。

3 **HDD REC●ボタンを押す。**

録音が始まります。

録音が終わると、自動的にCDのメイン画面に戻ります。

録音を途中で止めるときは、■ボタンを押します。

曲を選んで録音する

1 **ファンクションメニューで［CD］を選ぶ。**

2 **CDを入れる。**

3 **CDのメイン画面でHDD REC❚❚ボタンを押す。**

チェックマーク✔のついている曲が録音されます。

4 **録音する曲を選ぶ。**

録音しない曲はENTERボタンを押して、チェックマークをはずします。

5 **HDD REC●ボタンを押す。**

録音が始まります。

ヒント

すべての曲を選ぶには、ツールメニューで［トラック選択］–［全選択］を選びます。また、チェックマークをすべてはずすには、［トラック選択］–［全解除］を選びます。

MDを録音する

音楽MDの全曲を本機のHDDにアナログ録音します。録音している曲の曲番と曲名が、自動的に記録されます。

1 **ファンクションメニューで［MD］を選ぶ。**

2 **MDを入れる。**

3 **HDD REC●ボタンを押して、録音を始める。**

録音が終わると、自動的にMDのメイン画面に戻ります。

録音を途中で止めるときは、■ボタンを押します。

ご注意

- 録音する曲を選んだり、途中から録音することはできません。最初の曲から録音されます。
- 4秒以下の曲は、次の曲とつながって1つの曲として録音されます。

ラジオを録音する

ラジオの音声を本機のHDDに録音します。

1 **TUNERボタンを押してファンクションをチューナーにする。**

2 **TUNERボタンを押してFMまたはAMを選ぶ。**

3 **ラジオ局を選ぶ（26ページ）。**

4 **録音を始める。**

HDD REC●ボタンを押します。

5 **録音を止める。**

■ボタンを押します。

録音を一時停止するにはHDD REC❚❚ボタンを押します。

ヒント

- 録音時間が30分を超えた場合は、自動的に次の曲番がつきます。
- HDDジュークボックスに録音したラジオの音声のタイトル名は、自動的に「日付 録音開始時間 ラジオ局名（登録されていない場合は、バンドと周波数）」になります。
- 録音中にHDD REC●ボタンを押すと、曲番がつきます。曲番をつける間隔は、最小4秒です。

外部機器から録音する

本機のAUDIO IN端子につないだレコードプレーヤーやカセットデッキなどのアナログ音声を本機のHDDに録音できます。

1 **ファンクションメニューで［アナログ イン］を選ぶ。**

2 **録音を始める。**

HDD REC●ボタンを押します。

3 **録音を止める。**

■ボタンを押します。

録音を一時停止するときはHDD REC❚❚ボタンを押します。

録音レベルを設定するには

録音一時停止中に、ツールメニューで［設定］–［入力感度切り替え］–［標準］または［低］を選びます。

録音される音の大きさを調節できます。音が歪む場合は、［低］を選んでください。

ヒント

- 録音時間が30分を超えた場合は、自動的に次の曲番がつきます。
- 録音中にHDD REC●ボタンを押すと、曲番がつきます。曲番をつける間隔は、最小4秒です。

USBストレージからMP3ファイルを取込む

USBストレージに保存されているMP3形式の曲を本機のHDDに取込むことができます。

1 **ツールメニューで［MP3取込み］–［USBストレージ］を選ぶ。**

2 **取込みたいアルバムを選ぶ。**

3 **［取込み］を選ぶ。**

ご注意

取込み先を選ぶことができません。取込みフォルダに保存されます。

PC共有フォルダからMP3ファイルを取込む

お手持ちのパソコン（共有フォルダ）に保存されているMP3形式の曲を本機のHDDに取込むことができます。
あらかじめパソコンで共有フォルダの設定をしておく必要があります（74ページ）。

1 **ツールメニューで［MP3取込み］–［PC共有フォルダ］を選ぶ。**

2 **以下の手順で共有フォルダを選ぶ。**

1 項目を選ぶ。

コンピュータ名	コンピュータ名またはIPアドレスを入力（半角英数字で18文字まで）
共有名	共有フォルダを設定したとき（74ページ）につけた共有名
ユーザー名	共有フォルダを設定したときにアクセス許可したユーザ名
パスワード	共有フォルダにパスワードがかかっているときのみ必要

2 文字を入力する。

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（17ページ）をご覧ください。

3［接続］を選ぶ。

3 **取込みたいアルバムを選ぶ。**

4 **［取込み］を選ぶ。**

ご注意

取込み先を選ぶことができません。取込みフォルダに保存されます。

コンピュータ名を確認するには（Windows XP Home Editionの場合）

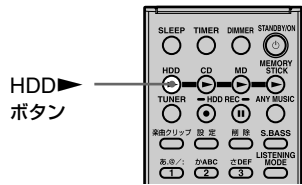
スタートメニューで［コントロールパネル］–［システム］を選び、システムのプロパティ画面の［コンピュータ名］タブをクリックすると、［フルコンピュータ名］欄に表示されます。

IPアドレスを確認するには（Windows XP Home Editionの場合）

スタートメニューで［コントロールパネル］–［ネットワーク接続］を選んでから、使用しているネットワークを選び、［サポート］タブをクリックすると、表示されます。

“エニーミュージック”からダウンロードする

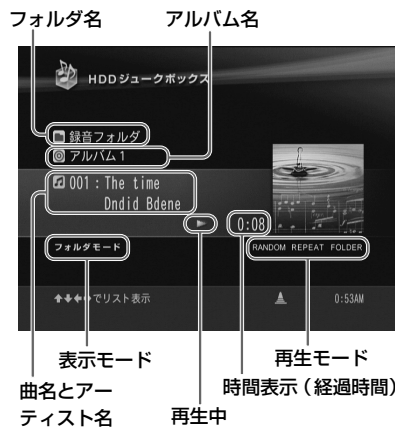
“エニーミュージック”に登録しておくと、音楽配信サービスから曲をダウンロードすることができます。
詳しくは、別紙の「エニーミュージックサービス利用ガイド」をご覧ください。

再生する

HDD► ボタンを押す。

曲の再生が始まります。

最後に再生/録音した曲が再生されます。

HDDジュークボックス再生画面について

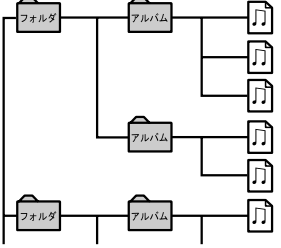
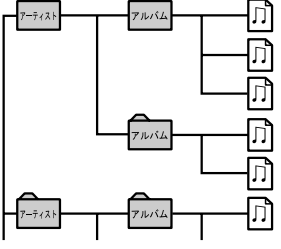
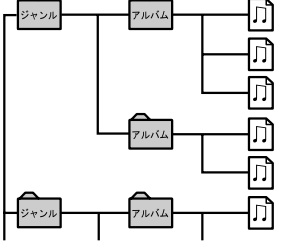
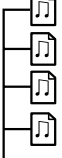
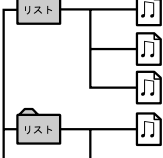
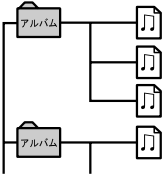
その他の操作をするには

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	❚❚ボタンを押す。もう一度押すか、►ボタンを押すと、停止した場所から再生が始まります。
曲中の聞きたいところを探す	再生中に ◄◄/►► ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。
前後の曲を選ぶ	再生中に ❙◄◄/►►❙ ボタンで曲を選ぶ。
曲を選んで再生する	▲/▼/◄/► ボタンで曲を選ぶ。または曲番の数字を1～9,0のボタンで押したあと、ENTERボタンを押す（21ページ）。
アルバムを選ぶ	ALBUM＋またはALBUM－ボタンでアルバムを選ぶ。
時間表示を切り換える	再生中にツールメニューで［表示］－［時間表示］－［経過時間］または［残り時間］を選ぶ（22ページ）。

ご注意

トラック階層（37ページ）以外の階層では、数字ボタンを使って曲番を選ぶことはできません。

表示モードを切り換える
–モード切り換え

フォルダ別やアーティスト別、ジャンル別などに並べ替えて表示できます。

1 **ファンクションメニューで［HDDジュークボックス］を選ぶ。**

2 **ツールメニューで［モード切り換え］－［（モードの種類）］を選ぶ。**

ご注意

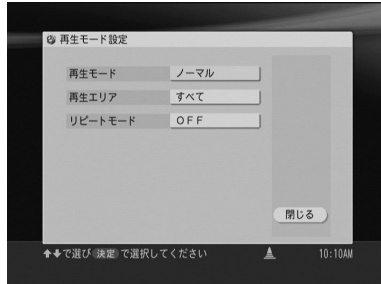
表示モードによってはすべての曲が表示されないことがあります。

モードの種類	表示	構成
◆フォルダ	HDDジュークボックス内のフォルダ順に表示（[フォルダ]–[アルバム]–[トラック] の3階層で構成）	
アーティスト	HDDジュークボックス内のアルバムに登録されているアーティスト順に表示（[アーティスト]–[アルバム]–[トラック] の3階層で構成）	
ジャンル	HDDジュークボックス内のアルバムに登録されているジャンル順に表示（[ジャンル]–[アルバム]–[トラック] の3階層で構成）	
ランキング	HDDジュークボックス内のすべての曲を、アクセストップ50/アクセスボトム50/最近聴いた曲50のランキングで表示（トラック階層のみの構成）	
お気に入りリスト	お気に入りに登録されている曲一覧をリストごとに表示（[リスト]–[トラック] の2階層で構成）	
ANY MUSIC	“エニーミュージック” で購入した曲のみを表示（[アルバム]–[トラック] の2階層で構成） 先頭のアルバムには、アルバムに入っていない曲が集められる。	

（◆：お買い上げ時の設定）

リピート再生・ランダム再生

曲順を変えて再生（ランダム）したり、1曲だけを繰り返し再生（リピート）したりできます。

1 **停止中にツールメニューで［設定］－［再生モード設定］を選ぶ。**

2 **設定したい項目を選ぶ。**

3 **各項目を設定する。**

プルダウンメニューから「設定項目一覧」の表にある各項目を選んで設定します。

4 **［閉じる］を選ぶ。**

各項目の設定内容がメイン画面に表示されます。

設定項目一覧

再生モード

設定	内容
◆ ノーマル（表示なし）	現在の表示モードの曲順で再生
ランダム RANDOM	曲順を変えて再生

（◆：お買い上げ時の設定）

再生エリア
表示モード（36ページ）によって再生する範囲が異なります。

表示モード	設定	内容
フォルダ	アルバム ALBUM	現在選ばれているアルバムのすべての曲を再生
	フォルダ FOLDER	現在選ばれているフォルダのすべての曲を再生
	◆すべて ALL	すべての曲を再生
アーティスト	アルバム ALBUM	現在選ばれているアルバムのすべての曲を再生
	アーティスト ARTIST	現在選ばれているアーティストのすべての曲を再生
	◆すべて ALL	すべての曲を再生
ジャンル	アルバム ALBUM	現在選ばれているアルバムのすべての曲を再生
	ジャンル GENRE	現在選ばれているジャンルのすべての曲を再生
	◆すべて ALL	すべての曲を再生
ランキング	◆すべて（表示なし）	リストのすべての曲を再生（［すべて］のみ表示）
お気に入り	リスト LIST	現在選ばれているリストのすべての曲を再生
	◆すべて ALL	お気に入り登録されているすべての曲を再生
ANY MUSIC	アルバム ALBUM	現在選ばれているアルバムのすべての曲を再生
	◆すべて ALL	“エニーミュージック”で購入したすべての曲を再生

リピートモード

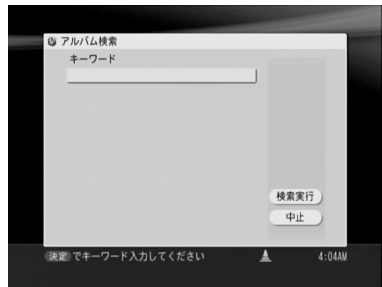
設定	内容
◆ OFF（表示なし）	リピート再生しない
ON REPEAT	再生エリア内のすべての曲をくり返し再生
トラック REPEAT 1	1曲だけをくり返し再生

アルバムや曲を検索する

HDD内のアルバムや曲を検索できます。フォルダモードの停止中のみ操作することができます。

1 **停止中にツールメニューで［モード切り換え］–［フォルダ］を選ぶ。**

フォルダモードに切り換わります。

2 **ツールメニューで［検索］–［アルバム］または［トラック］を選ぶ。**

3 **決定する。**

キーワード入力画面が表示されます。

4 **キーワード（検索するアルバムまたは曲の名前）を入力する。**

5 **［検索実行］を選ぶ。**

検索が始まります。

検索が終わると、タイトル検索結果画面が表示されます。

検索したアルバムまたは曲を表示するには

アルバムまたは曲を選びます。

アルバムまたはトラック検索画面に戻るには

［条件入力へ］を押します。

転送する

本機のHDDジュークボックスに保存されているATRAC3形式、ATRAC3plus形式、MP3形式の音楽データをポータブル機器やマジックゲート対応"メモリースティック デュオ"に転送できます。

転送できるもの

転送先の機器やディスクなどによって、フォーマット（データ形式）が異なります。

転送先	転送できるフォーマット
ATRAC AD	ATRAC3、ATRAC3plus、MP3
USBストレージ	MP3
MD	ATRAC3、ATRAC3plus*1、MP3*1
"メモリースティック デュオ"*2	ATRAC3、ATRAC3plus

*1 ATRAC3plus形式、MP3形式の音楽データは、ATRAC3形式に自動変換して転送されます。
*2 128MBまでのマジックゲート対応"メモリースティック デュオ"のみ

ご注意

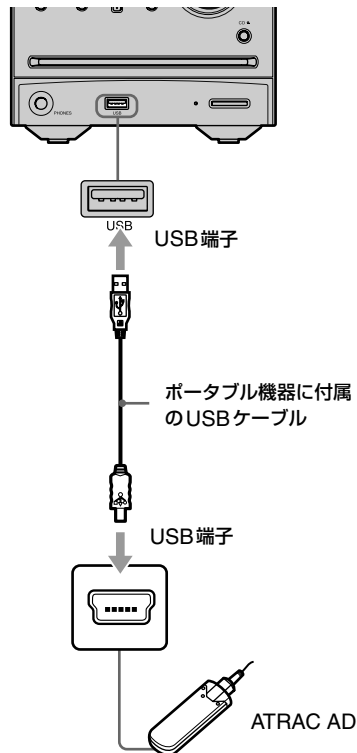
転送回数が制限されている音楽データを転送するときは、あらかじめ転送できる回数を確認してください（43ページ）。

ATRAC ADに転送する

ご注意

ATRAC ADに転送中は、USBケーブルを抜かないでください。本機およびATRAC ADが正しく動作しなくなることがあります。

1 ATRAC AD機器をUSB端子につなぐ。

つないだポータブル機器の詳しい使いかたについては、接続機器の取扱説明書をご確認ください。

2 ファンクションメニューの［HDDジュークボックス］を選ぶ。

3 転送したいフォルダまたはアルバム、曲、お気に入りリストなどを選ぶ。

4 ツールメニューで［転送］–［ATRAC AD］を選ぶ。または、リモコンの転送ボタンを押す。

お買い上げ時、リモコンの転送ボタンはATRAC ADに設定されています。

選んだ曲のチェックマーク✔がついていることを確認します。

転送先の残容量

5 ［実行］を選ぶ。

ご注意

- ポータブル機器にACパワーアダプターが付属している場合は、ACパワーアダプターをつないで家庭用電源でお使いになることをおすすめします。
  電池で使う場合は、電池の残量が充分にあることを確認してください。電池の残量不足による不具合や、転送の失敗、音楽データの破壊などについては保証いたしませんので、ご注意ください。
- ATRAC ADに転送中は、USBケーブルを抜かないでください。本機およびATRAC ADが正しく動作しなくなることがあります。

USBストレージに転送する

ご注意

USBストレージに転送中は、USBケーブルを抜かないでください。本機およびUSBストレージが正しく動作しなくなることがあります。

1 USBストレージをUSB端子につなぐ。

つないだポータブル機器の詳しい使いかたについては、接続機器の取扱説明書をご確認ください。

2 ファンクションメニューの［HDDジュークボックス］を選ぶ。

3 転送したいフォルダまたはアルバム、曲、お気に入りリストなどを選ぶ。

4 ツールメニューで［転送］–［USBストレージ］を選ぶ。または、リモコンの転送ボタンを押す。

お買い上げ時、リモコンの転送ボタンはATRAC ADに設定されています。

選んだ曲のチェックマーク✔がついていることを確認します。

5 ［設定］を選ぶ。

USBストレージの転送先フォルダ設定画面が表示されます。

6 ［転送先フォルダを］を選び、プルダウンメニューから転送先フォルダを選ぶ。

◆初期設定にする	「¥Music」に保存されます。
rootに設定する	「root」に保存されます。
指定する	フォルダ名を入力してください。

（◆：お買い上げ時の設定）

7 ［閉じる］を選ぶ。

USBストレージ転送画面に戻ります。

8 ［実行］を選ぶ。

ご注意

- ポータブル機器にACパワーアダプターが付属している場合は、AC パワーアダプターをつないで家庭用電源でお使いになることをおすすめします。
  電池で使う場合は、電池の残量が充分にあることを確認してください。電池の残量不足による不具合や、転送の失敗、音楽データの破壊などについては保証いたしませんので、ご注意ください。
- USBストレージに転送中は、USBケーブルを抜かないでください。本機およびUSBストレージが正しく動作しなくなることがあります。

MDに転送する

ATRAC3plus形式、MP3形式の曲は、ATRAC3形式に自動変換して転送されます。この場合は、録音モードをステレオ録音にしたときと同じように、転送に時間がかかります。

1 MDを挿入する（23ページ）。

2 ファンクションメニューの［HDDジュークボックス］を選ぶ。

3 転送したいアルバムまたは曲、お気に入りリストなどを選ぶ。

4 ツールメニューで［転送］–［MD］を選ぶ。または、リモコンの転送ボタンを押す。

お買い上げ時、リモコンの転送ボタンは、ATRAC ADに設定されています。

転送先の残容量

5 ［設定］を選ぶ。

MDの録音モード設定画面が表示されます。

次のページにつづく

6 **［録音モード］を選び、プルダウンメニューから録音モードを選ぶ。**

◆LPステレオ録音	長時間ステレオ録音します。転送する曲がATRAC3形式でビットレートが66kbpsの場合はLP4ステレオで録音されます。それ以外は、LP2ステレオで録音されます。
ステレオ録音	ステレオ録音します。LPステレオ（MDLP）に対応していないMDプレーヤーでも再生できます。

（◆：お買い上げ時の設定）

7 **［閉じる］を選ぶ。**

MD転送画面に戻ります。

8 **転送したいものにチェックマーク✔をつける。**

9 **［実行］を選ぶ。**

ご注意

録音モードをステレオ録音にした場合やATRAC3plus形式、MP3形式の曲を自動変換して転送する場合は、転送に時間がかかります。

“メモリースティック デュオ”に転送する

ご注意

“メモリースティック デュオ”に転送中は、“メモリースティック デュオ”を抜かないでください。本機および“メモリースティック デュオ”が正しく動作しなくなることがあります。

1 **マジックゲート対応“メモリースティック デュオ”を挿入する（24ページ）。**

2 **ファンクションメニューの［HDDジュークボックス］を選ぶ。**

3 **転送したいフォルダまたはアルバム、曲、お気に入りリストなどを選ぶ。**

4 **ツールメニューで［転送］–［メモリースティック］を選ぶ。または、リモコンの転送ボタンを押す。**

お買い上げ時、リモコンの転送ボタンは、ATRAC ADに設定されています。

選んだ曲のチェックマーク✔がついていることを確認します。

転送先の残容量

5 **［設定］を選ぶ。**

“メモリースティック デュオ”の転送先グループ設定画面が表示されます。

6 **［転送先グループ］を選び、プルダウンメニューから転送先グループを選ぶ。**

◆新規グループ	選ばれている曲を、新しくグループを作って転送します。
転送先グループ（既存グループ）	選ばれている曲を、既にあるグループに転送します。

（◆：お買い上げ時の設定）

7 **［閉じる］を選ぶ。**

メモリースティック転送画面に戻ります。

8 **［実行］を選ぶ。**

その他の操作

転送ボタンの転送先を変更するには

リモコンの転送ボタンを押したときの転送先を設定します。

お買い上げ時の設定は、ATRAC ADです。

1 **ツールメニューで［設定］–［転送ボタン設定］を選ぶ。**

転送ボタン設定画面が表示されます。

2 ［転送先］を選び、プルダウンメニューから転送先を選ぶ。

3 ［閉じる］を選ぶ。

転送できる回数を確認するには

ツールメニューで［表示］–［トラック情報］を選び、［転送回数制限］を確認します。
転送トラック選択画面で曲番の前に表示されるアイコンでも、転送できる回数を確認できます。

アイコン	アイコンの意味
∞	転送回数に制限なし
3-	あと3回以上転送可能
2	あと2回転送可能
1	あと1回転送可能
0	転送不可能
M	転送回数制限のない曲（MP3形式の音楽データ）（USBストレージやMD、MP3形式に対応しているATRAC ADに転送できます。MDの場合、ATRAC3形式に自動変換して転送されます。）
P	転送用のフォーマット変換が行われていない曲（PCM形式の音楽データ）

ご注意

PCM形式の曲は転送できません。ATRAC3形式、ATRAC3plus形式、MP3形式に変換してください（52ページ）。

転送を途中で止めるには

RETURNボタンを押します。
ただし、転送を途中で止めると、時間がかかる場合があります。

転送先の曲を削除するには

HDDジュークボックスから転送した曲を、本機で削除することができます。
削除すると、転送回数制限のある曲の場合、本機から転送できる回数は元に戻ります。

1 HDDジュークボックスファンクションのツールメニューで［転送先から削除］–［（転送先）］–［（削除する単位）］を選ぶ。

2 削除する対象を選ぶ。

MDの場合、曲を削除するか、HDDジュークボックスに戻すか選ぶことができます。
本機から転送した曲の場合は、［HDDジュークボックスに戻す］を選んでください。

3 ［削除］を選ぶ。

4 画面の内容を確認し、決定する。

ご注意

- グループを削除すると、グループ内の曲も削除されます。
- 削除が終了するまでは、機器やディスクなどを抜いたり、本機の電源を切らないでください。

ヒント

- HDDジュークボックスからATRAC ADや“メモリースティック デュオ”に転送した転送回数制限のある曲を削除すると、自動的にHDDジュークボックスの転送回数が戻ります。
- 本機につないだATRAC ADを初期化することもできます。削除設定画面で［初期化］を選びます。

編集できるもの

HDDジュークボックス内だけでなく、本機に挿入した"メモリースティック デュオ"やMD内のフォルダ/アルバム/グループや曲、情報などを編集できます。

項目	できること		
	HDD ジュークボックス	**MD**	**"メモリースティック デュオ" (ATRAC モードのみ)**
情報編集	フォルダ名、アルバム名、曲名、アーティスト名、ジャンル名	ディスク名、グループ名、曲名	グループ名、曲名、アーティスト名、ジャンル名
	画像ファイルの登録	—	—
削除	フォルダ、アルバム、曲、お気に入りリスト	ディスク全体、グループ、曲	グループ、曲
移動	フォルダ、アルバム、曲、お気に入りリスト	グループ、曲	グループ、曲
新規作成/グループ新規作成	フォルダ、アルバム、お気に入りリスト	グループ	グループ
お気に入りに登録	曲	—	—
フォーマット変換	PCM形式の曲	—	—
分割	曲*	—	—
結合	曲*	—	—
初期化	—	—	すべてのデータ、曲

* MP3形式の曲は編集できません。

ご注意

- ダウンロードフォルダ、録音フォルダ、取込みフォルダを削除したり、移動することはできません。
- "エニーミュージック"で購入した曲は編集できません。

フォルダ・アルバム・グループ・お気に入りリストを作る HDD MD MS

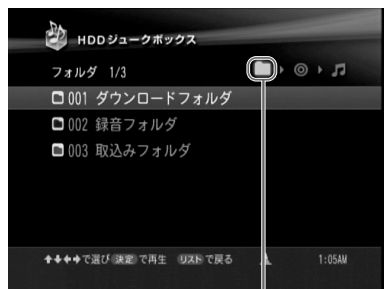
フォルダ・アルバムを作る HDD

新しいフォルダやアルバムを作って、その中に曲を録音、移動することができます。また、新しいお気に入りリストを作って曲を登録することもできます。
フォルダは200まで、アルバムは20,000まで、お気に入りリストは1,000まで作ることができます。

1 **HDDジュークボックスファンクションの停止中に、ツールメニューで［モード切り換え］–［フォルダ］を選ぶ。**

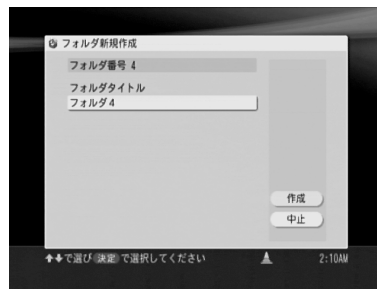
フォルダモードに切り換わります。

2 **◀ボタンでフォルダ一覧画面またはアルバム一覧画面を表示させる。**

フォルダ一覧画面

フォルダ一覧画面を表すアイコン

アルバム一覧画面

アルバム一覧画面を表すアイコン

3 **ツールメニューで［編集］–［新規作成］を選ぶ。**

4 **［フォルダタイトル］または［アルバムタイトル］を選ぶ。**

文字入力画面が表示されます。

5 **タイトルを入力する。**

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（17ページ）をご覧ください。

6 **［作成］を選ぶ。**

フォルダまたはアルバムが作成されます。

グループを作る MD MS

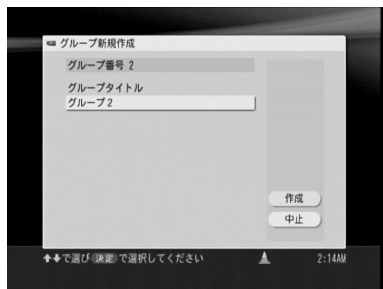
新しいグループを作って、その中に曲を移動することができます。
MDの場合は99グループまで、“メモリースティック デュオ”の場合は、400グループまで作ることができます。

1 **MDファンクションまたはメモリースティックファンクションの停止中に、ツールメニューで［モード切り換え］–［ATRAC］を選ぶ。**

ATRACモードに切り換わります。
MDの場合は、モードを切り換えずに手順3に進んでください。

2 **◀ボタンでグループ一覧画面を表示させる。**

次のページにつづく

3 ツールメニューで［編集］–［グループ新規作成］を選ぶ。

4 ［グループタイトル］を選ぶ。

文字入力画面が表示されます。
MDの場合は、グループタイトルとして全角と半角の2つのタイトルを入力できます。

5 グループタイトルを入力する。

6 ［作成］を選ぶ。

新しいグループが作成されます。

お気に入りリストを作る HDD

1 HDDジュークボックスファンクションの停止中に、ツールメニューで［モード切り換え］–［お気に入りリスト］を選ぶ。

お気に入りリスト一覧画面が表示されます。
メイン画面またはトラック一覧画面が表示されている場合は、◀ボタンを押して、お気に入りリスト一覧画面を表示させます。

2 ツールメニューで［編集］–［新規作成］を選ぶ。

3 ［お気に入りリストタイトル］を選ぶ。

文字入力画面が表示されます。

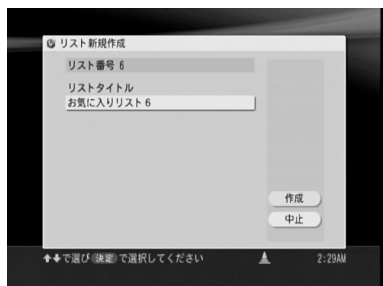
4 お気に入りリストタイトルを入力する。

5 ［作成］を選ぶ。

お気に入りリストが作成されます。

ご注意

以下の場合、自動的に新しいグループが作成され、マジックゲート対応 "メモリースティック デュオ" 内のすべての曲は、自動的に作成されたグループ内に移動します。

– グループが存在しないマジックゲート対応 "メモリースティック デュオ" を本機に挿入した場合
– グループ機能に対応していない機器またはソフトウェアで曲の転送や編集を行った場合
– グループ機能に関連するファイルが壊れていたり消去された場合

名前を変更する

HDD MD MS

フォルダやグループ、ディスク（MD）、アルバム、曲（トラック）、アーティスト、ジャンル、お気に入りリストの名前を変更できます。
ファンクションによって変更できる項目が異なります。

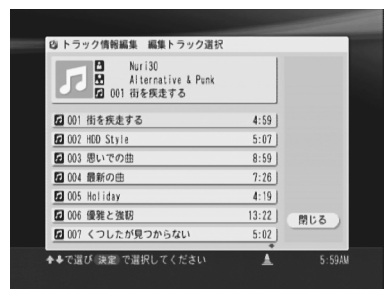
HDDジュークボックスや"メモリースティック デュオ"の場合 HDD MS

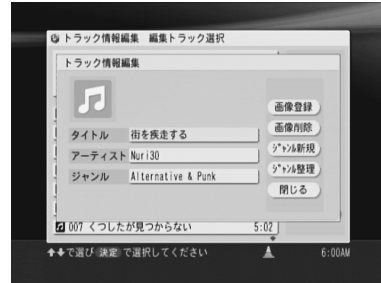
1 **ファンクションメニューでファンクションを選ぶ。**

2 **ツールメニューで［モード切り換え］–［モードの種類］を選ぶ。**

- HDDジュークボックス：［フォルダ］（お気に入りリストのときは［お気に入りリスト］）を選ぶ。
- "メモリースティック デュオ"：［ATRAC］を選ぶ。

3 **変更する対象（フォルダまたはアルバム、グループ、曲、お気に入りリスト）を選ぶ。**

4 **ツールメニューで［編集］–［情報編集］–［（対象の種類）］を選ぶ。**

5 **変更する項目を確認し、決定する。**

文字入力画面が表示されます。
ジャンルを選んだ場合は、ジャンルの一覧が表示されます。

6 **名前を入力する。**

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（17ページ）をご覧ください。
ジャンルの場合は、ジャンルの一覧から選びます。

7 **［閉じる］を選ぶ。**

ジャンルを新しく作成するには

ジャンルの一覧につけたいジャンルがない場合は、ジャンルを新しく作成できます。

1 **情報編集画面で［ジャンル新規］を選ぶ。**
文字入力画面が表示されます。

2 **ジャンル名を入力する。**

3 **［閉じる］を選ぶ。**

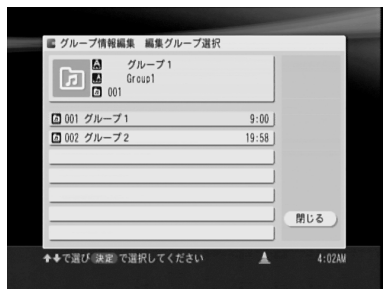
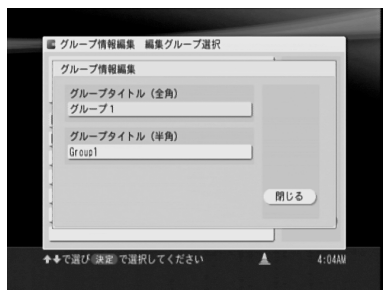
ジャンルを整理するには

HDDジュークボックス内の使用していないジャンルを自動的に削除します。

1 **情報編集画面で［ジャンル整理］を選ぶ。**

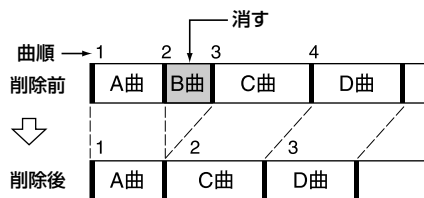
2 **［はい］を選ぶ。**

MDの場合 MD

1. MDファンクションにしてから、◀ボタンでリスト画面を表示させる。
2. ツールメニューで［編集］–［情報編集］–［グループ］または［ディスク］、［トラック］（曲）を選ぶ。

3. 名前をつけたいグループまたはディスク、トラックを選ぶ。

4. 変更する項目を確認し、決定する。
   文字入力画面が表示されます。
5. 名前を入力する。
6. ［閉じる］を選ぶ。

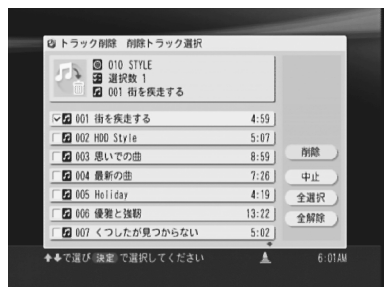
削除する HDD MD MS

フォルダやアルバム、グループ、曲、お気に入りリストを削除できます。
HDDジュークボックス内だけでなく、本機に挿入した“ メモリースティック デュオ” やMD内の曲も削除できます。
一度消すと元には戻せないので、よく確認してから消してください。
曲を消すと、曲番は順にくり上がります。例えば、曲番2を消すと、元の曲番3が2にくり上がります。

例）B曲を消す

1. ファンクションメニューでファンクションを選ぶ。
2. ツールメニューで［モード切り換え］–［（モードの種類）］を選ぶ。
   MDの場合は、モードを切り換えずに手順4に進んでください。
   “メモリースティック デュオ” の場合は、［ATRAC］を選びます。
3. 削除する対象のリスト画面を表示させる。
   アルバムを削除する場合はアルバムのリスト画面、曲を削除する場合はトラックのリスト画面を表示させます。

4 ツールメニューで［編集］–［削除］–［（削除する対象）］を選ぶ。または、リモコンの削除ボタンを押す。

選んだ対象にチェックマーク✔がつきます。

同時に複数のものを削除するには、削除したいものすべてにチェックマーク✔をつけます。

5 ［削除］を選ぶ。

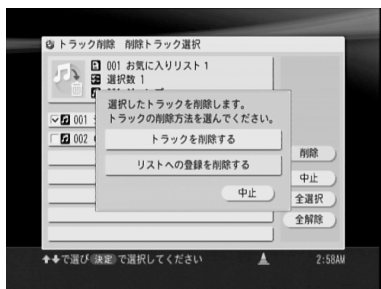
削除確認画面が表示されます。

MDの場合、そのまま削除するか、HDDジュークボックスに戻すか選ぶことができます。

本機から転送した曲を削除する場合は、［HDDジュークボックスに戻す］を選んでください。

6 ［はい］を選ぶ。

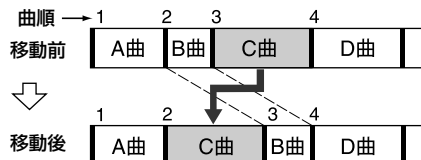
ヒント

お気に入りリストの曲を削除する場合、お気に入りリストから削除するか、音楽データを削除するか選ぶことができます。

MD内の全曲を削除するには

上記の手順4で削除する対象として［ディスク］を選びます。

移動する HDD MD MS

フォルダやアルバム、グループ、曲、お気に入りリストを好きな位置に移動できます。曲順を変えると、曲番も頭から順につけ直されます。

例）C曲をB曲の前に移動する

1 ファンクションメニューでファンクションを選ぶ。

2 ツールメニューで［モード切り換え］–［（モードの種類）］を選ぶ。

HDDジュークボックスの場合は、［フォルダ］（お気に入りリストのときは［お気に入りリスト］）を選びます。

MDの場合は、モードを切り換えずに、手順4に進んでください。

“メモリースティック デュオ”の場合は、［ATRAC］を選びます。

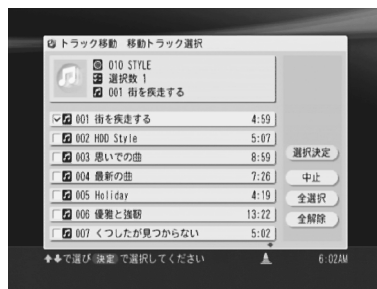
3 移動する対象（フォルダまたはアルバム、グループ、曲、お気に入りリスト）を選ぶ。

4 ツールメニューで［編集］–［移動］を選ぶ。

選んだ対象のチェックマーク✔がついていることを確認します。

同時に複数の対象を移動するには、移動したい対象にチェックマーク✔をつけます。

次のページにつづく

編集

5 ［選択決定］を選ぶ。

移動先選択画面が表示されます。

6 移動先を選ぶ。

移動確認画面が表示されます。

他のフォルダやアルバム、グループに移動するには、▲/▼/◀/▶/ENTERボタンで移動先のフォルダやアルバム、グループを選んでから、移動先を選びます。

7 ［はい］を選ぶ。

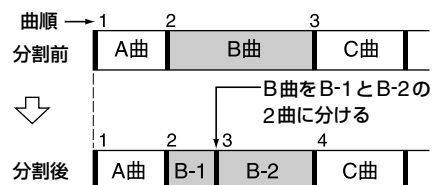
選んだ対象が移動します。

曲を分ける HDD

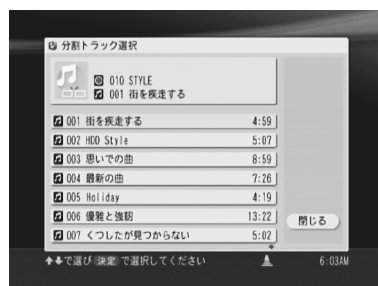
1曲を分割して2曲にします。分けた曲以降の曲番は、頭から順につけ直されます。

PCM形式とATRAC形式*の曲のみ分けることができます。

* "エニーミュージック" からダウンロードした曲を分けることはできません。

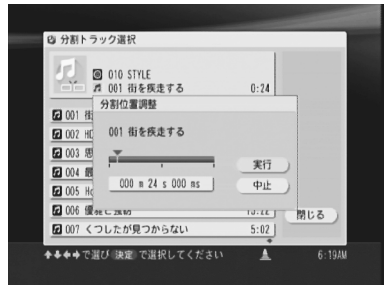
例）B曲を2つに分ける

1 HDDジュークボックスファンクションのツールメニューで［モード切り換え］–［フォルダ］を選ぶ。

2 分けたい曲を選ぶ。

3 ツールメニューで［編集］–［分割］を選ぶ。

4 HDD▶ボタンを押す。

選んだ曲の再生が始まります。

5 **分けたい位置で、ENTERボタンを押す。**

ENTERボタンを押した位置からくり返し再生されます。

▲/▼/◀/▶ボタンで分割位置（m：分、s：秒、ms：ミリ秒）を変更すると、そこから後の2秒間をくり返し再生します。

6 **分割位置を正しく再生していたら、決定する。**

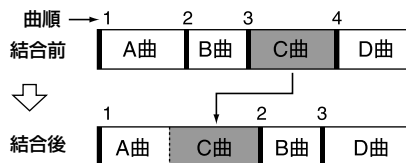
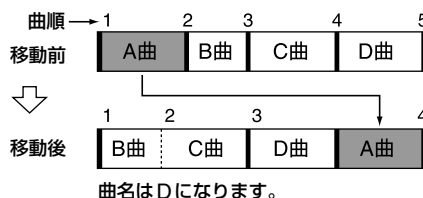
7 **［実行］を選ぶ。**

曲が分かれます。

曲をつなぐ HDD

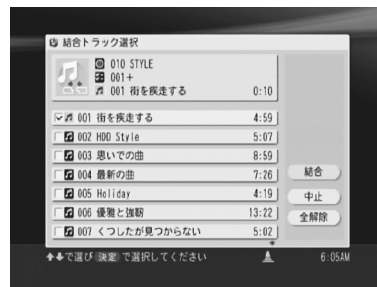
2曲をつないで1曲にします。曲番は、頭から順につけ直されます。
PCM形式とATRAC形式*の曲のみつなぐことができます。

* "エニーミュージック"からダウンロードした曲をつなぐことはできません。

例）A曲にC曲をつなぐ

例）D曲にA曲を合わせる

1 **HDDジュークボックスファンクションのツールメニューで［モード切り換え］–［フォルダ］を選ぶ。**

2 **前につなぎたい曲を選ぶ。**

3 **ツールメニューで［編集］–［結合］を選ぶ。**

選んだ曲にチェックマーク✔がついていることを確認します。

4 **後につなげたい曲を選ぶ。**

5 **［結合］を選ぶ。**

6 **［実行］を選ぶ。**

チェックマークをつけた順に曲がつながります。

次のページにつづく

つなぎたい2曲の順番を変えるには

手順5の後で［入れ替え］を選びます。

ご注意

フォーマットやビットレートが異なる曲をつなぐことはできません。

曲のデータ形式を変換する–フォーマット変換 HDD

HDDジュークボックス内のPCM形式の曲をATRAC3形式、ATRAC3plus形式、MP3形式に変換します。

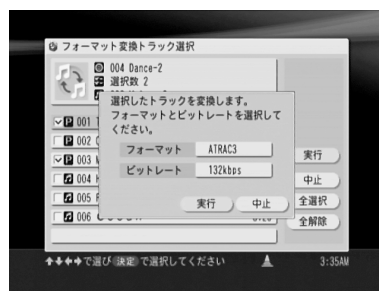
1 **HDDジュークボックスファンクションにしてから、変換したい曲を選ぶ。**

2 **ツールメニューで［編集］–［フォーマット変換］を選ぶ。**

選んだ曲のチェックマークがついていることを確認します。

同時に複数の曲を変換するには、変換したい曲にチェックマーク✔をつけます。

3 **［実行］を選ぶ。**

フォーマット（32ページ）、ビットレート（32ページ）をプルダウンメニューから選んでください。

4 **［実行］を選ぶ。**

データ形式が変換されます。

ご注意

- 一度にフォーマット変換できるのは99曲までです。
- ATRAC3形式、ATRAC3plus形式、MP3形式の曲はフォーマット変換できません。

画像を登録する HDD

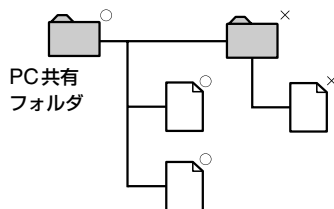
“メモリースティック デュオ” やネットワーク上のPC共有フォルダ*にある画像ファイルを、アルバム、曲、お気に入りリストに登録することができます。
登録できる画像のファイル形式は、以下の形式です。

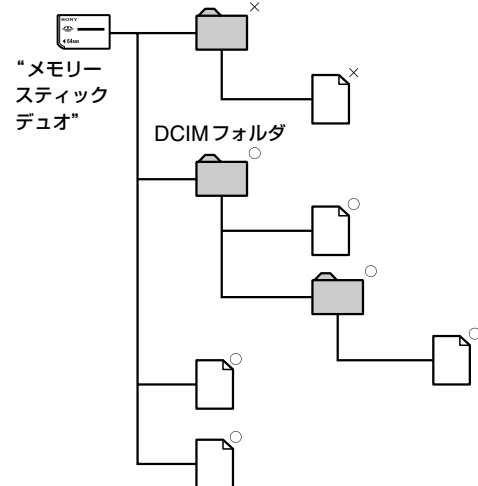
- JPEG形式（拡張子JPG、JPEG）
- GIF（拡張子GIF）

* 詳しくは、74ページをご覧ください。

登録をはじめる前に

画像を登録できるファイルは、下図の○がついているもののみです。

PC共有フォルダ

PC共有フォルダに直接保存されているファイルのみ登録できます。

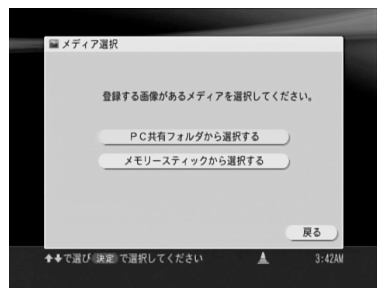
“メモリースティック デュオ”

“メモリースティック デュオ” に直接保存されているファイルと、DCIMフォルダに保存されているすべてのファイルが登録できます。

登録する

1 HDDジュークボックスファンクションにしてから、登録する対象（アルバムまたは曲、お気に入りリスト）を選ぶ。

2 ツールメニューで［編集］－［情報編集］を選ぶ。

3 登録する対象を選び、決定する。

4 ［画像登録］を選ぶ。

次のページにつづく

5 **PC共有フォルダまたは“メモリースティック”を選ぶ。**

PC共有フォルダを選んだ場合は、共有フォルダ設定画面が表示されるので、内容を確認してから［接続］を選び、決定します。

6 **画像ファイルを選ぶ。**

画像確認画面が表示されます。

7 **［はい］を選ぶ。**

選んだ画像ファイルが登録されます。

すでに登録された画像がある場合は、上書き登録確認画面が表示され、［はい］を選ぶと、画像が上書きされます。

登録されている画像を削除するには

手順4で［画像削除］を選びます。

ご注意

削除したり、上書きをして消された画像を元に戻すことはできません。

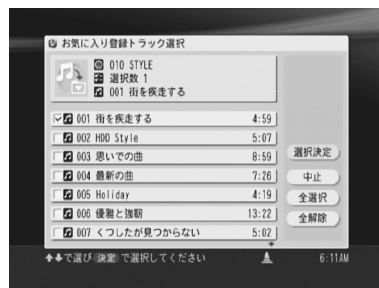
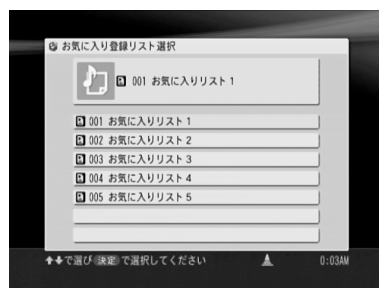
お気に入りリストに登録する HDD

HDDの曲をお気に入りリストに登録することによって、好きな曲だけを集めて聞くことができます。

1 **HDDジュークボックスファンクションにしてから、お気に入りリストに登録したい曲を選ぶ。**

2 **ツールメニューで［編集］–［お気に入りに登録］を選ぶ。**

選んだ曲のチェックマークがついていることを確認します。

同時に複数の曲を登録するには、登録したい曲にチェックマーク✔をつけます。

3 **［選択決定］を選ぶ。**

4 **登録したいリストを選ぶ。**

確認画面が表示されます。

5 **［はい］を選ぶ。**

選んだ曲がお気に入りリストに登録されます。

お気に入りリストの曲を聞くには

HDDジュークボックスファンクションのツールメニューで［モード切り換え］–［お気に入りリスト］を選び、再生します。

“メモリースティック デュオ”を初期化する(MS)

メモリースティックファンクションで表示されるATRAC形式の曲を消したり(オーディオ初期化)、“メモリースティック デュオ”に記録されているすべてのデータを消す(メディア初期化)ことができます。

1 メモリースティックファンクションのツールメニューで[編集]-[初期化]-[オーディオ]または[メディア]を選ぶ。

オーディオ	メモリースティックファンクションで表示されるすべての曲を消します(ATRACモードのみ)。
メディア	“メモリースティック デュオ”に記録されているすべてのデータを消します。

オーディオまたはメディアの初期化を行うかを確認する画面が表示されます。

2 [はい]を選ぶ。

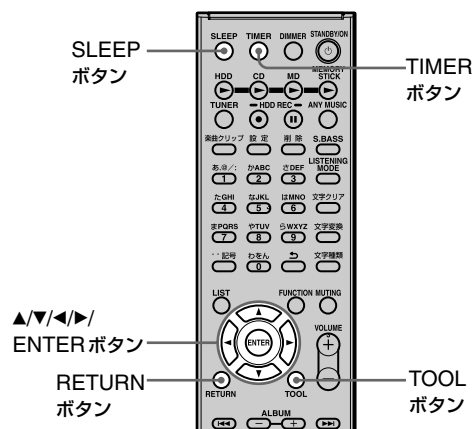
初期化が実行されます。

「いいえ」を選ぶか、RETURNボタンを押すと操作がキャンセルされます。

ご注意

- メモリースティックファンクションでメディア初期化を行うと、“メモリースティック デュオ”に記録されているデータはすべて消去されます。本機以外で記録したデータも消去されます。初期化する前に、必ず内容を確認してください。
- メモリースティックファンクションでオーディオ初期化を行うと、“メモリースティック デュオ”に記録されている、以下のフォルダ内のデータが初期化されます。パソコンなどで“メモリースティック デュオ”をご使用の際は、以下のフォルダ内にファイルを置かないでください。
  - HIFIフォルダ
  - CONTROLフォルダ
- 必要なとき以外は“メモリースティック デュオ”を初期化しないでください。
- “メモリースティック デュオ”をパソコンで初期化すると、その“メモリースティック デュオ”は本機で使えなくなる場合があります。その場合は、本機で初期化し直してください。

タイマーを使う

本機には、スリープタイマー、ウェイクアップタイマー、タイマー録音の3種類のタイマーがあり、1件のスリープタイマー、および3件のウェイクアップタイマー、10件のタイマー録音を設定できます。
タイマーは電源が入っている/いないにかかわらず動作します。タイマー動作中はTIMERランプが点滅します。

スリープタイマーを使う

本機の電源が自動的に切れるまでの時間を30分単位で決めることができます。急用で出かけるときや、眠くなったときに便利です。

SLEEPボタンを押す。

ボタンを押すたびに、以下のように表示が切り換わります。

OFF → 30 → 60 → 90 → 120 → 150 → 180 → OFF …

設定したい時間を表示させるだけで登録は完了です。
スリープタイマー中は、画面に時計アイコンが表示されます。

ご注意

タイマーの動作中は、スリープタイマーの設定は取り消されます。

ヒント

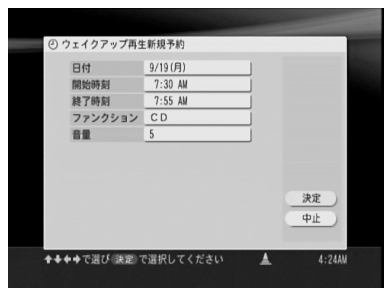
次に設定されているタイマー予約開始時刻まで、時間設定が可能です（180分以下の表示になる場合があります）。

ウェイクアップタイマーを使う

毎日指定した時刻に自動的に電源が入り、自動的に切れるように設定できます。音楽の自動再生が可能です。あらかじめ時計を合わせておいてください（20ページ）。

1 TIMERボタンを押す。

予約一覧画面が表示されます。

2 ツールメニューで［新規予約］－［ウェイクアップ再生］を選ぶ。

3 各項目を設定する。

「ウェイクアップタイマー設定項目」の表にある各項目を選んで設定します。

4 ［決定］を選ぶ。

予約が登録され、予約一覧画面に表示されます。

5 TIMERボタンまたはRETURNボタンを押す。

タイマーが設定され、TIMERランプが点灯します。

設定した時刻になると、再生/受信が始まります。

HDDジュークボックスのときは最後に再生した曲が、CD、MD、"メモリースティック デュオ"のときは最初の曲が再生されます。

ご注意

タイマー開始時間の約1分前から、一部の操作ができなくなります。

ウェイクアップタイマー設定項目

設定項目	設定値
日付	今 日～ 4週間先までの月日 毎（土）～ 毎（日） 月－金 月－土 毎 日
開始時刻 終了時刻	時/分 時/分
ファンクション	◆CD
	MD
	メモリースティック
	チューナー
	HDDジューク
音量	音量

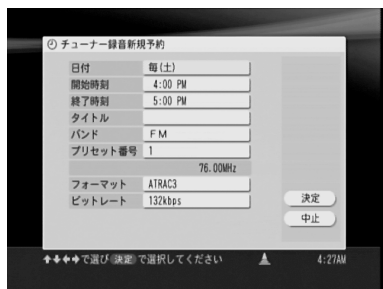
（◆：お買い上げ時の設定）

タイマー録音する

本機のチューナーの音声をタイマー録音できます。あらかじめ時計とラジオ局を設定しておいてください。

1 **TIMER ボタンを押す。**

予約一覧画面が表示されます。

2 **ツールメニューで［新規予約］–［チューナー録音］を選ぶ。**

3 **各項目を設定する。**

「タイマー録音設定項目」の表にある各項目を選んで設定します。

4 **［決定］を選ぶ。**

予約が登録され、予約一覧画面に表示されます。

5 **TIMER ボタンまたは RETURN ボタンを押す。**

タイマーが設定され、TIMER ランプが点灯します。

ご注意

- タイマー開始時間の約1分前から、一部の操作ができなくなります。
- タイトルに何も入力しないときは、自動的に設定内容が入ります。
- タイマー録音中に音を出すには、MUTING ボタン、または VOLUME ＋ボタンを押して、消音状態を解除してください。

タイマー録音設定項目

設定項目	設定値	
日付	今 日〜 4週間先までの月日 毎（土）〜 毎（日） 月ー金 月ー土 毎 日	
開始時刻 終了時刻	時/分 時/分	
タイトル	予約名	
バンド	FM/AM	
プリセット番号	プリセット番号	
フォーマット/ビットレート*	◆ATRAC3	66kbps 105kbps ◆132kbps
	ATRAC3 plus	48kbps 64kbps 256kbps
	PCM	
	MP3	96kbps 128kbps 160kbps 192kbps 256kbps

* フォーマット/ビットレートについて詳しくは、32ページをご覧ください。

その他の操作

タイマー動作中にキャンセルするには

ウェイクアップタイマーおよびタイマー録音動作中に、タイマーをキャンセルすることができます。終了時刻になっても、録音、再生は継続されます。
ウェイクアップタイマー、タイマー録音動作中に、ツールメニューで［タイマーキャンセル］を選びます。

タイマーを確認するには

TIMERボタンを押します。
予約一覧画面が表示されます。
もう一度TIMERボタンを押すと表示が消えます。

1 2 3 4 5

1		録音タイマー
		ウェイクアップタイマー
2	タイトル	予約のタイトル名が表示されます。
3	日付	予約日が表示されます。
4	時刻	タイマー録音の開始/終了時刻が表示されます。
5	○（青）	待機中
	○（赤）	動作中
	○（グレー）	保留
	×	失敗 停電などにより録音ができなかった場合に表示されます。ただし、毎日または毎週などくり返し予約された設定の場合は表示されません。失敗した予約内容は残りますので、削除してください（このページ）。

タイマーを削除するには

1 **TIMERボタンを押す。**
予約一覧画面が表示されます。

2 **削除したい予約情報を選ぶ。**

3 **削除ボタンを押す。または、ツールメニューで［削除］を選ぶ。**
確認画面が表示されます。

4 **［はい］を選ぶ。**
選んだ予約情報が予約一覧画面から削除されます。
［いいえ］を選ぶと操作がキャンセルされます。

5 **TIMERボタンまたはRETURNボタンを押す。**

タイマーを変更するには

1 **上記の「タイマーを削除するには」の手順2で変更したい予約情報を選び、決定する。**
予約変更画面が表示されます。

ヒント
ツールメニューでも同じ操作ができます。

2 **変更したい項目を選ぶ。**

3 **登録内容を変更する。**

4 **［決定］を選ぶ。**
変更した予約情報が上書きされ、予約一覧画面に表示されます。

5 **TIMERボタンまたはRETURNボタンを押す。**

タイマーを保留するには

予約を保留すると、保留した予約時間中に他の予約を入れることができます。

1 **上記の「タイマーを削除するには」の手順2で保留したい予約情報を選び、決定する。**
予約変更の画面が表示されます。

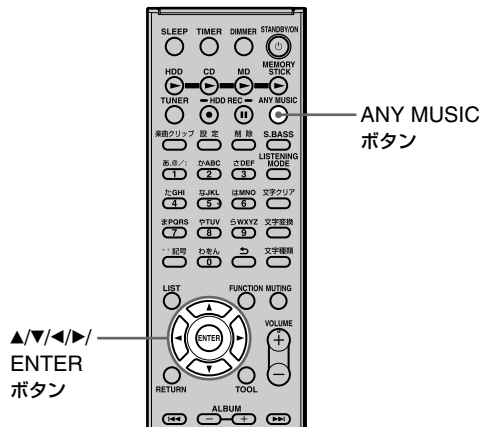
2 **［この予約を］で、［保留にする］を選ぶ。**

3 **［決定］を選ぶ。**
選んだ予約情報が保留され、選択中の予約情報のアイコンがグレーになります。

4 **TIMERボタンまたはRETURNボタンを押す。**

“エニーミュージック”を使う

“エニーミュージック”に登録する

本機ではエニーミュージック（株）が運営･提供する“エニーミュージック”の各種サービスをご利用いただけます。詳しくは、別紙の「エニーミュージックサービス利用ガイド」をご覧ください。
“エニーミュージック”を利用するには、ネットワークに接続する必要があります（69ページ）。

1 **ANY MUSICボタンを押す、または、ファンクションメニューで［ANY MUSIC］を選ぶ。**

2 **［ポータルへ］を選ぶ。**

3 **［利用登録へ進む］を選ぶ。**

以降は画面の指示に従い、利用登録を行ってください。

［利用登録前にデモを体験する］を選ぶと、ANY MUSICの操作を体験することができます。

4 **利用登録後、ユーザーID/パスワード入力画面が表示されるので、［ユーザーID］/［パスワード］に登録内容を入力する。**

［ユーザーIDとパスワードを］のプルダウンメニューから［保存する］を選ぶと、次回から入力する必要がなくなります。

5 **接続を選ぶ。**

ANY MUSICポータル画面が表示されます。

FM局を登録する

以下の手順でFM局を登録すると、FM放送のオンエア情報（放送中の番組情報や放送された楽曲の情報など）を見たり、保存（クリップ）することができます（62ページ）。

1 **FMに切り換える。**

2 **ツールメニューで［プリセット登録］を選ぶ。**

3 **登録するプリセット番号を選ぶ。**

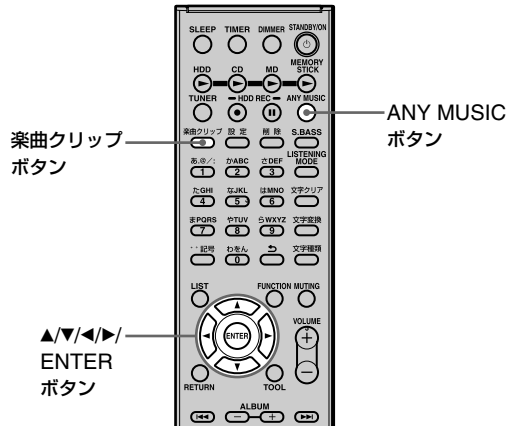
4 **［ラジオ局名を］のプルダウンメニューから［お住まいの地域リストから選択］または［全国のリストから］を選ぶ。**

5 **［ラジオ局名］のプルダウンメニューから局名を選ぶ。**

6 **［周波数］を選び、▲/▼ボタンで周波数を合わせる。**

［周波数設定を］のプルダウンメニューで［オートでチューニングする］を選んだ場合は放送を受信するまで周波数が進みます。

7 **［登録］を選ぶ。**

“エニーミュージック”を利用する

1 ANY MUSICボタンを押す。

ANY MUSIC トップ画面が表示されます。

2 画面の指示に従い、▲/▼/◀/▶ ENTERボタンで利用する項目を選ぶ。

その他の操作をするには

ANY MUSICトップ画面に戻る	ANY MUSICボタンを押す。
表示内容を更新する	ツールメニューで［最新情報に更新］を選ぶ。
パスワードなどの入力した文字を保存する*	ツールメニューで［入力文字の保存］–［保存する］を選ぶ。保存するのをやめるには、［保存しない］を選びます。
保存したすべての入力文字を削除する	ツールメニューで［パスワード削除］を選ぶ。
楽曲を再生する/試聴を開始する	▶ボタンを押す。
楽曲再生/試聴を停止する	■ボタンを押す。

* 入力文字の保存は、画面ごとに行われます。

購入した楽曲を確認するには

1 ANY MUSIC トップ画面で［購入楽曲一覧］を選ぶ。

2 確認したい楽曲を選ぶ。

楽曲を選ぶと自動的に再生が始まります。

関連楽曲検索の［検索］を選ぶと、楽曲情報を元にした検索ができます。

お気に入りリストを使う

ANY MUSICのお好みの画面をお気に入りリストに登録すると、すばやくアクセスすることができます。

お気に入りリストに登録するには

ANY MUSICの画面でツールメニューの［お気に入り登録］を選びます。
画面によっては登録できないこともあります。

お気に入りリストを使うには

ANY MUSICのトップ画面で登録したお気に入りリストを選びます。

お気に入りリストを削除するには

登録したお気に入りリストを選び、削除ボタンを押します。

オンエア情報を表示・保存する –NOW ON AIR

FM放送で放送中の情報を見たり、楽曲情報を本機に保存（クリップ）しておくことができます。

オンエア情報を見る

プリセットチューニングでFM放送を受信中、オンエア情報が提供されている場合、画面上のNOW ON AIRが点灯し、オンエア情報が自動的に表示されます。

表示されるオンエア情報は以下のとおりです。

情報	表示されるもの
オンエア番組情報	番組放送開始、終了時間、番組名
オンエア楽曲情報	オンエア開始時間、楽曲のタイトル、アーティスト名

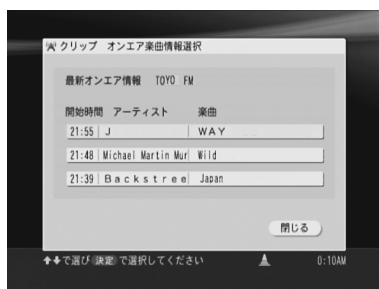
ご注意

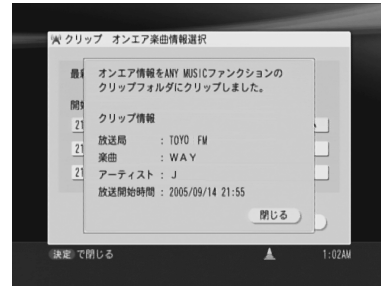
ラジオ局の名前を新規に入力したときは、"エニーミュージック" のオンエア情報は表示されません。

オンエア情報を保存する–楽曲クリップ

表示されているオンエア情報（楽曲情報）を本機に保存（クリップ）しておくことができます。クリップした楽曲情報は、一覧表示したり、音楽ダウンロードやオンラインCDショップの検索キーとして利用できます（61ページ）。

1 楽曲クリップボタンを押す。

楽曲情報選択画面には、最新の楽曲を含め過去3曲分の情報が表示されます。

2 楽曲情報を選ぶ。

楽曲情報がクリップされます。

3 ENTERボタンを押す。

確認の画面が閉じ、メイン画面に戻ります。

クリップした情報を利用するには

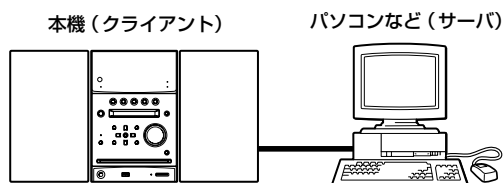
1. ANY MUSICトップ画面で［クリップした情報］を選ぶ。
2. クリップ情報を選ぶ。
   関連楽曲検索の［検索］を選ぶと、楽曲情報を元にした検索ができます。

クリップした情報を削除するには

上記の「クリップした情報を利用するには」の手順2で削除したいクリップ情報を選び、削除ボタンを押します。

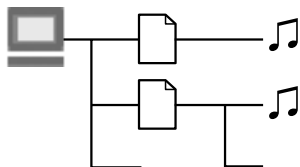
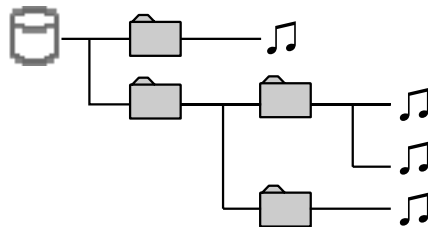
パソコン内の音楽を聞く—ネットワークメディア

ネットワークメディアとは

ネットワークメディア機能とは、個人や限定された地域（オフィスや学校、ビルの中など）内の機器間で、ネットワークを通じて音楽データや画像データをやりとりして視聴することができる機能です。本機は、DLNAガイドラインVer.1.0に対応しているので、この機能を使うことができます。本機は、DLNA対応のデジタルメディアプレーヤー（クライアント）として、DLNA対応のデジタルメディアサーバ*内の音楽データを再生することができます。

* 本機で対応確認済みのサーバなどの最新情報は http://www.jp.onkyo.com/support/brnx8/をご覧ください。

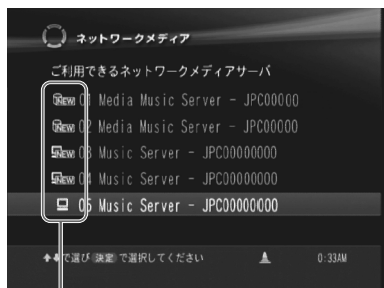
サーバの種類

DLNA対応サーバには、ネットワークメディア機能を使っているときに、サーバ内の楽曲管理データベースのプレイリストをクライアント側で表示できるものがあります。

- プレイリスト対応サーバ（ ）:

- その他のサーバ（ ）:
  上記以外のパソコンなど
  サーバ内のファイル構成をそのまま表示します。

音楽を聞く

例として、プレイリスト対応サーバに接続した場合の操作を説明します。

1 **ファンクションメニューで［ネットワークメディア］を選ぶ。**

サーバ選択画面が表示されます。

アイコン

- プレイリスト対応サーバ

アイコン	アイコンの意味	サーバの状態
（白色）	接続可能なサーバ（起動中）	接続可能
	起動していないサーバ（サスペンド、未起動、休止状態）	接続不可能*
（黄色）	前回接続したサーバ	接続可能
NEW	初めて接続するサーバ	接続可能
?	不明なサーバ	接続可能だが、内容が不明な状態

* サーバが自動起動できる状態であれば接続できます。

- その他のサーバ

アイコン	アイコンの意味	サーバの状態
（白色）	接続可能なサーバ	接続可能
（黄色）	前回接続したサーバ	接続可能
NEW	初めて接続するサーバ	接続可能
?	不明なサーバ	接続可能だが、内容が不明な状態

2 **サーバ選択画面で接続するサーバを選ぶ。**

「サーバ接続中です」と表示され、メイン画面が表示されます。

3 **再生したい曲を選ぶ。**

再生が始まります。

表示モード

ご注意

サーバの接続中は、サーバの電源を切ったり、曲を削除したりしないでください。

ヒント

サーバ選択画面にサーバが表示されない場合は、ツールメニューで［表示］–［最新情報に更新］を選んでみてください。

その他の操作をするには

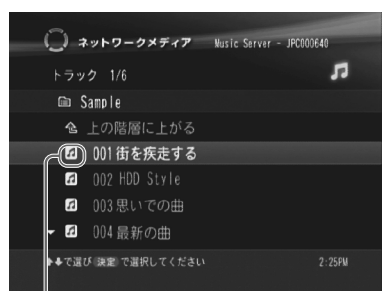
こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
前後の曲を選ぶ	再生中に⏮/⏭ボタンで曲を選ぶ。
プレイリスト、曲を選んで再生する	▲/▼/◀/▶ボタンで曲を選ぶ。
プレイリストを選ぶ	ALBUM＋またはALBUM－ボタンでプレイリストを選ぶ。
数字ボタンを使って曲番を選ぶ	曲番の数字を1～9,0のボタンで押したあと、ENTERボタンを押す。
時間表示を切り換える	ツールメニューで［表示］–［時間表示］–［経過時間］または［残り時間］を選ぶ。

ご注意

- 数字ボタンを使って曲番を選べるのはメイン画面とトラックリスト画面です。
- 停止中は時間表示を切り換えられません。
- 接続しているサーバによっては残り時間が正しく表示されない場合があります。

曲のデータ形式について

サーバ内の曲には、本機で再生できないフォーマットのものもあります。リスト画面に表示される曲のアイコンで確認することができます。

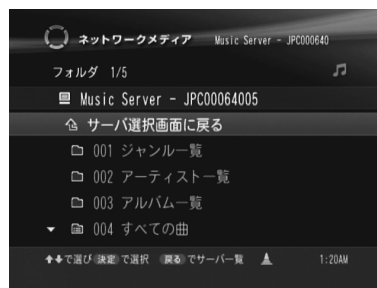
リスト画面

曲のアイコン

アイコン	アイコンの意味
♫	再生可能
?	不明な曲
✕	再生不可能

表示モードを切り換えるには

プレイリスト対応サーバに接続している場合は、プレイリスト単位の表示またはサーバ内のファイル構成（サーバツリー）の表示を選ぶことができます。その他のサーバは、サーバツリーモードでのみ表示されます。
ツールメニューで［モード切り換え］–［プレイリスト］または［サーバツリー］を選びます。

プレイリストモード

サーバツリーモード

サーバ選択画面に戻るには

RETURNボタンを押します。または、ツールメニューで［階層の移動］–［サーバ選択画面］を選びます。

いろいろな再生のしかた

1 **停止中にツールメニューで［設定］–［再生モード設定］を選ぶ。**

2 **設定したい項目を選ぶ。**

3 **各項目を設定する。**

プルダウンメニューから「設定項目一覧」の表にある各項目を選んで設定します。

4 **［閉じる］を選ぶ。**

各項目の設定内容がメイン画面に表示されます。

次のページにつづく

設定項目一覧

再生エリア

プレイリストモードのときのみ選べます。

	リスト LIST	現在選ばれているリストの曲を再生
◆	すべて ALL	現在選ばれているサーバの曲を再生

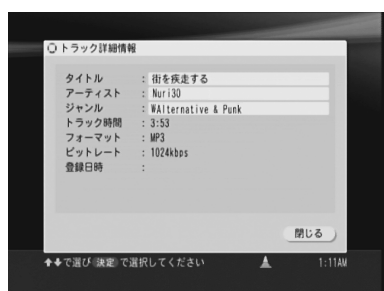
リピートモード

◆	OFF（表示なし）	リピート再生しない
	ON REPEAT	再生エリア内の曲をくり返し再生
	トラック REPEAT 1	1曲だけをくり返し再生

（◆：お買い上げ時の設定）

プレイリストや曲の情報を見る

1 **情報を見たいプレイリストまたは曲を選ぶ。**

2 **ツールメニューで［表示］–［プレイリスト情報］または［トラック情報］（曲）を選ぶ。**

タイトルまたはアーティスト、ジャンルの全文を見るには、［タイトル］または［アーティスト］、［ジャンル］を選びます。

画面をスクロールするには、▲/▼ボタンを押します。

便利な使いかた

自動接続するサーバを設定する

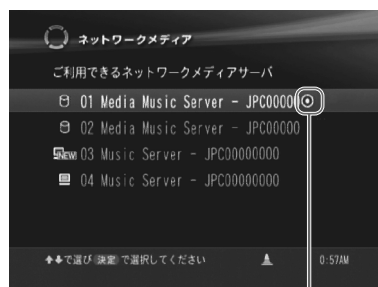
あらかじめ接続するサーバを設定しておくと、次回ネットワークメディア機能を使用するときに、設定したサーバに自動的に接続します。本機が接続できるサーバが1台のみの場合でも、自動接続するサーバを設定することができます。自動接続したいサーバをあらかじめ起動させておいてください。

1 **ファンクションメニューで［ネットワークメディア］を選ぶ。**

サーバ選択画面が表示されます。

2 **自動接続するサーバに設定したいサーバを選び、ツールメニューで［設定］–［自動接続］–［ON］を選ぶ。**

選んだサーバが自動接続するサーバとして設定され、以降はそのサーバに自動的に接続されます。

接続を解除したいときは［OFF］を選びます。

自動接続するサーバ

自動接続するサーバがサーバ選択画面にないときは

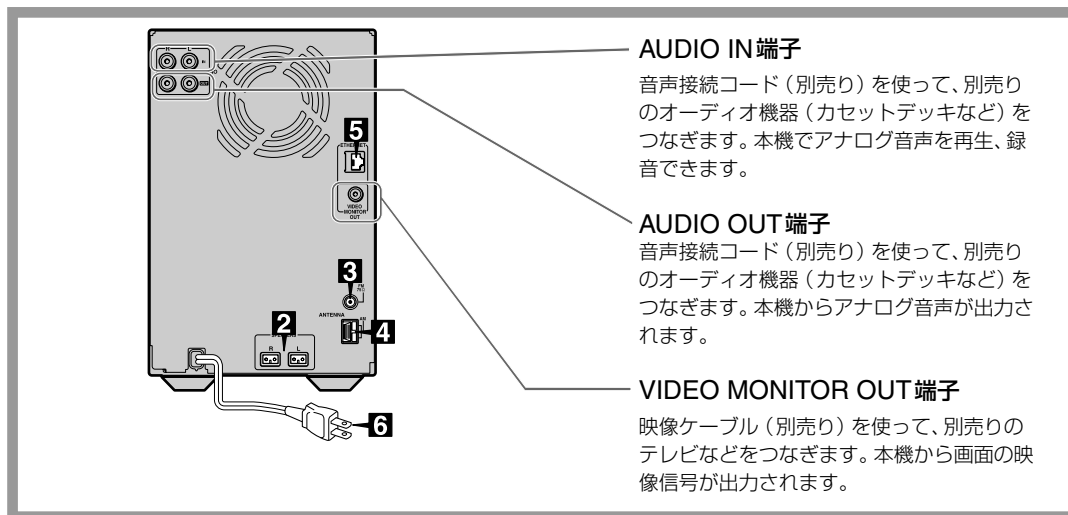
ツールメニューで［表示］–［最新情報に更新］を選びます。

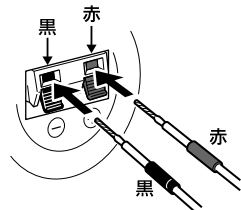
サーバが表示されるまで時間がかかることがあります。

ご注意

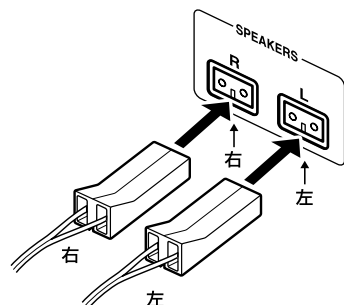
- はじめて接続するサーバを、自動接続するサーバとして設定することはできません。一度接続してから設定を行ってください。
- 自動接続するサーバの設定は、電源プラグを抜くと、失われることがあります。この場合は、もう一度自動接続するサーバの設定を行ってください。

スピーカー・アンテナなどを接続する

付属のアンテナや電源コードを 1 〜 6 の順につなぎます。
付属のアンテナは室内用です。安定した受信のためには市販の外部アンテナの接続をおすすめします。ポータブル機器など別売り機器の接続について詳しくは、28、40ページをご覧ください。

1 お手持ちのスピーカーに付属のスピーカーコードをつなぐ。

スピーカーのスピーカー端子に、スピーカーコードをつなぎます。

2 スピーカーをつなぐ。

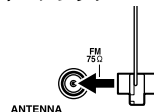
本機のSPEAKERS端子に、スピーカーコードをつなぎます。

R端子につないだスピーカーを本体正面に向かって右へ、L端子につないだスピーカーを左へ置いてください。

ご注意

- スピーカーコードはアンテナから離してください。ラジオ受信時の雑音の原因になります。
- スピーカーは、インピーダンスが4Ωのものを接続してください。4Ω未満のスピーカーを接続すると、アンプ部が故障するおそれがあります。

3 FM簡易ワイヤーアンテナをつなぐ。

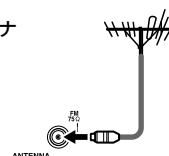
本機のFM ANTENNA端子に、FM簡易ワイヤーアンテナをつなぎます。

FM簡易ワイヤーアンテナ

ご注意

- FM簡易ワイヤーアンテナは束ねたまま使わないでください。
- FM簡易ワイヤーアンテナをつないだあとは、できるだけ水平に張ってください。

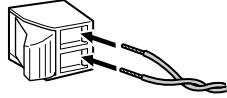
FMの受信状態が良くないときは

市販の75Ω同軸ケーブルを使って、本機と屋外アンテナをつなぎます。

屋外アンテナ

次のページにつづく

4 AMループアンテナをつなぐ。

本機のAM ANTENNA端子に、AMループアンテナをつなぎます。

アンテナコードを軽く引いてみて、しっかり接続されたことを確認してください。

ご注意

雑音の原因になるため、AMループアンテナは本機や他のAV機器の近くに置かないでください。

5 ネットワーク回線につなぐ。

ネットワーク環境が準備されている場合に、LANケーブル（別売り）でお使いのネットワーク回線につなぎます。接続・設定方法について詳しくは、「ネットワークの接続・設定をする」（69ページ）をご覧ください。

ネットワークに接続すると、便利な機能を楽しむことができます（20、22、35、60、64、78ページ）。

6 電源コードをつなぐ。

すべての機器をつないだあと、本機の電源コードを、コンセントにつなぎます。

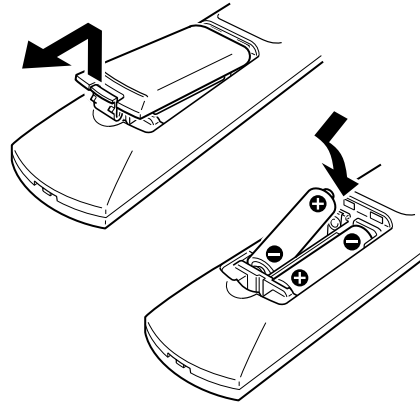
自動的に電源が入り、初期設定が始まります。自動的に電源が切れるまでお待ちください。

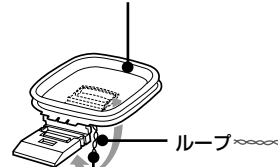
本機の状態によっては、初期設定に数分かかる場合があります。

⚠注意

初期設定中に本機の電源を切らないでください。故障の原因になります。

リモコンに電池を入れる

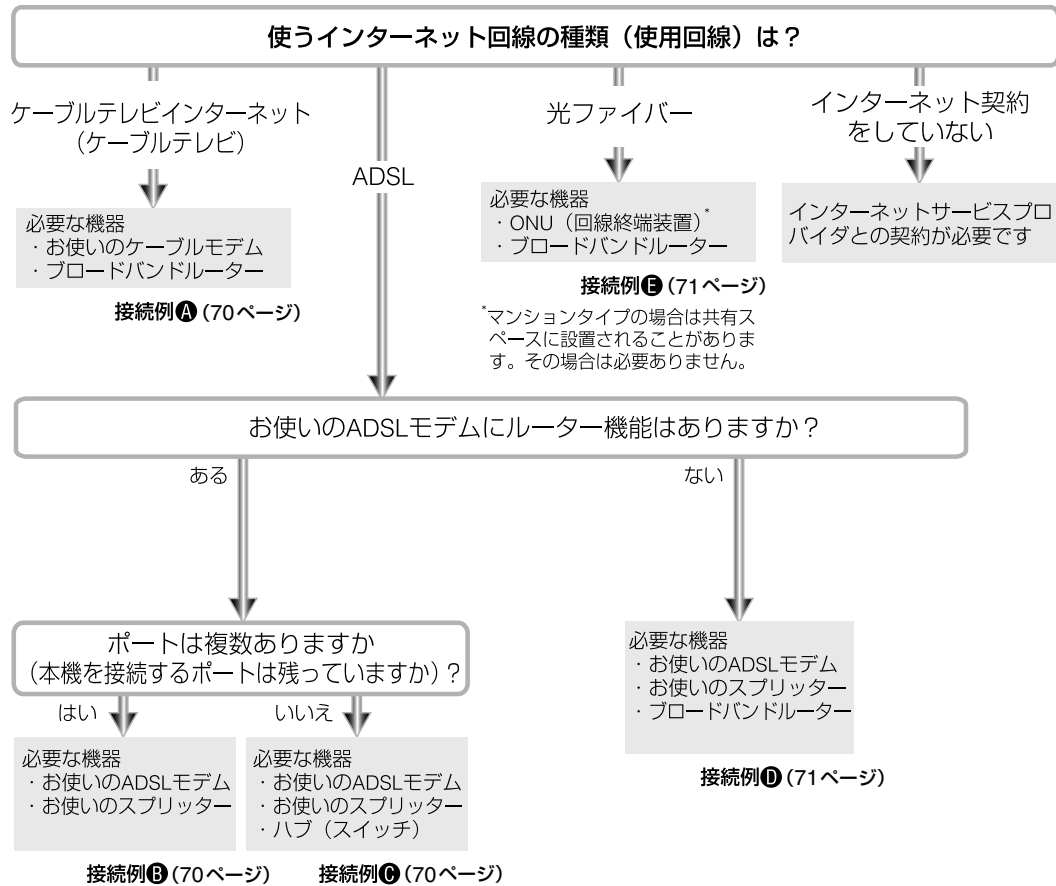
⊕と⊖の向きを合わせて、リモコンに単3形乾電池（R6、付属）2個を入れます。
リモコン操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。

AMループアンテナを組み立てる

1 ループになっている部分のみをプラスチックスタンドからはずす。

2 スタンド状に組み立てる。

台を起こし、溝にはめます。

ネットワークの接続・設定をする

インターネット回線につなぐ

本機をインターネット回線につなぐと、CDDBでCD情報を取得したり、“エニーミュージック”が提供する音楽ダウンロードや、CDショップ、FMオンエア情報のサービスを利用することができます。本機は、ADSL回線やケーブルテレビインターネット、光ファイバーなどを使ってインターネットに接続できます。本機の回線をつなぐ前に、ADSLやケーブルテレビインターネット、光ファイバーなどのサービスを提供するプロバイダとの契約が必要です。下記に従って、必要な機器と接続例を選び、つないでください。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

無線LANを使うには

上記の接続方法で必要な機器の他に、イーサネットメディアコンバーターなどが必要となります。また、ブロードバンドルーターは無線LANに対応しているものが必要です。（接続例Ⓕ（71ページ））

次のページにつづく

接続例

ご注意

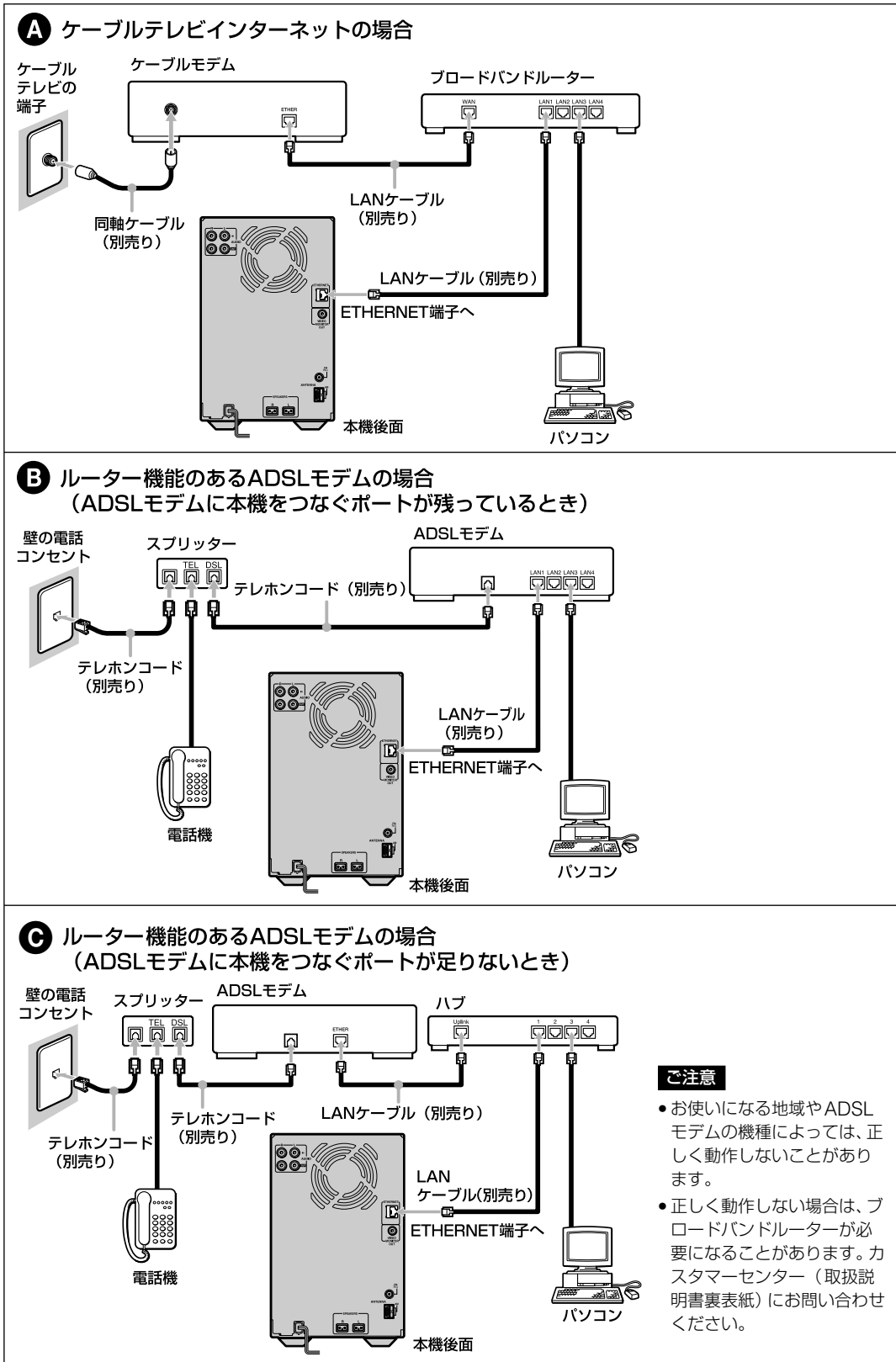
Ⓐ ～ Ⓕの図は、既にブロードバンド環境でパソコンなどをご利用の方を対象とした標準的な接続･設定例を示します。お客様のご使用になる環境によっては、正しく動作しない場合がありますのでご了承ください。

Ⓐ ケーブルテレビインターネットの場合

Ⓑ ルーター機能のあるADSLモデムの場合（ADSLモデムに本機をつなぐポートが残っているとき）

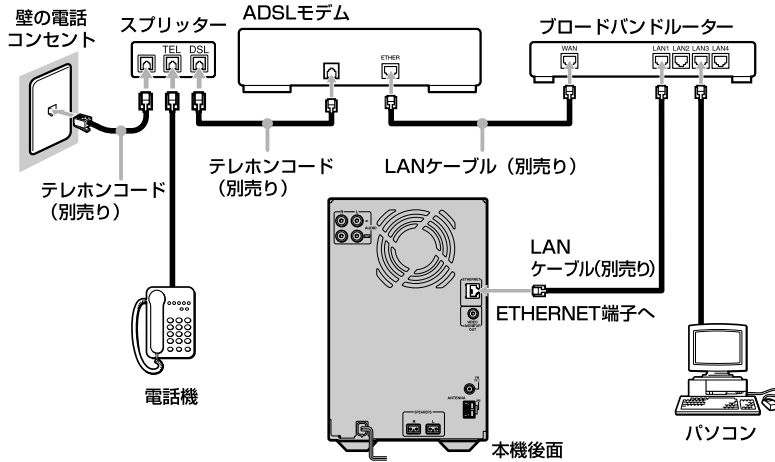
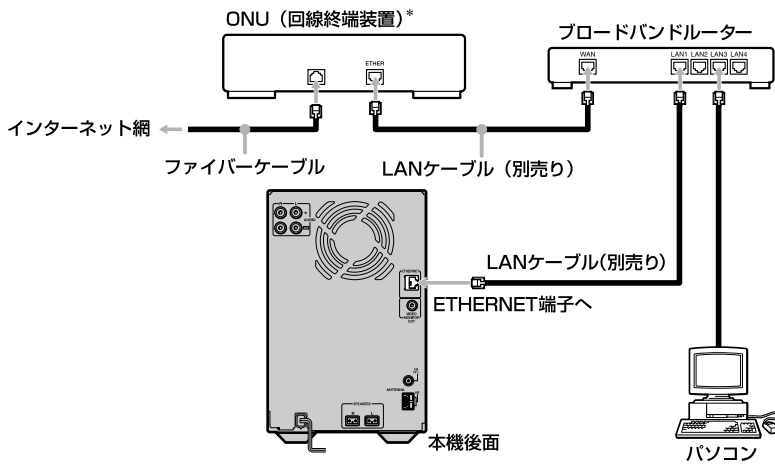
Ⓒ ルーター機能のあるADSLモデムの場合（ADSLモデムに本機をつなぐポートが足りないとき）

ご注意

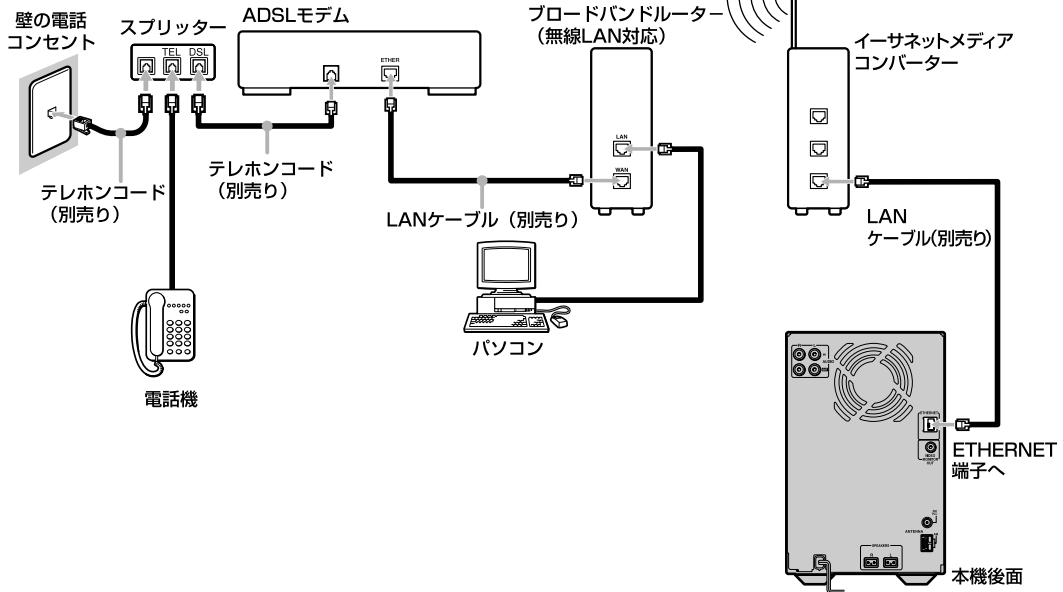
- お使いになる地域やADSLモデムの機種によっては、正しく動作しないことがあります。
- 正しく動作しない場合は、ブロードバンドルーターが必要になることがあります。カスタマーセンター（取扱説明書裏表紙）にお問い合わせください。

Ⓓ ルーター機能のないADSLモデムの場合
（ブロードバンドルーターに本機をつなぐポートが残っているとき）

壁の電話
コンセント
スプリッター
TEL DSL
ADSLモデム
ETHER
ブロードバンドルーター
WAN LAN1 LAN2 LAN3 LAN4
テレホンコード
（別売り）
LANケーブル（別売り）
テレホンコード
（別売り）
LAN
ケーブル(別売り)
ETHERNET端子へ
電話機
パソコン
本機後面

Ⓔ 光ファイバーの場合

ONU（回線終端装置）*
ETHER
ブロードバンドルーター
WAN LAN1 LAN2 LAN3 LAN4
インターネット網
ファイバーケーブル
LANケーブル（別売り）
LANケーブル(別売り)
ETHERNET端子へ
本機後面
パソコン

*マンションタイプの場合は、共有スペースに設置されることがあります。その場合は必要ありません。

Ⓕ 無線LANの場合
（接続例Ⓓを無線LANで接続するとき）

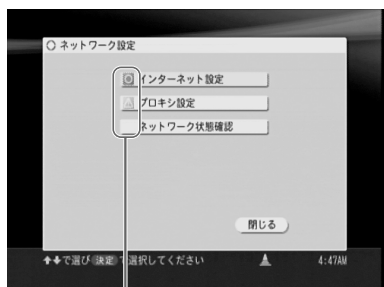
壁の電話
コンセント
スプリッター
TEL DSL
ADSLモデム
ETHER
ブロードバンドルーター
（無線LAN対応）
LAN
WAN
イーサネットメディア
コンバーター
テレホンコード
（別売り）
テレホンコード
（別売り）
LANケーブル（別売り）
LAN
ケーブル(別売り)
パソコン
電話機
ETHERNET
端子へ
本機後面

ネットワークの設定をする

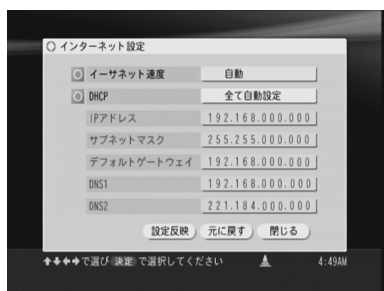
本機をインターネット用の回線に接続したら、回線の設定をします。
お使いのブロードバンドルーターの設定状況に合わせた値（英数字）を入力します。プロバイダによって入力が必要な項目が異なります。詳しくは、ご利用のプロバイダからの資料などをご覧ください。

設定項目	説明	設定例
IPアドレス	インターネットに接続するコンピュータに割り当てられる固有の番号です。通常は、3桁の数字4組を点で区切った形になっています。	192.168.xxx.xxx
サブネットマスク	ネットワークを区切るために、コンピュータに割り当てるIPアドレスの範囲を限定するしくみです。	255.255.xxx.xxx
デフォルトゲートウェイ	所属するネットワークの外のコンピュータへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピュータやブロードバンドルーターなどの機器のことです。IPアドレスで特定されています。	192.168.xxx.xxx
DNSサーバアドレス（プライマリ／セカンダリ）	ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバで、IPアドレスで特定されています。 お使いのプロバイダによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2」、「DNSサーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれます。	192.168.xxx.xxx
プロキシ	お使いのプロバイダから指定がある場合は設定してください。本機の代わりに目的のサーバにアクセスし、ファイアーウォール（外部からの不正侵入防護壁）を越えて本機にデータを送ってくれる中継サーバのことです。データをキャッシュする機能があるため、同じデータは高速に転送されます。	proxy.xxx.ne.jp
ポート	プロキシ用のポート番号です。お使いのプロバイダから指定がある場合は設定してください。 コンピュータ上で動いているたくさんのアプリケーションの中から通信先のアプリケーションを特定するために必要な情報のことです。ブラウザ、メールなど決められた番号があります。	80

インターネット設定をする

1 設定メニューで［ネットワーク］を選ぶ。

「ネットワーク設定を確認中です」というメッセージが表示されたあと、ネットワーク設定画面が表示されます。

○の場合：設定は不要です。
△の場合：設定が必要です。手順2に進んでください。

2 ［インターネット設定］を選ぶ。

3 ［イーサネット速度］が［自動］に設定されていることを確認する。

ヒント

ブロードバンドルーターやハブとうまく接続できないときは、［100Mbps］または［10Mbps］を選ぶと接続できることがあります。

4 ［DHCP］が［全て自動設定］に設定されていることを確認する。

この設定にしておくと、IPアドレスが自動的に取得されます。
ご利用のプロバイダーによっては、手動で設定する必要があります。詳しくは、「DHCP設定を手動でする」をご覧ください。

5 ［設定反映］を選ぶ。

設定の反映が行われます。

6 ［閉じる］を選ぶ。

ネットワーク設定画面に戻ります。

プロキシ設定をする

ご利用のプロバイダーから指定がある場合は、以下の設定が必要です。指定がない場合は、設定する必要はありません。

1 ネットワーク設定画面で［プロキシ設定］を選ぶ。

2 ［インターネットへ］の設定を［プロキシ経由で］に変える。

3 ［プロキシサーバ］および［ポート］を入力する。

4 ［閉じる］を選ぶ。

DHCP設定を手動でする

1 ネットワーク設定画面で［インターネット設定］–［DHCP］を選ぶ。

2 ［DNSのみ手動設定］または［全て手動設定］を選ぶ。

⚠マークの項目を設定します。

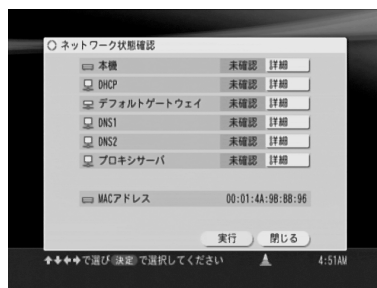
3 設定する項目を選ぶ。

4 設定値を入力する位置にカーソルを合わせ、数値を選ぶ。

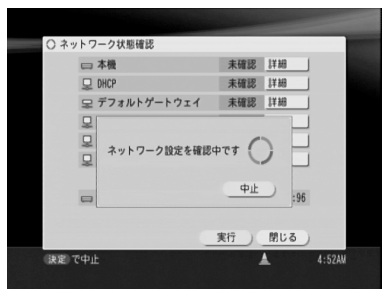
ヒント

設定を変更前の状態に戻すときは、設定の途中で［元に戻す］を選びます。

ネットワーク状態を確認する

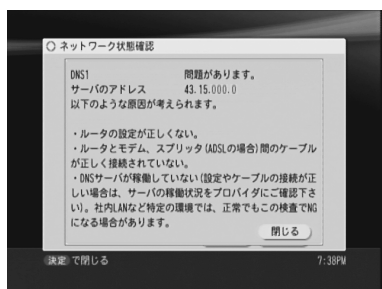
1 ネットワーク設定画面で［ネットワーク状態確認］を選ぶ。

次のページにつづく

2 **［実行］を選ぶ。**

ネットワーク状態の確認が始まります。

確認が終わると各項目ごとに［OK］または［NG］が表示されます。確認には数分かかることがあります。

- すべての接続に［OK］が表示されたときは、手順5に進んでください。
- ［NG］が表示されたときは、手順3に進んでください。

3 **［NG］が表示されている項目の［詳細］を選ぶ。**

想定される原因が表示されます。

4 **画面の指示に従って接続や設定をやり直し、すべての［NG］の項目が［OK］になるまで、手順2から3をくり返す。**

社内LANなど、一部の環境では、接続や設定が正しくても［NG］と表示されることがあります。このときは、ご使用のネットワークの管理者などにお問い合わせください。

5 **［閉じる］を選ぶ。**

ネットワーク設定画面に戻ります。

6 **［閉じる］を選ぶ。または、RETURNボタンを押す。**

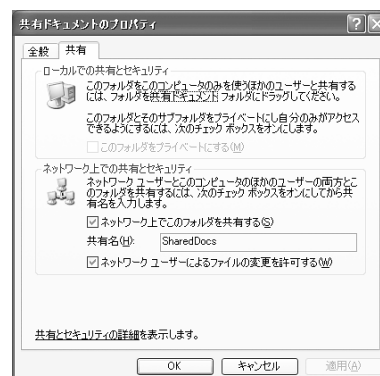
ネットワーク設定画面が閉じます。

共有フォルダの設定をする

パソコンのフォルダを共有フォルダに設定しておくと、パソコンに保存された音楽や画像のデータを取り込んだり、音楽データをパソコンにバックアップすることができます。設定について詳しくは、お使いのWindowsの取扱説明書、ヘルプをご覧ください。
例として、Windows XP Home Editionでの操作を説明します。

1 **共有設定したいフォルダを右クリックし、［共有とセキュリティ］を選ぶ。**

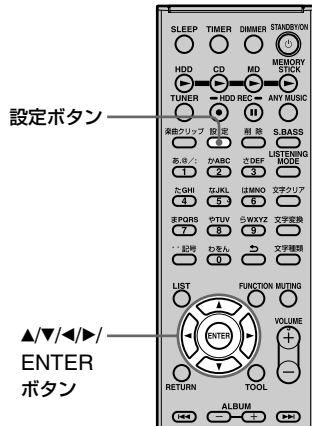
フォルダのプロパティの［共有］タブが表示されます。

2 **［ネットワーク上でこのフォルダを共有する］および［ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する］をクリックしてチェックする。**

3 **［OK］をクリックして、フォルダのプロパティを閉じる。**

ご注意

ネットワーク上の共有フォルダは、半角英数字のみで名前をつけてください。

その他の設定

画面の設定をする

画面サイズを変える

お好みに合わせて画面サイズを選ぶことができます。

1 設定メニューで［スクリーン/デモ］を選ぶ。

設定画面が表示されます。

2 ［本体表示］を選ぶ。

3 ［ワイドズーム］または［ノーマル］を選ぶ。

スクリーンセーバーを設定する

何も操作しない状態が続くと、パソコンのようにスクリーンセーバーが働くように設定できます。

1 設定メニューで［スクリーン/デモ］を選ぶ。

設定画面が表示されます。

2 ［スクリーンセーバー］を選ぶ。

3 ［ON］を選ぶ。

ON	何もボタンを押さない状態で15分経過すると、スクリーンセーバーが起動します。
◆ OFF	スクリーンセーバーは起動しません。

（◆：お買い上げ時の設定）

4 ［閉じる］を選ぶ。

接続と設定

システムを管理する

データをバックアップ・復元する

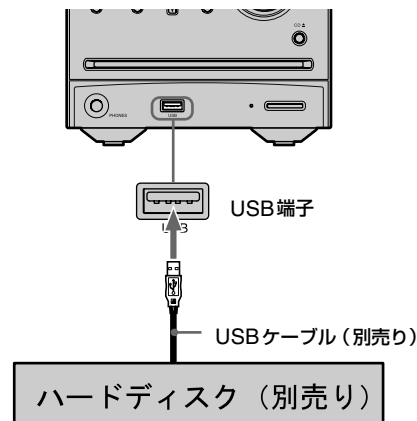
本機のHDDに保存した音楽データを、ネットワーク上のPC共有フォルダや、本機に接続したUSBハードディスクに一括コピーしてバックアップしたり、バックアップしたデータを本機に復元することができます。
また、前回のバックアップデータがある場合、その差分のみをバックアップすることで、バックアップにかかる時間を短縮することができます。
なお、バックアップしたデータを本機に復元する際に、音楽データの有効化が必要です。音楽データの有効化をするには、インターネット経由での認証が必要になるため、音楽データを不正に複製することができないようなしくみになっています。
データがある程度たまってきたら、万一に備えてデータをバックアップしておくことをおすすめします。

ご注意

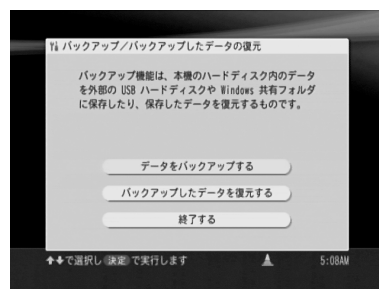
- 本機に保存されているデータ量やUSBハードディスク、パソコン、ネットワークの状態により、バックアップには長時間（最長数十時間）かかることがあります。
- バックアップしたデータは、本機以外（パソコンなど）にコピーして利用することはできません。
- 本機のデータをUSBハードディスクにバックアップするためには、FAT32形式でフォーマットされた容量80GB以上のUSBハードディスクが必要です。
  - USB ハードディスクをパソコンなどで既にFAT32形式でフォーマット済みの場合、第一パーティションにバックアップします。このパーティションに必要な空き容量がない場合はバックアップできません。お使いのパソコン等でパーティションを変更して、80GBの空き容量を確保してください。
  - USBハードディスクをフォーマットしていない場合、本機で第一パーティションをFAT32形式でフォーマットしたあと（77ページ）、バックアップしてください。
- 本機の時計が正しく設定されていないと、差分バックアップが正しく行われないことがあります。

USBハードディスクにバックアップする

本機のハードディスク内の音楽のデータをUSBハードディスク（別売り）に保存（バックアップ）します。

1 USBケーブルを使って本機のUSB端子にハードディスクをつなぐ。

- 外付けハードディスク側のUSB端子の形状は機種によって異なります。
- 本機で使用できるUSBハードディスクの機種は、http://www.jp.onkyo.com/support/brnx8/をご覧ください。本機に対応していないUSBハードディスクをつなぐと、故障の原因となることがあります。

2 設定メニューで［バックアップ］を選ぶ。

バックアップ設定画面が表示されます。

3 ［データをバックアップする］を選ぶ。

バックアップ先のドライブ選択画面が表示されます。

4 ［USBハードディスク］を選ぶ。

ドライブの確認画面が表示されます。

5 画面の内容を確認し、［はい］を選ぶ。

バックアップが始まります。

過去のバックアップデータがあるときは

1 上記の手順5で［フルバックアップ］または［差分バックアップ］を選ぶ。

フルバックアップ	既存のデータに上書き保存する。
差分バックアップ	既存のデータ以外のデータを保存する。
戻る	バックアップを中止し、前の画面に戻る。

2 ［はい］を選ぶ。
バックアップが始まります。

バックアップを途中でやめるには

1 バックアップ中に［中止］を選ぶ。
確認画面が表示されます。
2 ［処理を中止］を選ぶ。

バックアップしたデータを復元するには

外付けのUSBハードディスクにバックアップしたデータを本機に戻します。

1 バックアップ設定画面で［バックアップしたデータを復元する］–［USBハードディスク］を選ぶ。
復元の確認画面が表示されます。
2 画面の内容を確認し、［はい］を選んでいく。
インターネットに接続して認証が行われます。認証が終わると、復元が始まります。
復元が終わると、「データの復元が完了しました。」と表示されます。
復元中に［中止］を選ぶと、復元がキャンセルされます。

USBハードディスクをフォーマットする

1 設定メニューで［バックアップ］を選ぶ。
バックアップ設定画面が表示されます。

2 ツールメニューで［USB-HDDのフォーマット］を選ぶ。
確認画面が表示されます。

3 画面の内容を確認し、［はい］を選んでいく。
USBハードディスクのフォーマットが始まります。フォーマットが完了すると、「USBハードディスクのフォーマットが正常に終了しました。」というメッセージが表示されます。

4 ［終了する］を選ぶ。
バックアップ設定画面に戻ります。

ネットワーク上の共有フォルダにバックアップする

本機のハードディスク内の音楽のデータを、お手持ちのパソコンのハードディスクに保存（バックアップ）します。

ご注意
本機のバックアップ機能に対応するパソコンは、以下のバージョンのWindowsが標準インストールされている必要があります。
日本語 Microsoft Windows® 2000 Professional
日本語 Microsoft Windows® XP Home Edition
日本語 Microsoft Windows® XP Professional

1 共有フォルダを設定する（74ページ）。

2 設定メニューで［バックアップ］を選ぶ。
バックアップ設定画面が表示されます。

3 ［データをバックアップする］を選ぶ。
バックアップ先のドライブ選択画面が表示されます。

4 ［ネットワーク上のPC共有フォルダ］を選ぶ。

5 以下の手順で設定する。

1 項目を選ぶ。

コンピュータ名	コンピュータ名またはIPアドレスを入力（半角英数字で18文字まで）
共有名	共有フォルダを設定したとき（74ページ）につけた共有名
ユーザー名	共有フォルダを設定したときにアクセス許可したユーザ名
パスワード	共有フォルダにパスワードがかかっているときのみ必要

2 文字を入力する。
入力できる文字は、半角英数字のみです。

3 ［確認］を選ぶ。

6 過去のバックアップデータがあるときは手順7に進む。
過去のバックアップデータがないときは、手順8に進んでください。

次のページにつづく

7 **［フルバックアップ］または［差分バックアップ］を選ぶ。**

フルバックアップ	既存のデータに上書き保存する。
差分バックアップ	既存のデータ以外のデータを保存する。
戻る	バックアップを中止し、前の画面に戻る。

8 **［はい］を選ぶ。**

バックアップが始まります。

バックアップが終わると、「バックアップが完了しました。」と表示されます。

コンピュータ名を確認するには（Windows XP Home Editionの場合）

スタートメニューで［コントロールパネル］–［システム］を選び、システムのプロパティ画面の［コンピュータ名］タブをクリックすると、［フルコンピュータ名］欄に表示されます。

IPアドレスを確認するには（Windows XP Home Editionの場合）

スタートメニューで［コントロールパネル］–［ネットワーク接続］を選んでから、使用しているネットワークを選び、［サポート］タブをクリックすると、表示されます。

バックアップを途中でやめるには

1 バックアップ中に［中止］を選ぶ。
確認画面が表示されます。

2 ［処理を中止］を選ぶ。

バックアップしたデータを復元するには

ネットワーク上の共有フォルダにバックアップしたデータを本機に戻します。

1 バックアップ設定画面で［バックアップしたデータを復元する］–［ネットワーク上のPC共有フォルダ］を選ぶ。

2 PC共有フォルダの設定をして、［確認］を選ぶ。

3 画面の内容を確認し、［はい］を選んでいく。
インターネットに接続して認証が行なわれます。認証が終わると復元が始まります。
復元が終わると、「データの復元が完了しました。」と表示されます。
復元中に［中止］を選ぶと、復元がキャンセルされます。

ご注意

- バックアップを途中でやめるとバックアップ先のデータが不完全になり、そのデータを復元することができなくなります。その場合は、もう一度最初からフルバックアップしてください。
- バックアップしたデータの復元を途中でやめると、本機のハードディスクのデータが不完全になり、本機が正常に動作しなくなることがあります。その場合は、バックアップしたデータをもう一度最初から復元してください。
- フォーマット開始後、途中で中止することはできません。
- USBハブは使用できません。
- USB延長ケーブルをご使用の場合の動作の保証はできません。
- バックアップ中またはデータの復元中にUSBケーブルやLANケーブルを引き抜いたり、機器の電源を切らないでください。故障の原因となります。
- ネットワーク上の共有フォルダは、半角英数字のみで名前をつけてください。

バージョン情報を確認する

本機のシステムソフト（アプリケーション）のバージョンと、システムマイコンのバージョンを確認することができます。

設定メニューで［バージョン情報］を選ぶ。

バージョン情報画面が表示されます。

システムソフトを更新する

システムソフトをダウンロードすることで、新しい機能が追加されるなど、本機をより便利にお使いいただけるようになります。
システムソフトの更新が可能な場合、本機がインターネットにつながっていると、画面の右下に［!］が表示されます。また、電源を入れたときに画面にメッセージが表示され、更新ができることをお知らせます。

1 **設定メニューで［システムソフト更新］を選ぶ。**

システムソフトの更新画面が表示されます。

2 **画面の指示に従って操作する。**

システムソフトの更新が始まります。更新には数十分かかることがあります。

更新終了後、自動的に再起動します。

ご注意

更新中は電源を切ったり、LANケーブルを抜かないでください。

システムを初期化する

本機をお買い上げ時の状態に戻します。録音や取込みでHDDジュークボックスに保存した音楽データだけでなく、時計合わせやインターネットの設定などの、すべての情報が消去されるので、ご注意ください。

1 設定メニューで［システム初期化］を選ぶ。

システム初期化の確認画面が表示されます。

2 ［はい］を選ぶ。

初期化が始まります。

途中で数回自動的に再起動してから数分後に作業が終了し、電源が切れます。

その他

使用上のご注意

設置場所について

以下のような場所には置かないでください。
- ぐらついた台の上や不安定な所
- じゅうたんや布団の上
- 湿気の多い所、風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 直射日光が当たる所、温度が高い所
- 極端に寒い所

通風孔をふさがないでください。本機は、ハイパワーアンプを搭載しています。そのため、本体底面の通気孔をふさぐと、機械内部の温度が上昇し、故障の原因となることがあります。物を置くなどして、通気孔を絶対にふさがないでください。

設置場所を変えるときは

CDやMD、"メモリースティック デュオ" を入れたまま、本機を動かさないでください。
CDやMD、"メモリースティック デュオ" を入れたまま動かすと、CDやMD、"メモリースティック デュオ" を傷めることがあります。

音量を調整するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調整すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。
再生を始める前には、必ず音量を小さくしておきましょう。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、CDやMD、部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、CDやMDを取り出しておいてください。
結露が生じたときは、CDやMDを取り出して、電源を切って約30分放置し、電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、オンキヨーご相談窓口・修理窓口にご相談ください。

ハードディスクについて

ハードディスクは記録密度が高いので、長時間録音やすばやい頭出し再生を楽しめます。その一方、ハードディスクはほこりや衝撃、振動に弱い性質があります。
ハードディスクには衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記録したデータを失ってしまうことのないよう、以下の点に特にご注意ください。
- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- コンセントをさしたまま本機を動かさないでください。
- 録音や再生中は、コンセントを抜かないでください。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- お客様ご自身で、ハードディスクの交換や増設はできません。故障の原因となります。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。

データのバックアップについて

修理時に、本機のハードディスクに保存されていた音楽データ、設定データなどが再現不可能になることがあります。修理に出される前に、本機に登録した設定内容などは、紙に控えてください。また、本機に保存した音楽データは、バックアップ機能（「データをバックアップ・復元する」（76ページ））を使用して、外部に接続したUSBハードディスク、またはWindowsのファイル共有にてコピーしてください。
ハードディスクに記録されたデータは、通常の使用においても壊れる可能性があります。お客様が保存したデータは、定期的にバックアップをとるようにしてください。
弊社の修理、また通常の使用において、万一データが消去、あるいは変更されたとしても、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

MEMORY STICKスロットについてのご注意

MEMORY STICKスロットに金属類などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
本機を持ち運んだり、保管する際は、"メモリースティック デュオ" を取り出してください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

電源コードを抜くときのご注意

本機がスタンバイモード（スタンバイ/オンインジケーターが赤色のとき）になっていることを確認して、電源コードを抜いてください。本機動作中（スタンバイ/オンインジケーターが消灯しているとき）に電源コードを抜くと、内部データの消失や故障の原因となります。

CDについて

再生可能なCD

ディスクの種類	ディスクに付いているマーク（ロゴ）
音楽CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CD-R/RW（音楽データ）	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable / COMPACT disc Recordable
CD-R/RW（MP3ファイル）	COMPACT disc ReWritable / COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable

○ **本機では以下のディスクを再生できます。**

CD：音楽用CD/CD-R/CD-RW/CD TEXT

MP3ファイル：
CD-ROM/CD-R/CD-RW（ISO9660レベル1、2またはJolietに準拠したフォーマットで記録されたもの）、マルチセッション対応

× **本機では以下のディスクなどを再生することはできません。**

- ファイナライズされていないCD-R/CD-RW
- PHOTO CD
- CD-EXTRAのデータ部分
- Combined CDのデータ部分
- スーパーオーディオCD（ハイブリッドディスクのHDレイヤー）
- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型、星形など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク
- リングなどのアクセサリーが取り付けられたディスク

ご注意

- マルチセッションディスクの音楽用CDフォーマットは、最初のセッションに記録されている曲しか再生できません。
- マルチセッションディスクの音楽用CDフォーマットとCD-ROMフォーマットのセッションの構成により、MP3ファイルが再生できない場合があります。
- CD-R/CD-RWのディスクの特性や記録状態によっては、再生できない場合があります。
- CD-RWは、反射率が他のディスクよりも低いため、再生開始までに時間がかかることがあります。
- MP3音声を記録したときの書き込み用ソフトウェアによっては、84ページの図の順で再生されないことがあります。
- ディスクに記録された曲が500を超える場合、501番目以降の曲は認識されません。
- 多くの階層や複雑な構成で記録したディスクは再生開始までに時間がかかることがあります。ディスクにアルバムを記録するときは第2階層までにすることをおすすめします。

ヒント

CDの記録方式について詳しくは、お手持ちのCD-R/RWドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

CDの取り扱いかた

- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。
- 本機でお使いいただけるCDは、円形ディスクのみです。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いたあと、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高温になるところには置かないでください。
- 中古ディスクやレンタルディスクで、シールなどののりがはみ出していたり、付着しているディスクは使用しないでください。プレーヤー内部にディスクが貼り付いて取り出せなくなったり、プレーヤー本体の故障の原因となります。
- 市販のCDレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

次のページにつづく→

著作権保護技術対応音楽ディスクについて

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

DualDiscについてのご注意

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠したディスクの再生を前提として、設計されています。DualDiscはDVD規格に準拠した面と、音楽専用の面とを組み合わせた両面ディスクですが、音楽専用の面はCD規格に準拠していないため、本製品で再生できない場合があります。
DualDiscは全米レコード協会（RIAA）の商標です。

MDについて

対応MDについて

本機では以下のディスクなどを再生することはできません。

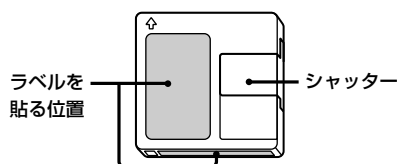
- Hi-MD
- MDデータ
- Hi-MDモードで録音されたMD

録音モードについて

従来のMDの録音方式「ステレオ録音」に対して、約2倍の圧縮効率を持つATRAC3形式を使って長時間録音する規格を「MDLP（長時間ステレオ録音）」といいます。MDLPには、標準の2倍の時間で録音できるLP2と、4倍の時間で録音できるLP4があります。MDLPを再生するには、MDLP対応プレーヤーが必要です。

MDの取り扱いかた

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

- シャッターを無理に開けようとすると、こわれることがあります。シャッターが開いてしまった場合は、内部のディスクに直接触れずに、すぐに閉めてください。
- ディスクに付属のラベルは、必ずラベル貼付用のくぼみに貼ってください。ラベルの形はディスクによって異なります。

- 直射日光が当たる所など温度の高い所や湿度の高い所には置かないでください。
- カートリッジ表面についたホコリやゴミを乾いた布で拭き取ってください。

“メモリースティック”について

“メモリースティック”とは？

“メモリースティック”は、小さくて大容量のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータの保存にもお使いいただけます。
“メモリースティック”には、標準サイズのものとその小型サイズの“メモリースティック デュオ”があります。
さらに大容量のデータを扱える“メモリースティック PRO”、“メモリースティック PRO デュオ”も用意されています。

本機では、別売りの“メモリースティック デュオ”に対応しています。
“メモリースティック デュオ”にはいくつかの種類があります。本機で使用できる“メモリースティック デュオ”は以下のとおりです。
また、記録に使用した“メモリースティック”対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

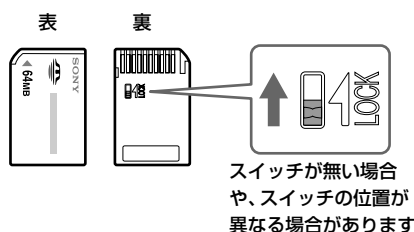
“メモリースティック デュオ” の種類	ATRAC	MP3
“メモリースティック デュオ”	×	○
マジックゲート*1 対応 “メモリースティック デュオ”	○	○
“メモリースティック PRO デュオ” *2	×	○

*1 “マジックゲート メモリースティック” および “メモリースティック”（マジックゲート／高速データ転送対応）のことです。
マジックゲートは、“メモリースティック” と機器の両方に搭載されている場合に働く、著作権保護技術です。
マジックゲートを搭載した機器（本機など）と “メモリースティック” の間で、お互いに「マジックゲートに対応しているか」を確認する認証と、データの暗号化を行います。認証された機器以外では、著作権のあるデータは再生できません。

*2 本機で動作確認されている “メモリースティック PRO デュオ” は2GBまでです。本機では、高速データ転送には対応していません。

“メモリースティック デュオ” 使用時のご注意

記録されている音楽や静止画を誤って消さないためには

誤消去防止スイッチをスライドさせて、「LOCK」にします。ただし、再生以外の操作はできなくなります。

以下の場合、“メモリースティック デュオ” に保存されているファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。

- MEMORY STICKアクセスランプが点灯中に、“メモリースティック デュオ” を取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合

取り扱いについて

以下のことを守ってください。

- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック デュオ” を付属の収納ケースに入れる。
- 本機を持ち運んだり、保管する際は、“メモリースティック デュオ” を取り出す。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしない。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしない。
- 分解したり、改造したりしない。
- 水にぬらさない。
- “メモリースティック デュオ” は表裏に注意しながら、◀の向きに入れてください。逆向きに無理に入れるとMEMORY STICKスロットが破損することがあります。
- “メモリースティック デュオ” を取り出すときは、無理に引っ張り出さないでください。“メモリースティック デュオ” が破損することがあります。

使用場所について

以下の場所での使用や保存は避けてください。

- 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

ATRACについて

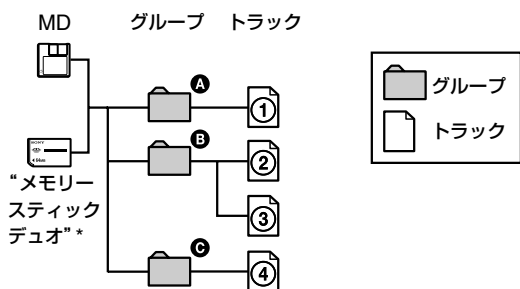
本機は、MDやマジックゲート対応 “メモリースティック デュオ” に記録されたATRAC音声を再生できます。ATRACファイルには、ATRAC3形式とATRAC3plus形式があります。

グループ機能

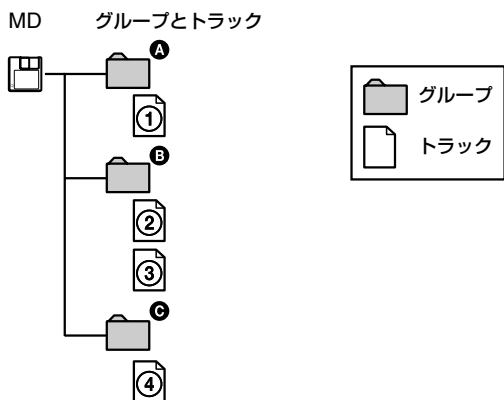
1枚のマジックゲート対応 “メモリースティック デュオ” やMDの中の曲をグループに分けて再生、録音、編集できる機能です。例えば、マジックゲート対応 “メモリースティック デュオ” の中の曲を「Rock」と「Pops」というグループに分けて好きなグループの曲だけ聞いたり、新しい曲をグループに追加したりできます。400グループまで作ることができます。

ATRACファイルの階層と再生順序

MDやマジックゲート対応 “メモリースティック デュオ” に記録されたATRACファイルは、グループとトラックの2階層になっています。トラックは必ずグループの中に保存され、①→②→③→④の順に再生されます。

次のページにつづく

■ 実際の階層

* “ メモリースティック デュオ” の場合、実際の階層と本機での見えかたは同じです。

■ 本機での見えかた

MP3について

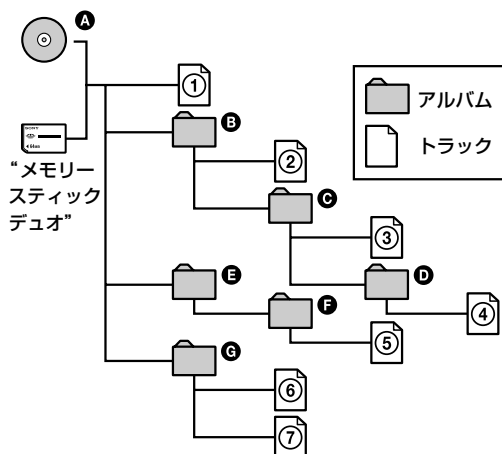
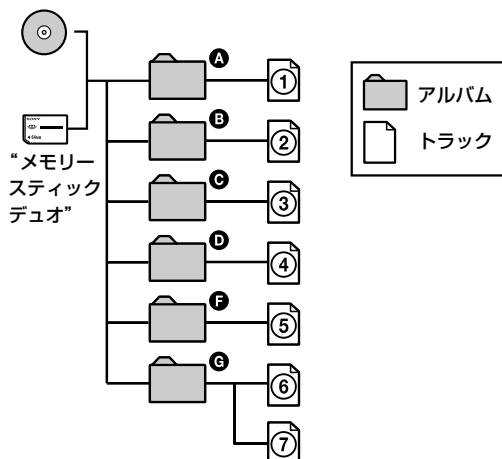
本機はCD-ROM/CD-R/CD-RWディスク（データCD）や “メモリースティック デュオ” に記録されたMP3音声を再生できます。

MP3ファイルを再生するときの制限事項

- 本機はサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、48kHz及びビットレート32 ～ 320kbpsに対応しています。それ以外の数値で作成されたファイルを再生すると、再生が停止したり、大きな雑音や音途切れがしたり、スピーカーを損傷する恐れがあります。
- MP3形式以外のファイルに「.mp3」の拡張子をつけると、本機はそれらを再生しようとしてしまい、再生をスキップしたり、雑音や故障の原因となります。
- 本機はMP3PROで記録されたファイルには対応していません。
- 以下の場合、MP3の再生経過時間、または、再生残量時間が実際と異なることがあります。
  - – VBR（Variable Bit Rate、可変ビットレート）のMP3ファイルを再生したとき
  - – 早送り、早戻しをしたとき

MP3ファイルの階層と再生順序

“メモリースティック デュオ” やデータCDに記録されたアルバムやトラック（MP3ファイル）は以下の階層になっており、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順に再生します。
アルバムがサブアルバムを含んでいるときは、サブアルバムに含まれるトラックの再生が優先されます（例：Bの中にCがあるので、2の次は6、7ではなく3が優先されます。）。
リスト画面では、Ⓐ→Ⓑ→Ⓒ→Ⓓ→Ⓕ→Ⓖの順でアルバム名が並びます。トラックを直下に含まないアルバム（例：Ⓔ）はリスト画面に表示されません。

■ 実際の階層

■ 本機での見えかた

ご注意

本機では、MP3ファイルが記録されたデータCDの場合、第10階層まで表示できます。“ メモリースティック デュオ” の場合は、表示できる階層に制限はありませんが、コンテンツ数は最大500まで可能です。また、パソコン側の制約により、制限されることもあります。

困ったときは

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、下記の流れに従ってチェックしてみてください。メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

1 本書で調べる

この「困ったときは」をチェックし、該当する項目を調べます。また、別紙の「エニーミュージックサービス利用ガイド」にも、さまざまな情報があります。該当する項目を調べてください。

2 ホームページで調べる

http://www.jp.onkyo.com/support/brnx8/で調べます。
最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

3 それでもトラブルが解決しないときは

カスタマーセンター（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。

電源

電源が入らない。

➡ 電源コードを本体と電源コンセントにしっかり差し込む。
➡ 電源プラグをコンセントからはずす。約1分後、もう一度コンセントに電源プラグを差し込み、STANDBY/ONボタンを押して電源を入れる。
➡ スタンバイ/オンインジケーターが消灯しているときはSTANDBY/ONボタンが効きません。赤になるまでお待ちください。

電源プラグを差し込み、電源を入れると、「ただいま起動中です」「しばらくお待ちください」「設定後、自動的に電源が切れます」と表示され、電源が切れる。

➡ STANDBY/ONボタンをもう一度押すと電源が入る。
本機は、電源プラグを差して電源を入れると、内部の設定を行いスタンバイモードに入るので、異常ではありません。

上記のメッセージが表示されたまま、電源が切れるまで時間がかかる。

➡ 本体に大量の曲が保存されている場合、電源が切れるまで時間がかかることがあります。

電源を入れて「ただいま起動中です」「しばらくお待ちください」と表示されてから、起動するまで時間がかかる。

➡ ブロードバンドルーターのない環境で本機をお使いになる場合、電源を入れたあと、本機のIPアドレスを自動的に取得して本機が起動するまで、約30秒かかることがあります。
➡ 本機のIPアドレスが他の機器で使用している数値になっている。
他の機器と異なるIPアドレスに設定し直してください。

電源が切れない。

➡ 初期設定中や起動中には、STANDBY/ONボタンが効かないことがあります。

画像

画像が乱れる。

➡ 本機が衝撃や振動に反応した。安定した場所で使用する。
➡ ハードディスクの特性上、ごくまれに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。

音声

音が出ない。

➡ 音声接続コードをしっかり差し込む。
➡ 音声接続コードが断線している可能性があるため、新しいコードに交換する。
➡ 一時停止を解除する。
➡ ヘッドホンをはずす。
➡ 消音機能を解除する。
➡ 音量を確認する。
➡ MUTINGボタン、またはVOLUME＋/－ボタンを押して、消音状態を解除する。
タイマー録音中は、消音状態になっています。

左右の音のバランスが悪い、または逆転している。

➡ スピーカーおよび各機器を正しく接続する。

次のページにつづく

ブーンという音がする。ノイズがひどい。音が歪む。

- ➡ スピーカーおよび各機器を正しく接続する。
- ➡ 音声接続コードをディスプレイや蛍光灯、その他の機器から離してみる。
- ➡ ディスプレイやテレビを本機から離して設置する。
- ➡ プラグや端子が汚れているときは、アルコールで少し湿らせた布で拭き取る。
- ➡ ディスクに汚れ、傷がある。

ANY MUSIC

ANY MUSICに接続できない。

- ➡ ネットワーク設定が間違っている。ご利用の回線事業者またはプロバイダに問い合わせる。
- ➡ 設定メニューで［ネットワーク］–［ネットワーク状態確認］を選び、現在のネットワーク状態を確認する。
- ➡ 日付が間違っている。時計を合わせる（20ページ）。
- ➡ ブロードバンドルーターを正しく設定し直す。ブロードバンドルーターの設定については、ブロードバンドルーターの取扱説明書、プロバイダの資料をご覧ください。
- ➡ "エニーミュージック"に問い合わせる。

試聴している曲が途切れる。

- ➡ ネットワーク環境により、音楽が途切れることがあります。

ANY MUSICからダウンロードした曲が再生できない。

- ➡ 利用条件を詳細情報で確認してください。

"エニーミュージック"への接続時に「ANY MUSICに接続できません」などのメッセージが表示される。

- ➡ ユーザーID、パスワードを保存していないか、またはANY MUSICへの認証に失敗した可能性があります。画面の指示に従って操作してください。
  再接続するには、以下の操作を行ってください。
  1. ツールメニューで［ANY MUSICに接続］を選ぶ。
  2. 項目を選ぶ。
     ［ユーザーIDとパスワードを］を選んだときは、プルダウンメニューが表示されるので、［保存する］または［保存しない］を選びます。
  3. 文字を入力する。
  4. 手順2と3をくり返して、必要な項目を入力する。
  5. 入力が終わったら、［接続］を選ぶ。

HDDジュークボックス

表示されない曲がある。

- ➡ 表示モードによっては、すべての曲が表示されないことがあります。

MP3音声が再生できない。

- ➡ 不正なフォーマットで録音されたMP3音声を再生しようとした。

CDが録音できない。

- ➡ ディスクがCD規格に準拠していない。
- ➡ ディスクが傷ついていたり、汚れている。

MDが録音できない。

- ➡ ディスクが傷ついていたり、汚れている。

曲の情報編集ができない。

- ➡ ANY MUSICで購入した曲は情報編集ができません。

フォルダを編集できない。

- ➡ ダウンロードフォルダ、録音フォルダ、取込みフォルダは編集できません。

曲をつなげない。

➡ 結合後の合計演奏時間が120分を超えている。
➡ 結合する2曲のフォーマットが異なる（例：PCM形式とATRAC3形式）。
➡ 結合する2曲のビットレートが異なる（例：105kbpsと132kbps）。
➡ マジックゲート対応"メモリースティック デュオ"やポータブル機器に転送している曲を選んでいる。
➡ ANY MUSICで購入した曲を選んでいる。
➡ MP3形式の曲を選んでいる。

編集を繰り返していたら、曲を結合できなくなった。

➡ ハードディスクのシステム上の制約なので故障ではありません。

曲を分けられない。

➡ 曲の分割位置を先頭または最後付近に指定している。
➡ 分割後のHDDジュークボックスの全曲数が20,000曲を超えてしまう。
➡ マジックゲート対応"メモリースティック デュオ"やポータブル機器 に転送している曲を選んでいる。
➡ ANY MUSICで購入した曲を選んでいる。
➡ MP3形式の曲を選んでいる。

マジックゲート対応"メモリースティック デュオ"に転送できない。「選択した曲は転送できません」と表示される。

➡ "メモリースティック デュオ"の誤消去防止スイッチを「LOCK」にしている。
➡ "メモリースティック デュオ"の空き容量が足りない。
➡ PCM形式の曲を選んでいる。ATRAC形式に変換する（52ページ）。
➡ MP3形式の曲を選んでいる。
➡ 転送回数が制限を超えている。

MDに転送できない。「選択した曲は転送できません」と表示される。

➡ MDが誤消去防止状態になっている。
➡ MDの空き容量が足りない。
➡ PCM形式の曲を選んでいる。ATRAC形式またはMP3形式に変換する（52ページ）。
➡ 転送回数が制限を超えている。
➡ Hi-MDなどの、対応していないディスクを入れている（82ページ）。

ポータブル機器に接続できない。

➡ 接続しているUSBケーブルを接続し直す。

MDグループ/トラック削除画面で曲名が表示されない。

➡ ［表示切替］を選ぶ。半角/全角の表示が切り換わります。

CD

再生が始まらない。

➡ ディスクが入っているか確認する。
➡ ディスクのラベル面を上にする（21ページ）。
➡ ディスクが斜めにずれて入っているときは、正しく入れ直す。
➡ CD-ROMなどの、再生できないディスクを入れている（81ページ）。
➡ 結露している。ディスクを取り出して電源を切った状態で約30分放置し、再びディスクを入れる（80ページ）。

再生できない。音飛びが入る。

➡ ディスクがCD規格に準拠していない。
➡ ディスクが傷ついていたり、汚れている。

再生されない曲がある。

➡ マルチセッションディスクの音楽用CDフォーマットは、最初のセッションに記録されている曲しか再生できません。

CDを再生したときに、音に奥行き感がなく、モノラルのように聞こえる。

➡ スピーカーおよび各機器を正しく接続する。

CDDBから情報を取得できない。

➡ 本機にディスクが入っていない。
➡ MP3モードになっている。
➡ ネットワークに接続していない。

MP3音声が再生できない。

➡ ISO9660レベル1、2またはJolietに準拠していないMP3ファイルが記録されている。
➡ 拡張子「.mp3」が付いていないMP3形式のファイルは、再生できません。MP3形式以外のファイルに拡張子「.mp3」が付いていると、そのファイルを再生しようとしてしまうため、雑音や故障の原因となります。
➡ 拡張子は「.mp3」だが、MPEG-1 Audio Layer3以外のデータ形式になっている。

次のページにつづく

“メモリースティック”

再生が始まらない。

➡ “メモリースティック デュオ” が入っているか確認する。
➡ 本機で再生できない “メモリースティック” を入れている（83ページ）。
➡ 結露している。“メモリースティック デュオ” を取り出して電源を切った状態で約30分放置し、再び “メモリースティック デュオ” を入れる。

曲が認識されない。

➡ “メモリースティック デュオ” に記録されたMP3形式の曲が500を超える場合、501番目以降の曲は認識されません。

MP3音声が再生できない。

➡ 拡張子が「.mp3」になっていない。
➡ 拡張子は「.mp3」だが、MPEG-1 Audio Layer3以外のデータ形式になっている。

「メディアエラーです」と表示される。

➡ 不正な “メモリースティック デュオ” の可能性があります。

初期化できない

➡ “メモリースティック デュオ” の誤消去防止スイッチを「LOCK」にしているときは、初期化できません。

チューナー（ラジオ）

放送が受信できない。

➡ アンテナを正しく接続する。
➡ アンテナの向きなどを調節する。
➡ 屋外アンテナを使用する。

オンエア情報が表示されない。

➡ “エニーミュージック” に登録していない。
➡ ラジオ局がNOW ON AIR機能を提供していない。
➡ AMラジオを選んでいる。
➡ オートチューニング、またはマニュアルチューニングで受信している。
➡ ネットワークの接続・設定が正しくない。
➡ FM局を登録するときに［新規に入力する］を選んでいる。

MD

再生が始まらない。

➡ MDが入っているか確認する。
➡ MDの矢印の向きに合わせて差し込む。
➡ 新しいMDを入れている。録音されているMDと取り替える。
➡ 結露している。MDを取り出して電源を切った状態で約30分放置し、再びMDを入れる。

操作できない。音飛びが入る。

➡ MDが傷ついていたり、汚れている。

曲名が表示されない

➡ 曲名が入力されていない。
➡ 半角/全角の設定が異なっている。

ネットワークメディア

サーバに接続できない（「サーバに接続できません」と表示される）。

➡ LANケーブルが抜けていないか確認する。
➡ ハブ（スイッチ）付きルーターやハブをお使いの場合は、ハブ（スイッチ）付きルーターやハブの電源が入っているか確認する。
➡ サーバの電源が入っているか確認する。
➡ 本機のIPアドレスが正しく取得できているか確認する。
➡ 「DHCP」の設定で「全て自動設定」にしている場合、正しく取得できている場合は「IPアドレス」の設定画面にIPアドレスが表示されます（73ページ）。IPアドレスが表示されない場合は、下記の項目を確認してください。
  - ハブ、ブロードバンドルーターの電源は入っているか（詳しくは、ハブ、ブロードバンドルーターに付属の取扱説明書をご覧ください）。
  - 本機の電源を入れるよりも先に、ブロードバンドルーターの電源を入れたか。
  - 本機とハブ、ブロードバンドルーターとはLANケーブルで接続されているか（69ページ）。
  - ネットワーク接続環境に合わせて、本機のIPアドレス取得方法が正しく設定されているか。
➡ サーバの初期設定が正しく行われているか確認する。
➡ サーバでインターネット接続ファイヤーウォール（ICF）機能が有効になっている環境では、サーバと接続できない場合があります。インターネット接続ファイヤーウォール（ICF）機能を無効にしてください。

➡ サーバ側で本機の機器登録がされているか確認する。
サーバで本機の機器登録を削除しても、本機に表示されるサーバー覧には残っている場合があります。
➡ 機器登録をやり直してください。
➡ ネットワークメディア機能で本機からサーバに接続できない場合は、サーバを再起動してください。

自動接続できない。

➡ 本機とサーバをクロス変換ケーブルで接続している場合は、自動接続できないことがあります。ハブを経由して接続してください。

サーバ選択画面にサーバが表示されない。

➡ ツールメニューで［表示］–［最新情報に更新］を選んでみる。画面にサーバが表示されるまで、時間がかかることがあります。
➡「ミュージックサーバー」が起動しているか確かめる。

サーバに接続するまで時間がかかる。

➡ ブロードバンドルーターのない環境で本機をお使いになる場合、電源を入れたあと、本機のIPアドレスを自動的に取得し、本機とサーバが接続するまで、約30秒かかることがあります。
➡ 本機のIPアドレスが、他の機器で使用している数値になっている。他の機器と異なるIPアドレスに設定し直してください。

途中からサーバに接続できなくなった。または再生できなくなった。

➡ ブロードバンドルーターのない環境で本機をお使いになる場合、途中からブロードバンドルーターを接続すると本機のIPアドレスが変更され接続できなくなることがあります。サーバ選択画面で最新情報に更新してください（「サーバ選択画面にサーバが表示されない」参照）。

音が途切れる。

➡ ネットワーク環境により、音楽が途切れることがあります。
➡ サーバに負担がかかりすぎている。サーバ上で動作しているアプリケーションを終了してください。

曲のフォーマットがサーバと本機で異なって表示される。

➡ 本機では、ネットワーク経由で再生するときのフォーマットが表示されるため、サーバ上で表示されるフォーマットとは異なる場合があります。

「非対応フォーマットの曲が見つかりました」と表示され、再生できない。

➡ サーバ上で曲のファイルが壊れていたり、削除されていないか確認してください。
詳しくは、ご使用のサーバの取扱説明書をご覧ください。

インターネット

インターネットに接続できない。

➡ ネットワーク設定が間違っている。ご利用の回線事業者またはプロバイダに問い合わせる。
➡ 設定メニューで［ネットワーク］–［ネットワーク状態確認］を選び、現在のネットワーク状態を確認する。
➡ ブロードバンドルーターを正しく設定し直す。ブロードバンドルーターの設定については、ブロードバンドルーターの取扱説明書、プロバイダの資料をご覧ください。
➡ LANケーブルをしっかりつなぐ。
➡ 正しいLANケーブルを使って接続する（69ページ）。
➡ ルーター機能のないモデムに直接接続している。接続を確認する（69ページ）。
➡ 同時に1つの端末しかインターネットに接続できない契約の場合、他の端末を先に接続しているときは接続できません。
➡ ご利用の回線事業者、またはプロバイダに問い合わせる。

ADSLに接続できない。

➡ スプリッターのDSLポートとTEL（TELEPHONE）ポートを間違えている。
➡ ADSLモデムやブロードバンドルーターのランプが正しく点灯しているか確認する。
各機器の取扱説明書をご覧ください。

次のページにつづく

タイマー

タイマー録音されていない。

➡ 日付や時刻を正しく設定する（20、58ページ）。
➡ 予約待機中に停電があったか、電源コードが抜かれた。
➡ 本機が衝撃や振動に反応した。安定した場所で使用する。

ウェイクアップタイマーで予約した音楽が再生されない。

➡ 日付や時刻を正しく設定する（20、57ページ）。
➡ 予約待機中に停電があったか、電源コードが抜かれた。
➡ 本機が衝撃や振動に反応した。安定した場所で使用する。

タイマー録音した内容が途中で切れている。先頭、途中が抜けている。

➡ 日付や時刻を正しく設定する（20、58ページ）。
➡ タイマー録音中に停電があったか、電源コードが抜かれた。
➡ タイマー録音スタート時間に、編集などの操作を行っていた。
➡ 本機が衝撃や振動に反応した。安定した場所で使用する。

バックアップ

PC共有フォルダが見つからない。

➡ Windowsでインターネット接続ファイヤーウォール（ICF）機能を有効にしていたり、市販のウィルス対策ソフトを使用している場合、共有フォルダが外部からアクセス可能な設定になっていることを確認する。詳しくは、各製品の取扱説明書をご確認ください。

差分バックアップしたデータが、差分バックアップする前のデータ量の2倍になる。

➡ 差分バックアップ時の本機の状態が、前回のバックアップ時よりも前に設定されていた。時計合わせをして、もう一度差分バックアップする。
➡ フルバックアップする（76ページ）。

音楽データの復元中に以下のメッセージが表示される。

「OpenMGで著作権保護されているコンテンツのバックアップ･リストアについてただいまお客様がリストア（データの復元）を行われたバックアップファイルは、すでに複数回のリストアが行われております。コンテンツの著作権に配慮し、一定回数以上のリストアを制限させていただく場合がありますので、リストアが複数回行われているバックアップファイルのご使用に際しては、本注意メッセージを表示させていただいております。」

➡ お使いの周辺機器による不具合がくり返されるか、製品が著しく不安定なために、リストアしたデータが利用できなくなる場合
  - カスタマーセンター（裏表紙）、または販売店にお問い合わせください。

➡ 何度音楽データの有効化を試みても、最終的に失敗する場合
  - バックアップデータを記録したパソコンや、ドライブが破損･損傷していないか確認してください。

その他

正常に動作しない。

➡ 静電気などの影響を受けている。このときは、STANDBY/ONボタンを押して電源を切り、再び電源を入れる。それでも正常に動作しないときは、リセットする（91ページ）。
➡ 画面に警告メッセージが出ている。
このときは、メッセージに従ってください。

画面に5桁のアルファベットと数字が表示されている。

➡ 自己診断機能が働いている（91ページ）。

スタンバイ/オンインジケーターが点滅する。

➡ スピーカープロテクト機能が働いている。電源コードをコンセントからはずし、スピーカーケーブルの接続を確認する。ショートなどの異常がなければ、スタンバイ/オンインジケーターが消灯したことを確認してから、電源コードをコンセントにつなぐ。

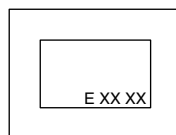
リモコンが働かない。

➡ 乾電池が消耗している。
➡ 乾電池が入っていない。
➡ リモコンを本体に向けて操作する。
➡ 本機の近くにインバーター方式の蛍光灯がある。
本機を蛍光灯から離して設置する。

画面に「オーディオデータが壊れています。」と表示される。

➡ ［修復］を選ぶ。

自己診断機能について

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、画面にアルファベットと数字で5桁のサービス番号（例：E 00 11）を表示します。

表示が出たら、カスタマーセンター（裏表紙）にご連絡ください。そのときにはサービス番号の5桁すべてをお知らせください。

本機のリセット方法について

通常は本機をリセットする必要はありません。しかし、まれに本体が異常終了して、ボタンや画面上の操作に反応しなくなってしまうことがあります。このような場合は、本体の■ボタン（共通停止ボタン）を押しながら本体の⏻STANDBY/ONボタンを押して、本機をリセットしてください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「困ったときは」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または「オンキヨーご相談窓口・修理窓口」にあるお近くのオンキヨー修理窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではCD/MD/HDDチューナーアンプの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、オンキヨー修理窓口にご相談ください。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

修理について（ハードディスク）

修理・点検の際、不具合症状の発生・改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータファイルを確認したり、プログラムを起動することがあります。ただし、それらのファイル、プログラムをオンキヨー側で複製・保存することはありません。
ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきますのでご了承ください（著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます）。

なお初期化により、ハードディスク内のプログラムおよびデータが全て消去されますので、あらかじめお客様にてバックアップ等保存につき必要な対応をされるようお願いいたします。

ご相談になるときは、以下のことをお知らせください。

- 型名：BR-NX8
- 故障の状態：　できるだけ詳しく
- 購入年月日：

カスタマーセンターのご案内

製品の品質には万全を期しておりますが、万一、故障などの不具合が生じた場合や、接続や操作の方法がわからない場合は、まず、裏表紙の電話番号にお問い合わせください。
また、製品に対するご意見なども、お気軽にお寄せください。よりよい製品作りに生かしていきたいと考えております。

あらかじめ以下のことをお調べいただくと、対応が円滑に進むこともあります。
お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

- 型名：BR-NX8
- ご契約されているインターネットサービスプロバイダの名前とサービス（コース）の種類
- お使いのブロードバンドルーターやハブのメーカー名と型名

今後とも、オンキヨー製品をご愛用くださいますようお願い申し上げます。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力	20W＋ 20W（4Ω、JEITA*） * JEITA（電子情報技術産業協会）の規格による測定値です。
スピーカー適応インピーダンス	4Ω

システム（CD部）

周波数特性	20Hz 〜 20kHz
全高調波ひずみ率	0.1%以下

システム（MD部）

サンプリング周波数	44.1kHz
周波数特性	20Hz 〜 20kHz

システム（HDDジュークボックス部）

容量	80GB
コーディング	ATRAC3 ATRAC3plus MP3 PCM
最大録音時間	約3,565時間（48kbps時）
最大アルバム数	20,000
最大曲数	20,000

FMチューナー部

回路方式	PLLデジタル周波数シンセサイザークォーツロック方式
受信周波数	76.0 〜 90.0MHz

AMチューナー部

回路方式	PLLデジタル周波数シンセサイザークォーツロック方式
受信周波数	531kHz 〜 1,602kHz

入･出力端子

アンテナ入力	FM：75Ω不平衡型 AM：外部アンテナ端子
モニター出力	ピンジャック、 1Vp-p（75Ω不平衡）
音声アナログ入力	ピンジャック（左、右）
入力レベル	0.8V（標準）/1.5V（低感度）
オーディオ出力	ピンジャック（左、右）
出力レベル	0.5V
モジュラージャック	10BASE-T/100BASE-TX
USB端子	USBタイプA Hi-Speed USB ATRAC AD等接続用
PHONES端子	ステレオ ミニジャック

電源、その他

電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	52W（JEITA*）
待機消費電力	0.3W以下
最大外形寸法	155.5×247×285mm（幅/高さ/奥行き）
質量	約4.6kg
許容動作温度	5 〜 35℃
許容動作湿度	25 〜 80%

付属品

- スピーカーコード（2）
- リモコン（1）
- リモコン用 単3形（R6）乾電池（2）
- AM ループアンテナ（1）
- FM 簡易ワイヤーアンテナ（1）
- 取扱説明書（本書）（1）
- かんたん接続･操作ガイド（1）
- エニーミュージックサービス利用ガイド（1）
- ソフトウェアに関する重要なお知らせ（1）
- ソフトウェア使用許諾契約書（1）
- ONKYO ユーザー登録のおすすめ（1）
- 保証書（1）

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語解説

五十音順

あ

イーサネット
米国のゼロックス社が開発したローカルエリアネットワーク(LAN)のモデルの1つ。現在、ローカルエリアネットワークを構成するために広く普及している。

インターネット
世界中のコンピュータが接続された通信網。メールや情報検索サービスなどが利用できる。

か

楽曲クリップ
NOW ON AIRで表示される、FM放送で放送された楽曲の情報を本機に保存すること。

区点コード
日本工業規格(JIS)が一般に使用する文字に定めたコード番号。

結露(露つき)
暖房を入れて室温が急に上がったときなどに、本機内部に水滴が付くこと。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置する。

さ

サンプリング周波数
音声などをアナログデータからデジタルデータへ変換するとき、数字に置き換える必要がある。この作業をサンプリングと呼び、1秒間に記録する回数をサンプリング周波数という。音楽CDの場合、1秒間に44,100回記録しており、サンプリング周波数を44.1kHzと表す。一般的には、サンプリング周波数が高いほど、記録された音声は高音質になる。

た、な

転送(チェックイン/チェックアウト)
ハードディスク上で著作権保護技術「OpenMG」対応ソフトウェアで管理している音楽データを、ATRAC ADなどの外部機器・メディアに転送することを「チェックアウト」といい、チェックアウトした音楽データを元のハードディスクに戻すことを「チェックイン」という。著作権保護技術「OpenMG」により、暗号化してハードディスクに記録されるため、不正な使用や配信などを防止できる。
一度チェックアウトしたデータをチェックインによりハードディスクに戻したあと、再びチェックアウトすることも可能。ただし、チェックアウトしたデータを、他のハードディスクにチェックインすることはできない。

は、ま

バイト
パソコンなどのデジタルデータを表す基本的な単位のひとつ。デジタルデータは、「0か1か」で表されるが、このデータひとつが1ビット、8ビットで1バイトという単位になる。半角文字は1バイトで表すため1バイト文字、全角文字は2バイトで表すため2バイト文字という。

ハードディスク
パソコンなどに使われている大容量データ記憶装置の1つ。磁気ディスクと駆動機構が一体になっているため、非常に高速で読み書きすることができ、データの検索性にすぐれている。

ビットレート
データの情報量を表す。単位として、ビット毎秒(bps: bit per second)を使うことが多く、音楽データに1秒あたりどのくらいの情報量があるか表す。

プロキシ
ファイアウォール(外部からの不正侵入防御壁)内にいるコンピュータが外部へアクセスできるようにしたり、インターネットのホームページなどを高速に表示したりできるプログラムまたはサーバ。

ブロードバンド
広域の周波数帯域を使用して、大容量の映像・音声データを高速で送受信できる回線の総称。現在、ブロードバンドと言われるものには、ADSL、CATV、光ファイバーなどがある。

ブロードバンドルーター
ADSLやケーブルテレビでインターネットに接続する場合、ADSLモデムやケーブルモデムという機器を使うが、複数の端末からインターネットに接続するときは、ブロードバンドルーターという機器を使う。

プロバイダ
「インターネットサービスプロバイダ(ISP)」とも言う。インターネットへの接続サービスなどを提供する事業者。

や

予測候補
予測変換機能で入力した文字に対して予測される単語や語句。

予測変換機能
入力した頭文字から単語全体を予測したり、入力した単語から文脈を予測する入力機能。学習機能があり、使えば使うほど、入力の手間が省けて便利に入力できる。

ら、わ

ルーター

ネットワーク間を中継する装置のことで、相互のネットワークのプロトコルやアドレスの変換を行う。
最近では、ISDN回線に接続するためのダイヤルアップルータや、ADSLやCATVに接続するためのブロードバンドルータもある。単に「ルーター」と言ったとき、これらの機器を指すこともある。

アルファベット順

A、B

ADSL

非対称デジタル加入者回線（Asymmetric Digital Subscriber Line）の略。ブロードバンド回線の1つ。従来の銅線のアナログ電話回線を使用するが、音声信号とは別の高周波帯域を利用するため、大容量のデータ伝送が可能。上り方向（ユーザーの端末から送信する方向）の通信速度に対して下り方向（電話局からユーザーの端末へ流す方向）の通信速度が高速なため「非対称」の名前がついている。通信速度は契約しているサービスにより異なる。

ATRAC AD

アトラックオーディオデバイス（ATRAC Audio Device）の略。ATRAC形式で記録された音楽データを再生できる機器の総称。

ATRAC3

音声圧縮技術「ATRAC」の1つ。CDの約1/10という高圧縮ながら高音質を実現。

ATRAC3plus

「ATRAC3」をさらに発展させた音声圧縮技術。CDをベースに比較すると、1/20という高圧縮率かつ高音質を実現。

C

CD TEXT

ディスク名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称。

D、E、F、G、H

DHCP

動的ホスト構成プロトコル（Dynamic Host Configuration Protocol）の略。インターネットの接続に必要な設定値を端末に自動的に割り当てるためのしくみ。

DLNA

デジタルリビングネットワークアライアンス（Digital Living Network Alliance）の略。デジタルコンテンツをネットワークを通じ、共有するための規格ガイドラインを策定している非営利団体。
詳しくは、http://www.dlna.org/home_jp/をご覧ください。

DNS

Domain Name Systemの略。マシン名からIPアドレスへ、またIPアドレスからマシン名への置き換えを行うサーバで、IPアドレスで特定されている。「DNSサーバ」などとも言う。

I、J、K

ID3

MP3ファイルに記録される曲名やアーティスト名などの情報。本機では、MP3形式の曲の詳細情報は、このID3タグを表示している。

IPアドレス

TCP/IP（伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル）ネットワークで使用される識別情報。
通常は、3桁までの数字4組を点で区切ったもの（192.168.239.1など）。ネットワーク上のマシンには、必ずこのアドレスが付いている。

ISO9660

国際標準化機構（ISO）が制定したCD-ROMの論理フォーマット。

L

LAN

ローカルエリアネットワーク（Local Area Network）の略。オフィスや学校、ビルの中などの限定された地域に置かれたコンピュータやプリンタ、ファクシミリなどを相互接続して通信できるように構成されたネットワークの総称。

M

MP3

「MPEG-1 Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めた音声圧縮の規格。音声データをCDの約1/10に圧縮できる。符号化アルゴリズムが公開されているので、さまざまなエンコーダーやデコーダーが存在する。パソコンの世界で広く普及している。

N、O

NOW ON AIR

“エニーミュージック”のサービスの1つ。FM放送で放送中の内容が本機に表示される。

P、Q、R、S、T

PCM

非圧縮のデジタル音声データ形式。本機では、音楽CDと同じくサンプリング周波数44.1kHz, 16bitで記録される。

次のページにつづく

U、V、W、X、Y、Z

USBストレージ
本書では、USB Mass Storage Class規格に対応したUSB機器で、パソコンのUSB端子に接続するだけでリムーバブルディスクとして使える記憶装置のことを指す。例えば、USBプレーヤーなども、USB Mass Storage Class規格に対応していれば、USBストレージとして使える。

索引

た

な

その他

商標などについて

- 本ソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- “MagicGate Memory Stick”（“マジックゲートメモリースティック”）および、“Memory Stick”（“メモリースティック”）、MEMORY STICK、“MagicGate”（“マジックゲート”）、MAGICGATE、Net MD、“ATRAC”、OpenMGおよびそれぞれのロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- 本機はFraunhofer ⅡS及びThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- Built with Linter Database.
  Copyright © 2000-2003, RelexUS, Inc.
- Music recognition technology and related data are provided by Gracenote and the Gracenote CDDB® Music Recognition Service SM©. Gracenote is the industry standard in music recognition technology and related content delivery. For more information visit www.gracenote.com.
  CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2005 Gracenote. Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2005 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe, Inc. United States Patent 6,304,523.
  Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote.
  The Gracenote logo and logotype, and the “Powered by Gracenote” logo are trademarks of Gracenote.

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市のGracenote（“Gracenote”）からの技術とデータが含まれています。この製品はGracenoteの技術（“Gracenote Embedded Software”）により、ディスク識別を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報（“Gracenote Data”）を得ることも可能です。この技術はGracenote Database（“Gracenote Database”）に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Dataにアクセスすることに同意すること。
- 第三者に、Gracenote Embedded SoftwareまたはGracenote Dataの譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されたこと以外でのGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたのGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Databaseの全ての使用をやめることに同意すること。
- GracenoteはGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの所有権を含むすべての権利を保有しています。
- Gracenoteはこの同意のもとで、Gracenoteの名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded SoftwareやGracenote Dataの各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。Gracenoteは、すべてのGracenote Dataの正確さに関する、明示或いは黙示、真実の表明或いは保証は、一切致しません。GracenoteはGracenoteが明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。
Gracenote Embedded Softwareが、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Softwareの機能が断絶しないものであるという保証は致しません。
Gracenoteは新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来Gracenoteが提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenoteは、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不存在を含む全ての明示または黙示の保証をしません。Gracenoteは、Gracenote ComponentまたはいかなるGracenote Serverの利用により生じた結果について保証しません。
Gracenoteはいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。